

# 食品安全委員会

---

---

*Food Safety Commission*

## 20年の歩み

2023年（令和5年）9月



内閣府

食品安全委員会

Food Safety Commission of Japan

本文の記載は、2023年（令和5年）3月31日  
現在のものである。

# 目次

|                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 巻頭言                       | 3                |
| 食品安全委員会の20周年にあたって         | 食品安全委員会委員長 山本 茂貴 |
| 寄稿文                       |                  |
| （歴代食品安全委員会委員長）            | 4                |
| 設立10周年前後の思い出              | 熊谷 進             |
| FSCJ 20th Anniversaryに寄せて | 佐藤 洋             |
| （歴代食品安全委員会事務局長）           | 7                |
| 食品安全委員会20年に寄せて            | 姫田 尚             |
| 食品安全委員会の思い出と期待            | 川島 俊郎            |
| 食品安全委員会設立20周年に当たり         | 小川 良介            |
| <b>第1部 文章編</b>            |                  |
| 1 はじめに                    | 11               |
| 2 組織・予算                   | 11               |
| （1）委員会委員                  | 11               |
| （2）専門委員                   | 12               |
| （3）事務局                    | 14               |
| （4）予算                     | 14               |
| 3 食品健康影響評価の実施と評価指針の策定・改正  | 14               |
| （1）委員会の開催                 | 14               |
| （2）評価の実績                  | 20               |
| （3）リスクプロファイル              | 29               |
| （4）ファクトシート                | 29               |
| 4 食品の安全性の確保に関する施策の実施状況の監視 | 31               |
| 5 科学的調査及び研究の実施            | 34               |
| （1）研究・調査企画会議              | 34               |
| （2）食品安全確保総合調査事業           | 36               |
| （3）食品健康影響評価技術研究事業         | 38               |
| 6 リスクコミュニケーションの実施         | 39               |
| （1）意見交換会等の開催              | 39               |
| （2）情報提供                   | 53               |
| （3）食品安全モニター               | 56               |

|    |             |    |
|----|-------------|----|
| 7  | 緊急時対応       | 58 |
| 8  | 国際関係        | 62 |
| 9  | 関係府省間の連携    | 68 |
| 10 | 法令・委員会決定    | 68 |
|    | (1) 法律      | 68 |
|    | (2) 政令      | 69 |
|    | (3) 内閣府令、訓令 | 70 |
|    | (4) 委員会決定   | 70 |

## 第2部 資料編

|     |                                  |     |
|-----|----------------------------------|-----|
| 1   | 委員会会合開催実績一覧                      | 75  |
| 2   | 専門調査会開催実績一覧                      | 76  |
| 3   | 食品健康影響評価の諮問案件に対する審議状況            | 77  |
| 4   | 自ら評価案件一覧                         | 78  |
| 5   | 実施状況調査実績一覧                       | 79  |
| 6   | 食品安全確保総合調査課題一覧                   | 80  |
| 7   | 食品健康影響評価技術研究採択課題一覧               | 83  |
| 8-1 | リスクコミュニケーション実績一覧                 | 88  |
| 8-2 | 食の安全ダイヤル年度別受付件数(グラフ)             | 90  |
| 8-3 | 季刊誌「食品安全」発刊実績                    | 91  |
| 8-4 | 食品安全委員会メールマガジン「食品安全e-マガジン」会員登録者数 | 96  |
| 8-5 | Facebook実績                       | 97  |
| 8-6 | YouTube実績                        | 101 |
| 8-7 | Twitter実績                        | 104 |
| 8-8 | 食品安全モニター会議の開催状況                  | 106 |
| 9   | 国際会議等対応実績一覧                      | 108 |
| 10  | 海外の専門家による講演会等開催実績一覧              | 114 |
| 11  | 英文電子ジャーナルの発行実績                   | 119 |
| 12  | 歴代政務一覧                           | 129 |
| 13  | 食品安全委員会委員の変遷                     | 130 |
| 14  | 専門調査会等座長・座長代理の変遷                 | 131 |
| 15  | 専門委員一覧                           | 134 |
| 16  | 予算及び定員の推移                        | 158 |
| 17  | 事務局組織の変遷                         | 159 |
| 18  | 事務局幹部の変遷                         | 160 |

## 食品安全委員会の20周年にあたって

食品安全委員会委員長

山本 茂 貴

食品安全委員会は2023年7月1日で設立20年を迎えました。牛海綿状脳症の発生を契機として、また、国際的な食品安全の意識の高まりの中、国際的に通用する新たな食品安全の仕組みを取り入れるため、食品安全基本法が制定され、食品安全委員会が設立されました。

そして、食品安全を確保する仕組みであるリスクアナリシスの考え方が導入されました。リスクアナリシスはリスク管理、リスク評価及びリスクコミュニケーションの3要素から構成されますが、食品安全委員会はリスク評価とリスクコミュニケーションを担当しています。

私は、食品安全委員会とは、設立当初からプリオン専門調査会の専門委員として、また、2017年からは委員として、2019年から委員長として関わって参りました。

食品安全委員会は国民の健康保護が最も重要であるという基本認識のもと、科学的知見に基づき様々な危害要因について食品健康影響評価を行っており、これまでに3100を超える食品健康影響評価を行ってきました。

食品安全行政にリスクアナリシスの考え方が導入され、20年間でこの考え方は確実に国内外で定着してきました。食品の安全に関わる関係者の取り組みも進展してきたと思います。これまで行われたリスク評価の中で、「生食用食肉（牛肉）における腸管出血性大腸菌とサルモネラ属菌」は定量的リスク評価に基づき数的目標値の設定が行われた初めての事例で、今後は可能な限り、微生物に関連して、定量的リスク評価を行うことが必要と考えます。

一方、農薬の再評価、PFASやカドミウム等の汚染物質に関する評価を含め重要な食品健康影響評価が実施されています。引き続き、科学的知見に基づき、透明性を持って、中立公正な評価を進めて参ります。

今後は、世界的に新しいリスク評価手法も積極的に取り入れていくべきであると考えます。特に、これまでに蓄積されたデータを基に化学物質の作用、安全性をコンピュータ上で予測・評価するin silico手法の導入、微生物分野での予測微生物学や定量的リスク評価の取り組み、さらにデジタルトランスフォーメーションやAI（人工知能）の導入も検討していく必要があると考えます。

また、食品安全委員会からの情報発信や関係者間の相互理解を深めるためのリスクコミュニケーションはさらに強化していくべきであると考えます。コロナウイルス感染症により対面でのリスクコミュニケーションが困難でしたが、インターネットを通じた情報発信やリスクコミュニケーションが行われました。今後もインターネット等による情報発信の強化は必要と思います。

20周年を迎えるに当たり、これまでの経験の蓄積を踏まえ、今後さらなる進化が必要と思います。食品安全委員会は、これからも食品の安全を確保するため、努力して参ります。

## 設立10周年前後の思い出

東京大学名誉教授

**熊谷 進**

(元食品安全委員会委員長)

委員長就任前の時期に、とくに深く記憶に残っている案件のひとつは、2011年3月に発生した原子力発電所からの放射性物質による食品汚染であった。急遽、委員会で対応を集中審議し「緊急とりまとめ」を通知、ついで7月に健康影響評価書を公表した。もうひとつは、飲食店での死亡例を含む食中毒に関連して、短期間中にとりまとめた生食用食肉に関する健康影響評価である。いずれも公表後に批判的意見が少なからず寄せられたが、科学的に適切で丁寧な回答を示すことができたと思う。それらの経験を通じて、評価の根拠データを限られた時間内で入手することに加え、専門家を探し出して知恵を結集することの重要性を改めて強く認識した。

2012年7月に委員長に就任し、新たに着任した委員を含め新体制で臨んだ。委員や事務局スタッフとは、業務上の打ち合わせ以外に、相互理解の促進を図るために会食の機会を増やし、そこでも貴重な意見を多くいただいた。2011年に厚労省から要請を受けていた牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに係る食品健康影響評価の作業が鋭意進められ、2012年10月に、と蓄牛の検査月齢引き上げを含む評価書を、翌年5月にはさらなる引き上げに係る評価書を仕上げることもできた。限られたデータに基づかざるを得なかったが、質の高い出来上がりになったと思う。これで長らく懸案であった検査月齢について一歩前進させることができ、安堵した。2013年7月には、10周年記念事業として国際シンポジウムを開催し、国内外から貴重な意見をいただいた。また、同年末には、食品健康影響評価の科学的基盤の発展を願い、オープンアクセス電子ジャーナル「Food Safety」を創刊することができた。当時の委員と事務局の理解と協力があったこそのものである。

食品の安全確保は、健康影響評価が無くではあり得ない。国民に信頼され、国際的に頼りにされる評価機関としての一層の発展を心より願っている。

## FSCJ 20th Anniversaryに寄せて

東北大学名誉教授

佐藤 洋

(前食品安全委員会委員長)

食品安全委員会が創設二十周年を迎えるとのこと、おめでとうございます。わが国の食品安全行政の要としての役割を果たしてきたことに敬意を表するとともに、微力ながらも18年間にわたって力添えができたことを嬉しくも誇りに思います。

思い起こせば2003年の春「食品安全委員会がつくられ、リスクアセッサーを200名公募する」という話を聞いたのが、食品安全委員会を知るきっかけでした。その時は「手を挙げる人いるのか？多数のリスクアセッサーを集めるのは大変だな」と思っただけで忘れてしまいました。ところが、八月になると委員に就任した小泉直子先生から電話で要請があり、十月には汚染物質調査会の専門委員に任命されることになってしまいました。専門委員の9年間に、カドミウム、メチル水銀、鉛等と主に重金属の評価をしましたが、知見を集め議論しながら評価書を作っていく作業は大変ではあったものの楽しいものでした。

その後委員に任命されやはり9年務めました。汚染物質ばかりでなく専門調査会全体を見る立場になり、同じ「リスク評価」とは言え調査会ごとにずいぶん違うものだという実感しました。プリオン専門調査会では、まだBSEの発生が報告されていた時期でもあり、社会の関心も高く傍聴者が多数で緊張した雰囲気がありました。申請者がおり評価のための資料を提出する調査会での「リスク評価」も汚染物質とは異なるものでした。新開発食品や遺伝子組み換え食品等、また微生物・ウイルスの専門調査会などそれぞれ独自の雰囲気や方法があったように思います。

委員在任中に思うところがあり、実現を目指したこともありましたので、記したいと思います。

まず、評価にメリハリがあっても良いのではないかということです。評価対象物質のハザードの強さやばく露状況によって詳細で慎重な評価が必要な場合と比較的シンプルな評価ですむ場合があります。そのためには評価対象物質を明らかに定義でき、正確なばく露評価が必要になります。アクリルアミドの評価では、モンテカルロシミュレーションで詳細にばく露評価をおこなったので、発がん性が懸念されるにもかかわらず明解な評価結果を出せたと思っています。

リスク評価に携わる専門委員は科学の各分野の専門家ですが、リスク評価では分野の知見を整理し総合的に判断をしなければなりません。したがって専門分野の知見の深さだけでなく、知見の意味つまり人の健康にどのように影響しうるのかを翻訳し判断でき、議論をリードする能力のある人が必要です。そのようなことができる人は必ずしも多くないのです。それはリスク評価を学べる機関がなく、機会も少ないことによるのです。これをなんとか解決する必要が

あります。

また、リスク評価書自体がリスクコミュニケーションになることが必要かと思います。科学的に正確・詳細な記述は評価書としては必要ですが、難解で読む気が失せる評価書では困ります。主に科学的な知見を整理する部分とリスクの判定を中心とした結論に至るまでを記述する部分に分冊にし、後者はできるだけわかりやすく書いて読んでもらえるリスク評価書にすることを六価クロム等でトライしてみましたが、どこまで達成できたかわかりません。

人々の健康に影響するのかどうかは、摂取量つまりばく露にかかっています。ばく露状況を把握することはリスク評価に必須です。また食品経路以外のばく露もあります。そのために、食品はじめ環境のモニタリングはもちろん、生体試料を用いた生物学的（バイオ）モニタリングが欠かせません。委員退任直前に答申した鉛の評価書でもそのことを強調しました。しかし、バイオ・モニタリングは食品安全委員会単独では不可能であり、環境省や厚生労働省はじめとして政府全体で行うべきことだと考えています。

二十周年を迎えた食品安全委員会が、さらに大人になっていくことを期待します。



## 食品安全委員会20年に寄せて

公益社団法人中央畜産会副会長

姫 田 尚

(元食品安全委員会事務局長)

食品安全委員会（FSCJ）が独立性を保った機関として、また、国際的にも先進国のリスク評価機関としての地位を確立されていることに心からお祝い申し上げます。

まず、私が着任したときには、大学や研究機関でのアカデミックな研究をされている専門委員等の方々には、レギュラトリーサイエンスの考え方を理解してもらうことが必要でした。このため、新任委員を中心にリスクアナリシスやレギュラトリーサイエンスについての研修をしました。これらにより、極めて低いリスク（ゼロリスク）を追求することも少なくなり、的確な評価が順次できるようになってきました。

科学的な評価を進めるうえで、熊谷委員長から英文ジャーナルの創設と研究所の設置を要請されました。双方とも困難な案件でしたが、松元次官にお願いしました。多額の予算と人員が必要な研究所は、断念しましたが、ジャーナルについては、委員長をはじめ7人の委員の方々の強い熱意の下、理解を得て、現在では国内外に高い評価を受けています。

リスク評価については、栄養成分関連添加物、そしていわゆる「健康食品」、極めて微量な成分の評価など、幅広い科学的知見に基づいて、科学者の衆知を集めて評価しました。懸案だったBSE国内対策の最終的評価も得られました。

国際的にもEFSA（EU）、FDA（USA）、ANSES（フランス）、BFR（ドイツ）、FSANZ（オーストラリア等）などの海外の評価機関とも密接な情報交換と連携が図られ、さらにJECFA（食品添加物）、JMPR（農薬）、JEMRA（微生物）などの国際的なリスク評価機関とも連携しており、食品安全委員会の国際的な地位の向上が図られています。これらは、佐藤委員長をはじめとして7人の委員と事務局職員で、委員長を中心として検討し、時にはワインや銘酒を傾けながら議論してきた結果だと思えます。

今後も、FSCJが消費者、生産者、メーカー、マスコミ等ステークホルダーと十分なりリスクコミュニケーションを行いながら、科学的知見を唯一の拠り所にリスク評価を行い国内外に信頼される組織として食品安全の守護神として世界に輝くFSCJとしてEFSA、FDA等に肩を並べる組織にさらに成長することを祈念いたします。

## 食品安全委員会の思い出と期待

一般社団法人食肉科学技術研究所前理事長

**川 島 俊 郎**

(元食品安全委員会事務局長)

食品安全委員会設立20周年おめでとうございます。

私が事務局に在籍した2016年～2019年の3年間は、諸先輩方のおかげで設立時の「大変な時代」から既に「安定期」に入っており、また、食品安全にかかわる大きな事故・事件といったこともなく、各専門調査会でそれぞれの評価方法に基づき数多くの評価作業が着実に進められていました。そんな中で、あえて思い出としてひとつ上げると、「in silico (コンピュータ上での)」評価方法に関する検討です。多種多様な化学物質が新しく開発される中で、既知の化学物質の毒性試験データをデータベース化し、構造が類似した化学物質のデータから評価物質の毒性を類推するというもので、私自身は極めてアナログな人間であり、高度に専門的なその内容を理解することは難しかったのですが、とても新鮮で興味深いものでした。今やAIが我々の日常活動の様々な場面に急速に利用されるようになっていますが、食品安全委員会においても、in silicoのような新しい評価方法が活用され、評価がより科学的に妥当性の高いものになっていくことを期待しています。

評価技術がどんなに高度化しても、評価を行うのは最終的には人であることを思えば、特に事務局職員のスキルアップとその支援が必要不可欠と考えます。私の時にも、職員の皆さんに、大学で社会人を対象にした博士号取得のコースに参加することをお勧めし、時間をかけて努力し実際に取得された方がおられます。当時も国内外の留学、在外研修等色々な制度が用意されていましたが、食品安全委員会事務局の場合、残念ながら職員数に余裕がなく、EFSA等欧米の評価機関に長期に行っていただくことはできませんでした。特に食品安全の世界では国際化が避けられないなか、優秀な人材確保の観点からも、親元機関の理解と協力も得て、研修・留学しやすい体制を充実していくことが大事ではないかと考えています。

食品安全委員会が科学的根拠に基づく公正・中立なリスク評価機関として、今後とも信頼され、発展することを願っております。

## 食品安全委員会の20周年に当たり

農林水産省農林水産審議官

小川良介

(元食品安全委員会事務局長)

かつて、私は、平成13年9月の日本におけるBSE感染牛の確認等を契機に行われた食品安全行政の見直しの担当をしていました。したがって、令和元年7月、食品安全委員会についても生みの親のような気持ちで、事務局長に着任しました。そして、食品安全行政にリスク評価が定着していることを実感し、立派に成長してくれているという印象を持ちました。

現在、リスク評価件数で最も数が多いのは、農薬で約4割を占めていると記憶していますが、毎年、同じことしていると、ルーティン化してしまう傾向があります。しかし、私が事務局長の頃は、平成30年の農薬取締法の改正により導入された農薬の再評価について、評価の考え方や評価体制の見直しを行う時期にあたり、新しい業務を経験することができました。余談ですが、平成30年の農薬取締法の改正時、私は農林水産省で法律改正の担当審議官であり、さらに、事務局長の後、再評価を担当する消費・安全局長として復帰したので、それぞれの場所で手抜きせずに良かったと思えました。

他方、令和2年になると、新型コロナによる緊急事態宣言が発せられるなど、通常の状態での勤務を行うことが困難になりました。しかし、既にリスク評価は食品安全行政にビルトインされており、年間200件程度の評価を止めることはできないので、直ちに、Webによりリスク評価を行うことができるよう、ルールの見直しや機器の整備に苦勞しました。幸い、早い時期にWeb会議の体制を整えることができ、当時は、霞が関で最も進んでいるというお言葉をいただくことができました。

このようにリスク評価自体は順調に行われているが、農薬についても、あれだけ精緻に科学的に評価しながらも、専門知識を有しない消費者からは、依然として不安に思われていることを踏まえると、今後、力を入れるべきは、リスク・コミュニケーションであると思います。

# 第1部 文章編

# 1 はじめに

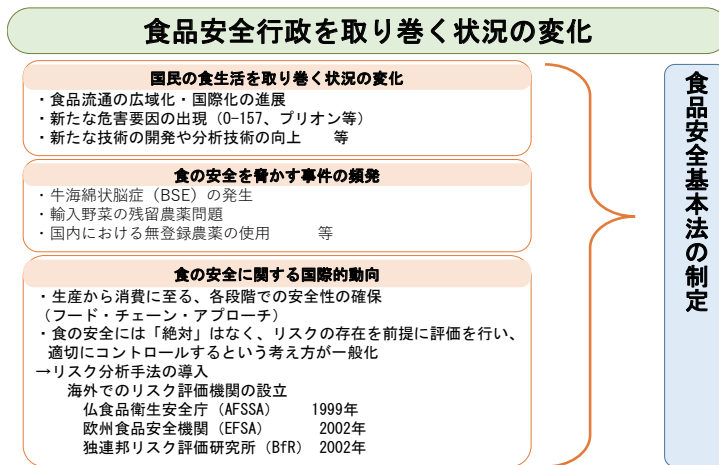
2003年（平成15年）7月1日、食品安全委員会（以下「委員会」という。）は、食品安全基本法（平成15年法律第48号。以下「法」という。）に基づき、厚生労働省、農林水産省等の行政機関（リスク管理機関）から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関として、内閣府に設

置された。

2023年（令和5年）7月に設立20周年を迎えるに当たり、設立から10年を迎えた2013年（平成25年）7月に、それまでの委員会の歩みを記録した、「食品安全委員会10年の歩み」を編纂したことから、2013年度からの委員会の歩みを記す。

## 【法制定の経緯】

## 【食品安全委員会10年の歩み】



[https://www.fsc.go.jp/iinkai/iinkai\\_10nen\\_ayumi\\_2507.pdf](https://www.fsc.go.jp/iinkai/iinkai_10nen_ayumi_2507.pdf)

## 2 組織・予算

### (1) 委員会委員

委員会の委員は、法第29条第1項に基づき「食品の安全性の確保に関して優れた知見を有する者のうちから、両議院の同意を得て、内閣総理大臣が任命する」こととされており、法第30条第1項に基づき任期は3年とされている。

#### ①2014年（平成26年）改選

2014年（平成26年）の委員改選に当たっては、2013年（平成25年）11月5日に国会に人事案が提出され、同月8日に参議院本会議及び衆議院本会議でそれぞれ同意を得て、2014

年（平成26年）1月7日に熊谷進委員（微生物等）が再任された。

#### ②2015年（平成27年）改選

2015年（平成27年）の委員改選に当たっては、同年5月19日に国会に人事案が提出され、同月21日に衆議院本会議で、同月22日に参議院本会議でそれぞれ同意を得て、同年7月1日に、佐藤洋委員（公衆衛生等）、山添康委員（有機化学（化学物質等））、石井克枝委員（消費者意識・消費行動等）、村田容常委員（食品の生産・流通システム等）が再任され、三森国敏委員（毒性学等）に代わり吉田緑委員

(毒性学等)が、上安平洸子委員(情報交流)に代わり堀口逸子委員(情報交流)がそれぞれ任命された。

### ③2017年(平成29年)改選

2017年(平成29年)の委員改選に当たっては、2016年(平成28年)10月21日に国会に人事案が提出され、同日に参議院本会議で、同月25日に衆議院本会議でそれぞれ同意を得て、2017年(平成29年)1月7日に熊谷進委員に代わり山本茂貴委員(微生物等)が任命された。

### ④2018年(平成30年)改選

2018年(平成30年)の委員改選に当たっては、同年3月13日に国会に人事案が提出され、同月16日に参議院本会議及び衆議院本会議でそれぞれ同意を得て、同年7月1日に、佐藤洋委員、吉田緑委員、堀口逸子委員が再任され、山添康委員に代わり川西徹委員(有機化学(化学物質等))が、石井克枝委員に代わり香西みどり委員(消費者意識・消費行動等)が、村田容常委員に代わり吉田充委員(食品の生産・流通システム等)がそれぞれ任命された。

### ⑤2020年(令和2年)改選

2020年(令和2年)の委員改選に当たっては、2019年(令和元年)11月26日に国会に人事案が提出され、同月29日に参議院本会議及び衆議院本会議でそれぞれ同意を得て、2020年(令和2年)1月7日に山本茂貴委員が再任された。

### ⑥2021年(令和3年)改選

2021年(令和3年)の委員改選に当たっては、同年3月26日に国会に人事案が提出され、

同年4月1日に衆議院本会議、同月7日に参議院本会議でそれぞれ同意を得て、同年7月1日に、川西徹委員、香西みどり委員、吉田充委員が再任され、佐藤洋委員に代わり脇昌子委員(公衆衛生等)が、吉田緑委員に代わり浅野哲委員(毒性学等)が、堀口逸子委員に代わり松永和紀委員(情報交流)がそれぞれ任命された。

### ⑦2023年(令和5年)改選

2023年(令和5年)の委員改選に当たっては、2022年(令和4年)10月28日に国会に人事案が提出され、同年11月1日に衆議院本会議で、同月9日に参議院本会議でそれぞれ同意を得て、2023年(令和5年)1月7日に山本茂貴委員が再任された。

## (2) 専門委員

法第36条第1項に基づき、委員会に、専門の事項を調査審議するため、専門委員を置くことができ、同条第2項に基づき、専門委員は学識経験のある者のうちから、内閣総理大臣が任命することとされている。また、2003年(平成15年)7月9日の第2回委員会会合で決定された「食品安全委員会専門調査会運営規程」(以下「専門調査会運営規程」という。)において、委員会の下に設置される分野ごとの専門調査会及びその所掌、専門調査会に属すべき専門委員は、委員長が指名することが規定されている。

2013年度(平成25年度)時点で、12の専門調査会が設置されており、内訳は、企画等専門調査会、添加物専門調査会、農薬専門調査会、動物用医薬品専門調査会、器具・容器包装専門調査会、化学物質・汚染物質専門調査会、微生物・ウイルス専門調査会、プリオン専門調査会、かび毒・自然毒等専門調査会、

遺伝子組換え食品等専門調査会、新開発食品専門調査会、肥料・飼料等専門調査会であった。

2015年（平成27年）9月29日の第578回委員会会合において、専門調査会運営規程の一部改正が行われ、同年10月1日に施行された。この改正により、規程の名称が「食品安全委員会専門調査会等運営規程」（以下「専門調査会等運営規程」という。）に改正された。また、化学物質・汚染物質専門調査会については、その業務を名称に正確に反映するため、汚染物質等専門調査会に名称変更されるとともに、既存の専門調査会の範囲を超えた特定分野に関する審議を行う場合に、必要に応じて専門調査会の下に設置されていたワーキンググループについては、委員会の直下に必要に応じて設置することとされ、専門調査会と同等の位置づけとなった。これにより、委員会の直下に、高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ（～2018年（平成30年）4月）、いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループ（～2018年（平成30年）4月）、栄養成分関連添加物ワーキンググループ、加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ（～2018年（平成30年）4月）及び薬剤耐性菌に関するワーキンググループが設置されることとなった。

なお、その後、清涼飲料水等に関するワーキンググループ（2016年（平成28年）4月～2018年（平成30年）4月）、評価技術企画

ワーキンググループ（2016年（平成28年）4月～）、六価クロムワーキンググループ（2017年（平成29年）6月～2021年（令和3年）6月）、アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ（2017年（平成29年）10月～2021年（令和3年）6月）、香料ワーキンググループ（2017年（平成29年）10月～）、鉛ワーキンググループ（2019年（平成31年）4月～2021年（令和3年）6月）、菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ（2019年（令和元年）10月～2021年（令和3年）3月）、ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ（2021年（令和3年）4月～）、有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ（2023年（令和5年）2月～）が委員会の下に設置された。

2020年（令和2年）3月24日の第777回委員会会合において、専門調査会等運営規程の一部改正が行われ、同年4月1日に施行された。これにより、農薬専門調査会が廃止され、農薬全般に関する事項や再評価に関する事項について調査審議を行う農薬第一専門調査会並びに個別の品目について調査審議を行う農薬第二専門調査会、農薬第三専門調査会、農薬第四専門調査会及び農薬第五専門調査会が新たに設置された。

以上の経緯を経て、2023年（令和5年）3月31日現在、16の専門調査会及び6のワーキンググループが設置されている。また200名の専門委員が任命されており、内訳は以下のとおりである。

|                          |     |                    |     |                             |     |
|--------------------------|-----|--------------------|-----|-----------------------------|-----|
| 企画等専門調査会                 | 16名 | 添加物専門調査会           | 17名 | 農薬第一専門調査会                   | 13名 |
| 農薬第二専門調査会                | 12名 | 農薬第三専門調査会          | 13名 | 農薬第四専門調査会                   | 12名 |
| 農薬第五専門調査会                | 13名 | 動物用医薬品専門調査会        | 14名 | 器具・容器包装専門調査会                | 16名 |
| 汚染物質等専門調査会               | 12名 | 微生物・ウイルス専門調査会      | 15名 | プリオン専門調査会                   | 11名 |
| かび毒・自然毒等専門調査会            | 10名 | 遺伝子組換え食品等専門調査会     | 10名 | 新開発食品専門調査会                  | 10名 |
| 肥料・飼料等専門調査会              | 13名 | 栄養成分関連添加物ワーキンググループ | 12名 | 薬剤耐性に関するワーキンググループ           | 12名 |
| 評価技術企画ワーキンググループ          | 11名 | 香料ワーキンググループ        | 10名 | ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ | 8名  |
| 有機フッ素化合物（PFA S）ワーキンググループ | 11名 |                    |     |                             |     |

※複数の専門調査会、ワーキンググループを兼任している委員を含む。

### (3) 事務局

事務局は、2013年（平成25年）5月に、評価課を評価第一課及び評価第二課に分割し、勧告広報課及び情報・緊急時対応課を情報・勧告広報課に統合する組織再編を行い、局長、次長、総務課、評価第一課、評価第二課、情報・勧告広報課の体制となった。2015年（平成27年）4月には訓令室として評価技術企画室が設置された。

2023年（令和5年）には、農薬の評価体制の強化を図るため、リスクコミュニケーション

ン官を廃止し、農薬評価室長を新設する組織再編があり、同年4月から局長、次長、4課1室1官体制となった。

### (4) 予算

2013年度（平成25年度）の予算は、9億1,800万円であった。2023年度（令和5年度）予算は、委員会の運営、リスク評価等に必要な技術研究・調査の実施、情報収集の充実及びリスクコミュニケーションの推進に必要な経費として、9億5,100万円を計上している。

## 3 食品健康影響評価の実施と評価指針の策定・改正

### (1) 委員会の開催

会合は原則として毎週1回公開で開催することとされ、2023年（令和5年）3月31日現在、火曜日が定例日とされている。以下に各年度の会合開催状況を記載する。

#### ①2013年度（平成25年度）

2013年度（平成25年度）は、41回の委員会会合が開催された。

2013年度（平成25年度）には、234案件につ

いて食品健康影響評価の要請があり、265件について評価結果を通知した。

2014年（平成26年）1月7日の第499回委員会会合において、熊谷委員が委員長に再び選出された。

2月10日の第502回委員会会合において、2013年度（平成25年度）の委員会自らの判断により食品健康影響評価の対象案件を選定し評価を行う案件（以下「自ら評価案件」という。）として選定したものはなかったが、「麻



痺性貝毒」についてはファクトシートを作成することとし、また、「ノロウイルス」及び「サプリメント」については情報収集及び情報提供を行うとともに、次年度も継続して議論を行うこととした。

## ②2014年度（平成26年度）

2014年度（平成26年度）は、46回の委員会会合が開催された。

2014年度（平成26年度）には、219案件について食品健康影響評価の要請があり、269案件について評価結果を通知した。

2014年（平成26年）12月16日の第542回委員会会合において、「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進のための方向性について」（平成22年12月16日委員会決定）を改正し、2015年（平成27年）3月31日の第555回委員会会合において、研究・調査会議の下に、事前・中間評価部会、事後評価部会、プログラム評価部会の3つの部会を置き、研究・調査の各段階において、外部有識者による評価を実施する体制を整備した（詳細は「5 科学的調査及び研究の実施」参照。）。

2月10日の第548回委員会会合において、2013年度（平成25年度）の自ら評価案件の審議の際に、継続して議論を行うとした「ノロウイルス」については、リスク管理機関と積極的に意見交換を行い、今後の方策について検討を行うこととされ、また、同じく継続して議論を行うとした「サプリメント」については、いわゆる「健康食品」として、健康食品全般の安全性について委員会としての見解をとりまとめることとした。また、3月24日の第554回委員会会合において、「フモニシン」を自ら評価案件として決定した。

## ③2015年度（平成27年度）

2015年度（平成27年度）は、45回の委員会会合が開催された。

2015年度（平成27年度）には、132案件について食品健康影響評価の要請があり、207案件について評価結果を通知した。

企画等専門調査会における2014年度（平成26年度）の自ら評価案件候補選定の審議結果（健康食品全般についてのリスクや懸念される事項、留意すべき点等について委員会の意見を取りまとめ、情報発信すべき）を踏まえ、2015年（平成27年）6月2日の第563回委員会会合において、新たに「いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループ」を設置した。また、12月8日の第587回委員会会合において、その審議結果の報告書及び報告書をもとに作成した消費者に対するメッセージを決定した。この報告書及びメッセージは、これらのエッセンスを1枚にまとめた委員長・座長からの「国民の皆様へ」と併せて公表した。

7月1日の第568回委員会会合において、佐藤委員が委員長に選出された。

9月29日の第578回委員会会合において、専門調査会運営規程の一部改正を行い、ワーキンググループは原則として委員会の直下に設置することを規定するとともに、専門委員の任期を明記し、業務内容を名称に正確に反映させるために「化学物質・汚染物質専門調査会」の名称を「汚染物質等専門調査会」に改め、その所掌事務の規定ぶりの適正化を行った。

また、同日の委員会会合において、調査審議の体制の拡充のため、「栄養成分関連添加物ワーキンググループ」、「加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ」及び「薬剤耐性菌に関するワーキンググループ」を新たに委員会に設置することを決定した。

2016年（平成28年）3月29日の第600回委員会会合において、「アレルギー物質を含む食品」を自ら評価案件として決定した。また、同会合において、コンピューター等を用いた新たな評価方法の導入・活用等に係る企画・

立案を進めるため「評価技術企画ワーキンググループ」を、また、調査審議体制の拡充のため「清涼飲料等に関するワーキンググループ」を設置することを決定した。

【2015年（平成27年）12月8日に公表したいわゆる「健康食品」に関する「国民の皆様へ」】

**国民の皆様へ**

「若さと健康を願うあなたに」、「△△の健康のための〇〇」といったキャッチフレーズを、毎日たくさん見聞きします。そして、医薬品のようにカプセルや錠剤の形をしたサプリメント、「健康にいい」成分を添加した飲料や食品など、さまざまな「健康食品」が売られています。今年国民のおよそ半分の方が、こうした「健康食品」を利用されているという調査もあり、「健康食品」市場が拡大しています。これは、健康で生き残りたいという古来変わらない人々の願望の表れでしょう。

「健康食品」がこのような願望に応えるものならばいいですが、残念ながら、現代でも「これさえ摂れば、元気で生き残る」という薬や食品はありません。それどころか逆に、「健康食品」で健康を害することもあります。しかも、そのような情報は皆様の目に触れにくいのが現状です。消費者は、「健康食品」のリスクについての情報を十分に得られないまま、効果への期待だけを大きくしやすいうちに置かれているといえます。

食品安全委員会ではこうした状況を憂い、幅広い専門家からなるワーキンググループを作り、「健康食品」の安全性について検討しました。まず「健康食品」から健康被害が起る要因を挙げ、次にその要因ごとに、健康被害事例などを含めた文献などからの科学的事実を調べ、皆様に知っていただきたい事項として取りまとめました。そうして作成した報告書からさらに抜粋して、皆様に向けて19項目のメッセージをまとめました。これらは「健康食品」で健康被害が出ることをなくしたいという本委員会の願いを込めました。

その中でお伝えしたいことのエッセンスは裏面のとおりです。「健康食品」を摂るかどうかを判断するときは、是非知っておいていただきたいことをまとめてあります。これらを踏まえて、「健康食品」についての科学的な考え方を持って、その判断をしてください。健康被害を避けるためにもとても大切な知識です。

編 者 佐藤 洋  
 いわゆる「健康食品」に関する 食品安全委員会委員長  
 検討ワーキンググループ長

**「健康食品」については、多くの人での科学的にも及ぶ長期間の科学的研究が少なく、安全性や有効性が確立しているとはいえません。「健康食品」を利用するかどうかはあなたの判断次第です。信頼のできる情報を基に、あなた自身の健康に役立つ選択をしてください。**

ここでいう「健康食品」には、「健康への利益が期待できる」として販売されている食品を指します。これは、特定保健用食品（トクホ）、栄養機能食品、機能性表示食品も含みます。またここでいう「サプリメント」とは、サプリメント・錠剤・粒剤・糖衣錠の「健康食品」を指します。

**「食品」であっても安全とは限りません。**

- 健康被害のリスクはあらゆる食品にあります。身近な「健康食品」にも健康被害が報告されています。
- 「食品」は「ナチュラル」「自然」のものが、安全であるとは限りません。これは食品全般に言えることです。
- 栄養素や食品についての詳細は、食生活の変化や科学の進展などにより変わる可能性があります。健康に良いとされていた成分や食品が、その後、別の側面から健康を害するようになることも少なくありません。

**多量に摂ると健康を害するリスクが高まります。**

- 錠剤・カプセル・粒剤・糖衣錠の形のサプリメントは、通常の食品よりも容易に多量を摂ってしまいがちという注意が必要です。

**ビタミン・ミネラルをサプリメントで摂ると過剰摂取のリスクがあります。**

- 現在の日本では、通常の食事をしているビタミン・ミネラルの不足が問題となることはまれであり、サプリメントを摂ることで過剰摂取のリスクを高める可能性があります。
- むしろサプリメントからの摂り過ぎが健康被害を起こすことがあります。特にセレン、鉄、ビタミンE、ビタミンKは注意が必要です。

**「健康食品」は医薬品ではありません。品質の管理は製造者任せです。**

- 品質が不十分で、表示通りの成分が入っていない、成分が異なるなど、問題ある製品もあります。成分表示が示すより多量に摂るために健康被害を起こした例があります。

**誰かにとって良い「健康食品」があってもあなたにとって良いとは限りません。**

- 摂取する人の年齢や性別、摂取期間によって、安全性や効果も変わります。
- 買込んだ食品での健康、効果や期待を思い込みにくくはなすための科学的根拠にはなりません。口コミや体験談、販売店などの情報を参考にせず、信頼のできる情報をもとに、今の自分にとって、本当に安全なのか、役立つのかを考えてください。

※ 食品安全委員会、医薬品・健康・栄養研究所の「健康食品」の安全性・有効性情報、厚生労働省のインターネットサイトなど



<https://www.fsc.go.jp/osirase/kenkosyokuhin.html>

④2016年度（平成28年度）  
 2016年度（平成28年度）は、44回の委員会会合が開催された。  
 2016年度（平成28年度）には、267案件について食品健康影響評価の要請があり、271案件について評価結果を通知した。  
 2016年（平成28年）5月17日の第606回委員会会合において、「香料に関する食品健康影響評価指針」が決定された。  
 4月5日に「国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議」において薬剤耐性（AMR）

対策アクションプランが決定されたことを受け、6月14日の第610回委員会会合において、薬剤耐性菌の食品健康影響評価の一層の推進や改善に向け、今後5年間で実施する行動計画を策定することを決定し、薬剤耐性菌に関するワーキンググループでの審議後、2017年（平成29年）3月28日の第644回委員会会合において、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画を決定した。

### ⑤2017年度（平成29年度）

2017年度（平成29年度）は、46回の委員会会合が開催された。

2017年度（平成29年度）には、138案件について食品健康影響評価の要請があり、181案件について評価結果を通知した。

2017年（平成29年）5月30日の第651回委員会会合において、化学物質・汚染物質専門調査会（平成21年当時）の下に設置された清涼飲料水部会において審議されていた六価クロムについて、新たに収集した知見を踏まえて専門委員による調査審議を行うため、「六価クロムワーキンググループ」を委員会に設置することを決定した。

7月18日の第658回委員会会合において、新たな評価指針である「栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針」及び「添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針」を決定するとともに、加工助剤（殺菌料及び抽出溶媒）の食品健康影響評価の考え方を附則として追加する「添加物に関する食品健康影響評価指針」（平成22年5月27日委員会決定）を改正した。

7月25日の第659回委員会会合において、海外で活用の動きがみられるコンピューター上（in silico）での化学物質の毒性評価方法である（Q）SAR及びRead acrossの今後の活用に向けた課題等について評価技術企画ワーキンググループでとりまとめた「新たな時代に対応した評価技術の検討～化学物質の毒性評価のための（Q）SAR及びRead acrossの利用～」を承認した。

9月26日の第667回委員会会合において、2016年度（平成28年度）の自ら評価案件としたアレルギー物質を含む食品に関して、「アレルギーを含む食品に関するワーキンググループ」を委員会に設置することを決定した。ま

た、同会合において、今後香料の審議件数の増加が見込まれることから、2016年（平成28年）5月に策定した「香料に関する食品健康影響評価指針」に基づく評価を行うため、「香料ワーキンググループ」を委員会に設置することを決定した。

11月7日の第672回委員会会合において、「動物用ワクチンの添加剤の食品健康影響評価の考え方」（平成26年10月14日委員会決定）を改正した。

### ⑥2018年度（平成30年度）

2018年度（平成30年度）は、46回の委員会会合が開催された。

2018年度（平成30年度）には、134案件について食品健康影響評価の要請があり、154案件について評価結果を通知した。

2018年（平成30年）4月10日の第692回委員会会合において、新たな評価指針である「動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針」を決定した。

7月2日の第703回委員会会合において、佐藤委員が委員長に選出された。

7月10日の第704回委員会会合において、食品健康影響評価にベンチマークドーズ法を活用する上での技術的課題について評価技術企画ワーキンググループが取りまとめた「新たな時代に対応した評価技術の検討～BMD法の更なる活用に向けて～」が報告され、今後、本報告内容を踏まえ、同ワーキンググループにおいて、指針のとりまとめに向けた調査審議を進めることとされた。

9月25日の第713回委員会会合において、新たな評価指針である「飼料添加物に関する食品健康影響評価指針」を決定し、「内分泌活性を有する動物用医薬品の食品健康影響評価の考え方について」（平成30年6月1日動物用医

薬品専門調査会決定)を指針の関連文書に位置付けるため、「動物用医薬品に関する食品健康影響指針」(平成30年4月10日委員会決定)を改正した。

10月16日の第716回委員会会合において、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された酵素を新たに添加物として指定すること等について、法第24条の規定に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」を決定した。2019年(平成31年)2月12日の第730回委員会会合において、自ら評価案件として選定したものはなかったが、「メチル水銀」については将来的に再評価を行う可能性も考慮し情報収集を行うこととし、「アニサキス」については、3月4日の第78回微生物・ウイルス専門調査会での審議を経て、3月26日の第736回委員会会合において、知見等を収集した上で、リスクプロファイルの作成を進めることとした。

#### ⑦2019年度(令和元年度)

2019年度(令和元年度)は、42回の委員会会合が開催された。

2019年度(令和元年度)には、145案件について食品健康影響評価の要請があり、139案件について評価結果を通知した。

2019年(令和元年)4月23日の第740回委員会会合において、2007年度(平成19年度)に自ら評価案件として選定した「食品及び器具・容器包装中の鉛」に関する食品健康影響評価について審議を行う「鉛ワーキンググループ」を委員会に設置した。

食品用器具・容器包装についてのポジティブリスト制度導入に対応するため、2019年(令和元年)5月28日の第743回委員会会合において、「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」を新たに決定した。

8月27日の第754回委員会会合において、科学技術・情報技術の発展、プログラム評価結果等を踏まえ、「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進の方向性について」(平成22年12月16日委員会決定)を改正した。

10月1日の第759回委員会会合において、「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」を新たに決定した。なお、2013年度(平成25年度)に農薬専門調査会において策定した「特定農薬の食品健康影響評価における考え方について」、「農薬の食品健康影響評価における暴露評価対象物質に関する考え方」及び「農薬の急性参照用量設定における基本的考え方」、並びに2017年度(平成29年度)に農薬専門調査会において策定した「農薬の食品健康影響評価におけるイヌを用いた1年間反復経口投与毒性試験の取扱いについて」等を本指針の関連資料に位置付けた。

10月15日の第761回委員会会合において、「菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ」を委員会に設置することを決定した。

10月29日の第762回委員会会合において、「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針[動物試験で得られた用量反応データへの適用]」を新たに決定した。

2020年(令和2年)3月24日の第777回委員会会合において、農薬に係る再評価制度の導入等を踏まえ、専門調査会等運営規程を改正し、従来の農薬専門調査会を農薬第一から第五までの5つの専門調査会に再編する等評価体制の整備を行った。また、それに伴い「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」(令和元年10月1日委員会決定)を改正した。

#### ⑧2020年度(令和2年度)

2020年度(令和2年度)は、32回の委員会

会合が開催された。

新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえ、2020年（令和2年）4月9日に第779回委員会会合を臨時で開催し、「テレビ会議又はWeb会議システムを利用した食品安全委員会等への出席について」を決定した。また、一般傍聴についても、同日の委員会会合から、傍聴者を入れずに委員会会合を開催していたが、5月19日の第781回委員会会合からは、傍聴者を入れることに代えて、会合の様子を委員会のYouTubeチャンネルにて配信した。2020年度（令和2年度）には、89案件について食品健康影響評価の要請があり、98案件について評価結果を通知した。

2020年（令和2年）6月16日の第782回委員会会合において、「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」（令和元年10月1日委員会決定）の関係資料について、従来の「コリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の安全性評価の在り方について」から、農薬第一専門調査会で取りまとめた「残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて」に変更した旨を報告した。また、そのほか農薬の評価の関連では、2020年度（令和2年度）は、農薬第一専門調査会において、「農薬の食品健康影響評価に関する事項の調査審議における留意点について」を策定した。

7月7日の第783回委員会会合において、動物用医薬品専門調査会及び肥料・飼料等専門調査会において審議した「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」を報告した。食品用器具・容器包装について、2019年度（令和元年度）に「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」を策定した際に引き続きの検討事項とされていたポリマー添

加剤の取扱い及び研究事業で実施した溶出試験法に係る研究成果を反映する観点から、10月6日の第792回委員会会合において「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」（令和元年5月28日委員会決定）を改正し、公表した。

2021年（令和3年）3月2日の第806回委員会会合において、評価技術企画ワーキンググループにおいてとりまとめた「食品健康影響評価において(Q)SARを活用して変異原性を評価する場合の手引き」について報告した。3月23日の第809回委員会会合において、経済上の連携に関する日本国と欧州連合との間の協定附属書に掲げられる添加物の食品健康影響評価に関する事項について調査審議を行うため、「ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ」を委員会に設置した。

#### ⑨2021年度（令和3年度）

2021年度（令和3年度）は、43回の委員会会合が開催された。

新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、傍聴者を入れることに代えて、委員会会合の様子をYouTube配信した。2021年度（令和3年度）には、82案件について食品健康影響評価の要請があり、133案件について評価結果を通知した。

2021年（令和3年）4月6日の第811回委員会会合において、農薬第一専門調査会で取りまとめた「残留農薬の食品健康影響評価における公表文献の取扱いについて」及び「残留農薬の食品健康影響評価における毒性試験での有害影響の判断に関する考え方」を「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」（令和元年10月1日委員会決定）の関係資料として位置付けるため、本指針の一部を改正した。

5月18日の第816回委員会会合において、「飼料添加物に関する食品健康影響評価指針」(平成30年9月25日委員会決定)を全部改正した。7月1日の第823回委員会会合において、山本委員が委員長に選出された。

9月28日の第833回委員会会合において、最新の国際動向やこれまで行ってきた添加物の評価結果等を踏まえ、「添加物に関する食品健康影響評価指針」(平成22年5月27日委員会決定)を全面改正するとともに、「香料に関する食品健康影響評価指針」(平成28年5月17日委員会決定)、「添加物(酵素)に関する食品健康影響評価指針」(平成29年7月18日委員会決定)及び「栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針」(平成29年7月18日委員会決定)について所要の整備を行った。

2022年(令和4年)3月22日の第852回委員会会合において、最新の国際動向等を踏まえ、「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針」(平成16年9月30日委員会決定)の一部を改正した。

また、日本国内の人用抗菌性物質の承認状況の変化や、WHO、各国・地域のランク付けの動向を踏まえ、「食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについて」(平成18年4月13日委員会決定)の一部を改正した。

#### ⑩2022年度(令和4年度)

2022年度(令和4年度)は、41回の委員会会合が開催された。

2022年度(令和4年度)には、111案件について食品健康影響評価の要請があり、97案件について評価結果を通知した。

2022年(令和4年)6月14日の第862回委員会会合において、「食品健康影響評価にお

けるベンチマークドーズ法の活用に関する指針」(令和元年10月29日委員会決定)の一部を改正した。

6月21日の第863回委員会会合において、「食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針」(平成19年6月1日委員会決定)を全部改正した。

2023年(令和5年)1月10日の第884回委員会会合において、山本委員が委員長に選出された。

1月31日の第887回委員会会合において、「有機フッ素化合物」を自ら評価案件とすることを決定した。そして、2月7日の第888回委員会会合において、有機フッ素化合物(PFA S)ワーキンググループを委員会に設置した。

## (2) 評価の実績

以下に、各年度において、代表的な評価の実績を記載する。

### ①2013年度(平成25年度)

#### <牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する評価(我が国の検査対象月齢の引き上げ)>

2011年(平成23年)12月19日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受けた「牛海綿状脳症(BSE)対策の見直し」に係る食品健康影響評価(我が国の検査対象月齢の引き上げ)について、プリオン専門調査会において、2012年度(平成24年度)から4回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2013年(平成25年)5月13日の第473回委員会会合において、「牛海綿状脳症(BSE)対策の見直し」に係る食品健康影響評価(我が国の検査対象月齢の引き上げ)について、評価書を決定し、厚生労働省に通知した。

【「牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し」に係る食品健康影響評価(我が国の検査対象月齢の引き上げ)】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20121219001>

＜食品中のリステリア・モノサイトゲネスに関する評価＞

2012年(平成24年)1月16日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受けた「食品中のリステリア・モノサイトゲネス」に関する食品健康影響評価について、微生物・ウイルス専門調査会において、2011年度(平成23年度)から6回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2013年(平成25年)5月20日の第474回委員会会合において、「食品中のリステリア・モノサイトゲネス」に関する食品健康影響評価について、評価書を決定し、厚生労働省に通知した。

【「食品中のリステリア・モノサイトゲネス」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20120116331>

＜食品中のヒ素に関する評価＞

2003年(平成15年)7月1日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受け、2008年度(平成20年度)に自ら評価案件として選定した「食品中のヒ素」に関する食品健康影響評価について、化学物質・汚染物質専門調査会幹事会において、2009年度(平成21年度)から2回、化学物質・汚染物質専門調査会汚染物質部会において、2009年度(平成21年度)から9回、化学物質・汚染物質専門調査会において、2013年度(平成25年度)に1回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2013年(平成25年)12月16日の第498回委員会会合において評価書を決定し、厚生労働省及び農林水産省に結果を通知した。

【「食品中のヒ素」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya2009031900k>

＜オクラトキシンAに関する評価＞

2008年度(平成20年度)に自ら評価案件として選定した「オクラトキシンA」に関する食品健康影響評価について、かび毒・自然毒等専門調査会において、2010年度(平成22年度)から8回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2014年(平成26年)1月27日の第501回委員会会合において決定し、厚生労働省及び農林水産省に結果を通知した。

## 【「オクラトキシンA」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya200903190ks>

### ②2014年度（平成26年度）

#### ＜豚の食肉の生食に関する評価＞

2014年（平成26年）9月10日付で厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受けた「豚の食肉の生食」に関する食品健康影響評価について、微生物・ウイルス専門調査会において、2014年度（平成26年度）から2回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2015年（平成27年）2月24日の第550回委員会会合において、評価書を決定し、厚生労働省に通知した。

#### 【「豚の食肉の生食」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20140910231>

#### ＜高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の評価＞

2005年（平成17年）9月20日付で厚生労働省から食品健康影響評価の要請のあった「高

濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性」について、同年9月30日に新開発食品・添加物専門調査会合同ワーキンググループを設置し、5回の審議を行った後、新開発食品・添加物合同専門調査会において、2009年（平成21年）から5回審議を行った。その後、2010年（平成22年）6月10日に「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ」を設置し、7回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2015年（平成27年）3月10日の第552回委員会会合で評価書を決定し、厚生労働省に結果を通知した。

#### 【「高濃度にジアシルグリセロールを含む食品の安全性」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20050920001>

### ③2015年度（平成27年度）

#### ＜クドア（クドア属粘液胞子虫）に関する評価＞

2012年度（平成24年度）に自ら評価案件として選定した「クドア（クドア属粘液胞子虫）」に関する食品健康影響評価について、微生物・ウイルス専門調査会において、2013年度（平成25年度）から6回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2015年（平成27年）11月10日の第583回委員会会合において決定し、厚生労働省及び農林水産省に結果を通知した。



### 【「クドア（クドア属粘液胞子虫）」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20151110862>

#### ④2016年度（平成28年度）

### ＜加熱時に生じるアクリルアミドに関する評価＞

2010年度（平成22年度）に自ら評価案件として選定した「加熱時に生じるアクリルアミド」に関する食品健康影響評価について、化学物質・汚染物質専門調査会において、2011年度（平成23年度）から2回、同専門調査会化学物質部会において2013年度（平成25年度）から6回審議を行った後、「加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ」において1回の審議を行った。その後、審議結果を取りまとめ、2016年（平成28年）4月5日の第601回委員会会合で評価書を決定し、消費者庁、厚生労働省、農林水産省及び環境省に結果を通知した。

#### 【加熱時に生じるアクリルアミドに関する情報】



<https://www.fsc.go.jp/osirase/acrylamide1.html>

### ＜牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る評価（健康と畜牛のBSE検査の廃止）＞

2015年（平成27年）12月18日付で厚生労働省から要請があった「牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し」に係る食品健康影響評価（健康と畜牛のBSE検査の廃止）について、プリオン専門調査会において、2015年度（平成27年度）から5回審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2016年（平成28年）8月30日の第620回委員会会合において評価結果を決定し、厚生労働省に通知した。

### 【「牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し」に係る食品健康影響評価（健康と畜牛のBSE検査の廃止）】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20151218480>

### ＜家畜に使用する硫酸コリスチンに係る薬剤耐性菌に関する評価＞

2003年（平成15年）12月8日付で農林水産省から要請があった「家畜に使用する硫酸コリスチン」に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について、薬剤耐性菌ワーキンググループにおいて、2016年度（平成28年度）から3回審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2017年（平成29年）1月17日の第635回委員会会合において、評価結果を決定し、農林水産省に通知した。

【「家畜に使用する硫酸コリスチン」に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya03120816918>

⑤2017年度（平成29年度）

＜アルミニウムに関する評価＞

2009年度（平成21年度）に自ら評価案件として選定した「アルミニウム」に関する食品健康影響評価については、2017年（平成29年）3月21日付で厚生労働省から評価要請を受け、添加物専門調査会での調査審議を経て取りまとめた添加物評価書「硫酸アルミニウムアンモニウム及び硫酸アルミニウムカリウム」（平成29年12月19日委員会決定）の評価結果において、アルミニウムイオンで構成される物質に関する知見も併せて評価されていること等、アルミニウムに係る自ら評価において必要な事項が網羅されていたことから、同評価結果をもって充てることを12月19日の第678回委員会会合で決定し、厚生労働省に結果を通知した。

【「アルミニウム」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20171219810>

＜フモニシンに関する評価＞

2014年度（平成26年度）に自ら評価案件として選定した「フモニシン」に関する食品健康影響評価について、かび毒・自然毒等専門調査会において、2015年度（平成27年度）から12回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2017年（平成29年）9月26日の第667回委員会会合において決定し、厚生労働省及び農林水産省に結果を通知した。

【「フモニシン」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20170926001>

＜清涼飲料水中に含まれる亜鉛、鉄、カルシウム、マグネシウム等（硬度）に関する評価＞

2013年（平成25年）4月9日付で厚生労働省から食品健康影響評価の要請があった「清涼飲料水に係る規格基準の改正について」の中に含まれる3物質（「亜鉛」、「鉄」、「カルシウム、マグネシウム等（硬度）」）について、2016年（平成28年）4月1日に「清涼飲料水等に関するワーキンググループ」を委員会に設置し、亜鉛と鉄については2回、カルシウム、マグネシウム等については1回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2017年（平成29年）4月25日の第647回委員会会合で評価書を決定し、厚生労働省に結果を通知した。

## 【「亜鉛」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya13040909003>

## 【「鉄」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya13040909004>

## 【「カルシウム・マグネシウム（硬度）」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya13040909005>

## ＜豆腐の規格基準の改正（無菌充填豆腐）に関する評価＞

2017年（平成29年）4月12日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請のあった「豆腐の規格基準の改正」（無菌充填豆腐）に関する食品健康影響評価について、微生物・ウイルス専門調査会において、2017年度（平成29年度）から4回審議を行った後、審議結果をとりまとめ、2018年（平成30年）1月23日第

681回委員会会合において、「豆腐の規格基準の改正」（無菌充填豆腐）に関する食品健康影響評価について決定し、厚生労働省に通知した。

## 【「豆腐の規格基準の改正」（無菌充填豆腐）に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/Kya20170412010>

## ⑥2018年度（平成30年度）

## ＜六価クロムに関する評価＞

2003年（平成15年）7月1日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請のあった、「清涼飲料水中に含まれる六価クロムの規格基準改正」について、2009年度（平成21年度）に化学物質・汚染物質専門調査会清涼飲料水部会において1回の審議を行った後、2017年（平成29年）6月1日、「六価クロムワーキンググループ」を委員会に設置し、4回の審議を行った。その後、審議結果を取りまとめ、2018年（平成30年）9月18日の第712回委員会会合で評価書を決定し、厚生労働省に結果を通知した。

## 【「六価クロム」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20030703091>

## ⑦2019年度（令和元年度）

## ＜豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性に関する評価＞

2019年（平成31年）3月12日付けで農林水産省から食品健康影響評価の要請を受け、「豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性」に関する食品健康影響評価について、動物用医薬品専門調査会において、2018年度（平成30年度）から1回審議を行った後、審議結果をとりまとめ、2019年（平成31年）4月23日第740回委員会会合において、「豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性」に関する食品健康影響評価について決定し、農林水産省に通知した。

【「豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20190312043>

## ＜食品中のデオキシニバレノールの規格基準の設定に関する評価＞

2018年（平成30年）2月22日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受け、「食品中のデオキシニバレノールの規格基準の設定」に関する食品健康影響評価について、かび毒・自然毒等専門調査会において、2017年度（平成29年度）から5回審議を行った後、審議結果をとりまとめ、2019年（令和元年）

12月24日第768回委員会会合において、「デオキシニバレノール」に関する食品健康影響評価について決定し、厚生労働省に通知した。

【「食品中のデオキシニバレノールの規格基準の設定」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20180222161>

## ⑧2020年度（令和2年度）

## ＜乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく調製粉乳の審査事項に関する評価＞

菌末（生菌、死菌を含む。）を原材料として使用する調製粉乳の厚生労働大臣の承認審査を行う際の安全性等を確認するための審査事項の設定に際し、2019年（令和元年）10月9日付で、厚生労働大臣から、「ビフィズス菌及び乳酸菌の菌末を原材料として使用する調製粉乳に関して、同大臣の承認に当たり審査すべき事項を設定することについての評価の要請」があった。委員会は、菌末を添加する育児用調製粉乳の安全確保のため、科学的な検証を行うこととし、同年10月15日の第761回委員会会合において設置が決定された、菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループにおいて、4回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2021年（令和3年）3月9日の第807回委員会会合で評価書を決定し、厚生労働省に結果を通知した。

【「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく調製粉乳の審査事項」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20191009002>

＜合成型肥育ホルモンに関する評価＞

2014年（平成26年）3月20日付で酢酸トレンボロン及びゼラノールについて、厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受け、2016年度（平成28年度）に評価を実施した酢酸メレンゲステロールでの経験を踏まえ、「内分泌活性を有する動物用医薬品の食品健康影響評価の考え方」（平成30年6月1日動物用医薬品専門調査会決定）に基づき、酢酸トレンボロン及びゼラノールについて、それぞれ2020年（令和2年）8月18日の第787回及び12月22日の第801回委員会会合において評価書を決定し、厚生労働省に通知した。

【「酢酸トレンボロン」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20140325209>

【「ゼラノール」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20140325010>

⑨2021年度（令和3年度）

＜食品及び器具・容器包装中の鉛に関する評価＞

2003年（平成15年）7月1日付けで厚生労働省から食品健康影響評価の要請を受け、2007年度（平成19年度）に自ら評価案件として選定した「食品及び器具・容器包装中の鉛」に関する食品健康影響評価について、2012年（平成24年）3月の化学物質・汚染物質専門調査会幹事会による一次報告を経て、2019年（平成31年）4月に「鉛ワーキンググループ」を委員会に設置し、2019年度（令和元年度）から8回の審議を行った後、審議結果を取りまとめ、2021年（令和3年）6月29日の第822回委員会会合において評価書を決定し、消費者庁、厚生労働省、農林水産省、環境省及び経済産業省に通知した。

【「食品及び器具・容器包装中の鉛」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20210629388>

### ＜アレルギー物質を含む食品に関する評価＞

2015年度（平成27年度）に自ら評価案件として選定した「アレルギー物質を含む食品に関する食品健康影響評価」について、2017年（平成29年）10月に「アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ」を委員会に設置し、2017年度（平成29年度）から15回の審議を行い、科学的知見が豊富な「卵」を評価の対象とし、「アレルゲンを含む食品（卵）」の審議結果を取りまとめ、2021年（令和3年）6月8日の第819回委員会会合で評価を終了し、消費者庁及び厚生労働省に評価結果を通知した。

#### 【「アレルゲンを含む食品（卵）」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20210608325>

#### ⑩2022年度（令和4年度）

##### ＜農薬の再評価＞

2022年（令和4年）9月28日付けで農林水産省から最初の農薬再評価に係る評価要請として、チオベンカルブ、チフルザミド、ブタクロールについての評価要請があり、当該3品目は農薬第一専門調査会において審議することとなった。その後、2023年（令和5年）1月20日の農薬第一専門調査会第12回会合から審議を開始した。

### ＜ぶどう酒の製造に用いる添加物に関する評価＞

2021年（令和3年）9月28日付けで厚生労働省から添加物の規格基準改正に係る評価要請として、硫酸銅の評価要請があり、ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループにおいて、2021年度（令和3年度）から4回審議を行った後、審議結果をとりまとめ、2022年（令和4年）8月9日第870回委員会会合において、「硫酸銅」に関する食品健康影響評価について決定し、厚生労働省に通知した。

2022年（令和4年）1月25日付けで厚生労働省から添加物として新たに定め、規格基準を設定数にあたっての評価要請として、フィチン酸カルシウムの評価要請があり、ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループにおいて、2021年度（令和3年度）から3回審議を行った後、審議結果をとりまとめ、2022年（令和4年）9月6日第872回委員会会合において、「フィチン酸カルシウム」に関する食品健康影響評価について決定し、厚生労働省に通知した。

#### 【「硫酸銅」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20210928209>

## 【「フィチン酸カルシウム」に関する食品健康影響評価】



<https://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20220125256>

### (3) リスクプロファイル

委員会では、食中毒原因微生物等に関する食品健康影響評価に関連し、食品健康影響評価のためのリスクプロファイルを作成している。2013年度（平成25年度）以降作成及び改訂したものは以下のとおりである。

#### <鶏肉等におけるCampylobacter jejuni/coli>

カンピロバクターについては、「鶏肉中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ」に関する食品健康影響評価の決定後に蓄積した知見及び食品安全委員会が実施する食品安全確保総合調査の結果を踏まえ、リスク低減策の提案も含め、微生物・ウイルス専門調査会において、2017年度（平成29年度）から3回の審議を経て審議結果を取りまとめ、2018年（平成30年）5月8日の第695回委員会会合において、「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～鶏肉等におけるCampylobacter jejuni/coli～」を決定・公表した。

その後、微生物・ウイルス専門調査会において、2020年度（令和2年度）から3回の審議を経て審議結果を取りまとめ、2021年（令和3年）6月22日の第821回委員会会合において、「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～鶏肉等におけるCampylobacter jejuni/coli～（改訂版）」を決定・公表した。

#### <ノロウイルス>

ノロウイルスについては、微生物・ウイルス専門調査会において、2018年度（平成30年度）から2回の審議を行った後、審議結果を踏まえ、現時点の問題点及び今後の課題について、様々な関係者がそれぞれの視点で取組みに活用できる形でリスクプロファイルを取りまとめ、2018年（平成30年）11月20日の第721回委員会会合において、「食品健康影響評価のためのリスクプロファイル～ノロウイルス～」を決定・公表した。

### (4) ファクトシート

委員会では、食品の安全性に係るハザードについて、ファクトシート（科学的知見に基づく概要書）を作成している。2013年度（平成25年度）以降作成した代表的なものは以下のとおりである。

#### <クロム>

2010年度（平成22年度）に自ら評価案件候補として提案があり、2010年（平成22年）12月16日の第36回企画専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「国民に対する情報提供を行うもの」と整理され、2011年度（平成23年度）食品安全確保総合調査でファクトシート（案）を作成した。

ファクトシート（案）について、2013年（平成25年）6月17日の第478回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <調理器具に用いられているシリコーン>

2010年度（平成22年度）に自ら評価案件候補として提案があり、2010年（平成22年）12月16日の第36回企画専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「国民に対する情報提供を行うもの」と整理され、2011年度（平成23

年度) 食品安全確保総合調査でファクトシート(案)を作成した。

ファクトシート(案)について、2013年(平成25年)6月17日の第478回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <シガテラ>

2010年度(平成22年度)に自ら評価案件候補として提案があり、2010年(平成22年)12月16日の第36回企画専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「情報収集を行うもの」と整理され、引き続き自主的に情報収集を行い、ファクトシート(案)を作成した。

ファクトシート(案)について、2013年(平成25年)12月16日の第498回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <ラップフィルムから溶出する物質>

2010年度(平成22年度)に自ら評価案件候補として提案があり、2010年(平成22年)12月16日の第36回企画専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「国民に対する情報提供を行うもの」と整理され、2011年度(平成23年度)食品安全確保総合調査でファクトシート(案)を作成した。

ファクトシート(案)について、2014年(平成26年)3月31日の第509回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <麻痺性貝毒>

2013年度(平成25年度)に「シアノトキシン」として自ら評価案件候補としての提案が

あり、2014年(平成26年)1月31日の第9回企画等専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「シアノトキシン」に関連し、「麻痺性貝毒」について、ファクトシートの作成候補とする旨、2014年(平成26年)2月10日の第502回委員会会合で報告し、ファクトシート(案)を作成した。

ファクトシート(案)について、2014年(平成26年)11月25日の第539回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <アニサキス>

2011年度(平成23年度)に自ら評価案件候補として提案があり、2012年(平成24年)2月3日の第2回企画等専門調査会で自ら評価案件候補とはしないが、「国民に対する情報提供を行うもの」と整理され、ファクトシート(案)を作成した。

ファクトシート(案)について、2014年(平成26年)12月9日の第541回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。

#### <慢性消耗病>

CWDに関する知見の整理について専門委員より提案があったことを受けて、2017年(平成29年)5月17日の第104回プリオン専門調査会及び2017年(平成29年)10月11日の第107回プリオン専門調査会の審議を経てファクトシート(案)をとりまとめた。

ファクトシート(案)について、2017年(平成29年)10月24日の第670回委員会会合で報告し、ホームページで公表した。



## 4 食品の安全性の確保に関する施策の実施状況の監視

法では、委員会の所掌事務の一つとして、食品健康影響評価の結果に基づき講じられる施策の実施状況を監視し、必要があると認めるときは、内閣総理大臣を通じて関係各大臣に勧告することを規定している。

各年度の実施状況の調査結果は、以下のとおりである。

### ①第18回実施状況調査

前回までの実施状況調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（9分野※1 177品目）に加え、2012年（平成24年）4月から9月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野※2 64品目）の計241件について調査を実施した。実施後、118品目がリスク管理措置済み、123品目が次回への調査審議となった。この結果を、2013年（平成25年）11月18日の第494回委員会会合において報告した。

※1 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、かび毒・自然毒等、新開発食品、肥料・飼料等、その他である。

※2 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、遺伝子組換え食品等、肥料・飼料等である。

調査の際、以下の品目について厚生労働省からヒアリングを行った。

#### 【動物用医薬品】

フルベンダゾール（2010年（平成22年）1月評価結果通知）

レバミゾール（2010年（平成22年）3月評価結果通知）

さらに、前回ヒアリングを実施した品目のうち、1年間進捗が見られない以下の品目について、再度厚生労働省からヒアリングを行った。

#### 【農薬】

クロルピリホス（2007年（平成19年）3月評価結果通知）

#### 【動物用医薬品】

クロルスロン（2010年（平成22年）7月評価結果通知）

ブロチゾラム（2008年（平成20年）3月評価結果通知）

カナマイシン（2007年（平成19年）5月評価結果通知）

#### 【汚染物質・化学物質】

ベンゼン（2008年（平成20年）11月評価結果通知）ほか、清涼飲料水の規格基準の見直しに関連する品目

### ②第19回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（9分野※3 123品目）に加え、2012年（平成24年）10月から2013年（平成25年）3月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野※4 122品目）の計245件について調査を実施した。実施後、62品目がリスク管理措置済み目、183品目が次回への調査審議となった。この結果を、2014年（平成26年）7月29日の第524回委員会会合において報告した。

※3 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、かび毒・自然毒等、新開発食品、肥料・飼料等、その他である。

※4 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医

薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、プリオン、遺伝子組換え食品等、肥料・飼料等、その他である。

### ③第20回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（9分野※5 183品目）に加え、2013年（平成25年）4月から2014年（平成26年）3月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野※6 259品目）の計442件について調査を実施した。実施後、202品目がリスク管理措置済み、240品目が次回への調査審議となった。この結果を、2016年（平成28年）3月29日の第600回委員会会合において、報告した。

※5 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、かび毒・自然毒等、肥料・飼料等、その他である。

※6 10分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、肥料・飼料等、その他である。

### ④第21回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（9分野※7 240品目）に加え、2014年（平成26年）4月から2015年（平成27年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野※8 234品目）の計474件について調査を実施した。実施後、355品目がリスク管理措置済み、119品目が次回への調査審議となった。この結果を、2017年（平成29年）9月19日の第666回委員会会合において、報告した。

※7 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイ

ルス、かび毒・自然毒等、肥料・飼料等、その他である。

※8 12分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品等、肥料・飼料等、その他である。

### ⑤第22回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（6分野※9 119品目）に加え、2015年（平成27年）10月から2016年（平成28年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野※10 228品目）の計347件について調査を実施した。実施後、147品目がリスク管理措置済み、200品目が次回への調査審議となった。この結果を、2018年（平成30年）1月16日の第680回委員会会合において、報告した。

※9 6分野の内訳は、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、かび毒・自然毒等、肥料・飼料等である。

※10 10分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料等、その他である。

### ⑥第23回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（8分野※11 200品目）に加え、2016年（平成28年）10月から2017年（平成29年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野※12 199品目）の計399件について調査を実施した。実施後、316品目がリスク管理措置済み、83品目が次回への調査審議となった。この結果を、2019年（平成31年）2月19日の第731回委員会会合に

において、報告した。

※11 8分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、かび毒・自然毒等、新開発食品、肥料・飼料等である。

※12 9分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、化学物質・汚染物質、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料等である。

### ⑦第24回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（7分野※13 83品目）に加え、2017年（平成29年）10月から2018年（平成30年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野※14 186品目）の計269件について調査を実施した。実施後、182品目がリスク管理措置済み、87品目が次回への調査審議となった。この結果を、2020年（令和2年）2月18日の第773回委員会会合において、報告した。

※13 7分野の内訳は、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、かび毒・自然毒等、新開発食品、肥料・飼料等である。

※14 10分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、遺伝子組換え食品等、肥料・飼料等、その他である。

### ⑧第25回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（7分野※15 87品目）に加え、2018年（平成30年）10月から2019年（令和元年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野※16 154品目）の計241件について調査を実施した。実施後、158品目がリスク管理措置済み、83品目が次回

への調査審議となった。この結果を、2021年（令和3年）3月16日の第808回委員会会合において、報告した。

※15 7分野の内訳は、農薬、動物用医薬品、汚染物質、器具・容器包装、かび毒・自然毒等、新開発食品等、肥料・飼料等である。

※16 12分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、汚染物質、器具・容器包装、微生物・ウイルス、プリオン、遺伝子組換え食品等、新開発食品等、肥料・飼料等、薬剤耐性菌、その他である。

### ⑨第26回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（8分野※17 83品目）に加え、2019年（令和元年）10月から2020年（令和2年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野※18 98品目）の計181件について調査を実施した。実施後、111品目がリスク管理措置済み、70品目が次回への調査審議となった。この結果を、2021年（令和3年）12月14日の第842回委員会会合において、報告した。

※17 8分野の内訳は、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、かび毒・自然毒等、新開発食品、肥料・飼料等、薬剤耐性菌である。

※18 12分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料等、薬剤耐性菌である。

### ⑩第27回実施状況調査

前回までの調査において、具体的な措置が講じられていなかった品目（6分野※19 67品目）に加え、2020年（令和2年）10月から

2021年（令和3年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（11分野※20 141品目）の計208件について調査を実施した。実施後、131品目がリスク管理措置済み、77品目が次回への調査審議となった。この結果を、2022年（令和4年）12月20日の第883回委員会会合において、報告した。

※19 6分野の内訳は、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、プリオン、かび毒・自然毒等、新開発食品である。

※20 11分野の内訳は、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、遺伝子組換え食品等、肥料・飼料等、薬剤耐性菌、その他である。

## 5 科学的調査及び研究の実施

### （1）研究・調査企画会議

2013年度（平成25年度）は、6月4日の調査・研究企画会議において、「食品安全確保総合調査の評価に関する指針」を定め、調査対象課題の評価を適切かつ公正に実施するために必要な基本的事項を定めた。

2014年度（平成26年度）は、「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進の方向性について」（平成22年12月16日委員会決定。以下「ロードマップ」という。）の策定から4年が経過し、「テーマ選定から評価まで同一機関によって行われているのは不透明」「研究実施の委託契約において、再委託が多く、研究の主任研究者の位置づけがはっきりしない」「リスク管理にどの程度活用されているか不透明」等、事業全体の抜本的な改善が必要と指摘された内閣府行政事業レビューの結果から、近年の国際的に新しいリスク評価の方法の開発や研究の進展を踏まえ10年先の食品安全行政のあるべき姿を想定し、これからの5年間に於いて委員会が推進すべき調査・研究の方向性を明確にするために、2014年（平成26年）12月16日の第542回委員会会合において、ロードマップの改正を以下のとおり行った。

- ・ 食のグローバル化、分析技術の進展等に対応し、よりリスク評価に活用できる成果

を得るため、実施すべき研究・調査をより具体的に明示。実施すべき研究・調査の方向は、リスク評価に活用できる成果を得るため、

①危害要因・ばく露実態の評価に必要な科学的知見の集積

②健康影響発現メカニズムの解明

③新たなリスク評価方法等の確立

に焦点を当てて、研究・調査を実施することとした。

- ・ 内閣府行政事業レビューにおける議論を踏まえ「優先実施課題」をもとにした課題の選定
- ・ 事前評価・中間評価・事後評価の実施を明確化
- ・ リスク評価への活用状況について追跡評価を実施、さらに研究事業・調査事業を総体として評価するために、新たにプログラム評価を導入
- ・ 研究・調査結果の活用については、より一層の成果を得るため、関係府省との共有、成果発表会の実施、査読誌における公表を通じて、活用をより図ることを明記

このロードマップの見直しに伴い、調査・研究企画調整会議の名称が「研究・調査企画会議」へ改称され、「研究・調査企画会議」に

事前・中間評価部会、事後評価部会及びプログラム評価部会（以下「部会」と総称する。）が設置された。

各部会の概要や役割は以下のとおり。

#### （ア）事前・中間評価部会

事前・中間評価部会委員は、委員会の常勤委員と、食品の安全性の確保に優れた見識を有し、食品健康影響評価に精通する者のうちから委員長が指名する者から構成されている。

事前・中間評価部会においては、

- ①研究・調査についての中期的方針の案の策定及びその見直しに関すること。
- ②各年度において取り組むべき研究・調査の優先実施課題の案の選定に関すること。
- ③各年度において取り組むべき研究・調査の対象課題の案の選定に関する事前評価に関すること。
- ④2年以上の実施期間を要する研究課題の中間評価に関すること。
- ⑤部会に共通する事項に関すること。

について調査審議を行うこととされている。

#### （イ）事後評価部会

事後評価部会の構成員の概ね半数は、事前・中間評価部会の構成員とは異なる者をもって充てることとされており、事前・中間評価部会の外部有識者の委員と、その他委員長から指名された外部有識者の委員から構成されている。

事後評価部会においては、

- ①実施期間を終了した研究課題の事後評価に関すること。
- ②各年度において取り組まれた調査の対象課題の評価に関すること。

に取り組むこととされている。

#### （ウ）プログラム評価部会

プログラム評価部会の構成員は外部有識者をもって充てるものとされている。

プログラム評価部会においては、「食品安全委員会食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査のプログラム評価に関する指針」（平成28年12月2日研究・調査企画会議決定）（最終改正：令和4年2月18日）に基づき、研究事業・調査事業のプログラム評価（研究事業・調査事業の総体としての目標の達成度合いや副次的成果等についての評価）に関して調査審議を行うこととされている。また、研究事業及び調査事業の食品健康影響評価への活用状況等を把握するため、追跡評価を1年毎に実施している。

2016年（平成28年）12月2日に、研究・調査企画会議においてプログラム評価に必要な事項を定めた「食品安全委員会食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査のプログラム評価に関する指針」を策定した。評価に当たっては、研究事業及び調査事業の総体としての目標の達成度合いを成否判定することを基本とし、実施したプロセスの妥当性や副次的成果、さらに、理解増進や研究基盤の向上等、次につながる成果を幅広い視野から捉えること、個別課題の成果に対して重複した評価が実施されることがないように、事後評価及び追跡評価の結果の活用により、事業全体として効果的かつ効率的に評価することとされている。

2019年（令和元年）5月8日に、研究・調査企画会議プログラム評価部会においてプログラム評価を実施し、評価結果をとりまとめ、6月25日第747回委員会会合へ報告した。

評価対象期間は、平成27年度～令和元年度

(「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進の方向性について」(平成22年12月16日委員会決定)の施行期間)であり、総合評価は「A」※であった。また、総合コメントとして以下の内容が示された。

- 限られた予算の中で成果を挙げており、いずれの研究事業の成果も良好であり、必要性及び効率性は高い。
- 食品健康影響評価やガイドラインの策定への活用のほか、論文文化等への活用を含め、研究成果の活用率は95%であり、研究成果は着実に活用されており、高く評価できる。研究成果は、本来であれば、全てが論文文化されるべきであるが、86%の研究課題が論文文化されているという数字はこれに近く、ほぼ満足できると考えられる。
- 論文文化されたデータを食品健康影響評価書に活用できるよう、今後もフォローアップを行っていく必要がある。また、食品健康影響評価に活用される予定の研究成果については、活用までの工程等が示されると、より評価がしやすいと考えられる。

※総合評価の判定は、研究・調査制度の総合的な評価として、S、A、B、Cの4段階とし、各委員の判定を点数化して平均値を算出した。

(小数点以下は四捨五入)。

S：研究・調査制度は予想以上の成果をあげた。

(4点)

A：研究・調査制度は概ね目標を達成した。(3点)

B：研究・調査制度は目的の達成がやや不十分であった。(2点)

C：研究・調査制度は目的の達成が不十分であった。(1点)

また、2019年度(令和元年度)は、ロードマップが2015年(平成27年)の見直しから5

年が経過したことから、8月27日の第754回委員会会合において、以下の位置づけを明確化するロードマップの改正を行った。

- ・ 食のグローバル化、最先端の科学技術の食品分野への応用及び情報技術の発展(評価に利用可能な情報量の増大)等を踏まえ、リスク評価に活用できる成果を得るため、実施すべき研究・調査を具体的に明示。また、実施すべき研究・調査の方向については、
  - ① ハザード・ばく露実態の評価に必要な科学的知見の集積
  - ② 健康影響発現メカニズムの解明
  - ③ 新たなリスク評価方法等の活用
 に焦点を当てて、研究・調査を実施することとした。
- ・ 透明性を確保するため、関係規程に基づき研究事業・調査事業の実施及び評価を行うことを明示
- ・ 研究・調査の活用に関して、より一層の成果を得るため、成果発表会の実施、学術誌等での公表促進等を明示

#### 【研究・調査活動に関するウェブページ】



<https://www.fsc.go.jp/chousa/>

## (2) 食品安全確保総合調査事業

食品安全確保総合調査事業(「調査事業」という。)については、以下の流れで毎年実施する調査課題が決定されている。

- ①毎年度、ロードマップに基づき、当委員会において優先的に実施すべき研究課題(「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保

総合調査の優先実施課題)を決定

- ② 決定された優先実施課題に基づき、調査課題の仕様書を決定
- ③ 入札公告を実施
- ④ 総合評価落札方式・一般競争入札を実施し、調査請負者を決定する。

各調査課題については、調査事業終了後、事後評価部会における事後評価及びプログラム評価部会における追跡評価が行われ、リスク評価への活用状況が評価されている。

平成25年度は、「陰膳サンプルを用いた化学物質・汚染物質の分析調査」等4課題、平成26年度は、「動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査」等6課題、平成27年度は、「フモニシンに係る食品健康影響評価に関する調査」等6課題、平成28年度は、「清涼飲料水中の化学物質（六価クロム）の規格基準改正に係る食品健康影響評価のための情報収集・調査」等7課題、平成29年度は、「海外における汚染物質等に係るばく露評価に関する実態調査」等7課題、平成30年度は、「ベンチマークドーズ法に関するガイダンス及び導入支援ソフトウェア等の現状調査」等5課題、令和元年度は、「ファクトシートのためのダイオキシン類及びヒスタミンの科学的知見の収集に関する調査」等5課題、令和2年度は、「加熱調理の科学的情報の解析及び画像の開発」等6課題、令和3年度は、「野生動物由来の食肉中のハザードに関する調査」等3課題、令和4年度は、「パーフルオロ化合物に係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理」等6課題の調査を実施した。そのうち、主な調査事業は以下のとおりである。

平成29年度に実施した「海外における汚染物質等に係るばく露評価に関する実態調査」

においては、有機汚染物質を対象として、国際評価機関や諸外国の評価機関等におけるばく露評価等に関する情報を収集し、整理を行った。調査結果については、汚染物質等専門調査会における審議において活用されている。

平成30年に実施した「ベンチマークドーズ法に関するガイダンス及び導入支援ソフトウェア等の現状調査」においては、海外のリスク評価機関等が、ベンチマークドーズ法を用いる際の考え方、手順等を整理したガイダンス等に関する情報の収集を行った。調査結果については、評価技術企画ワーキンググループにおいて審議された「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕」の審議資料作成の際の基礎情報として活用した。

また、令和2年度に実施した「加熱調理の科学的情報の解析及び画像の開発」においては、低温調理を含む種々の調理法を用いて、食材を変えた場合の調理工程の様子、調理品内部の加熱の状態等について、わかりやすい画像情報を開発・収集するとともに、画像が得られた時の調理条件を科学的情報として解析を行った。本調査で得られた情報については、食品安全啓発動画の素材として活用し動画を公開した。また、得られたデータ・写真を情報発信素材としてホームページ上で公開した。

その他の各調査課題の調査結果についても、食品健康影響評価、リスクプロファイル、ファクトシート、ガイドライン、リスクコミュニケーション等へ活用されている又は活用が見込まれている。

各年度における調査事業一覧は、資料編「5 食品安全確保総合調査課題一覧」を参照。

### (3) 食品健康影響評価技術研究事業

食品健康影響評価技術研究事業（「研究事業」という。）については、以下の流れで毎年実施する研究課題が決定されている。

- ①毎年度、ロードマップに基づき、当委員会において優先的に実施すべき研究課題（「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題」）を決定
- ②決定された優先実施課題についてe-Rad等で公募
- ③応募課題を当委員会で審査し、採択課題を決定
- ④採択課題に対し委託費として研究費を配分  
各研究課題については、研究事業終了後、事後評価部会における事後評価及びプログラム評価部会における追跡評価が行われ、リスク評価への活用状況が評価されている。

平成25年度は、「化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点」等5課題、平成26年度は、「低水分含量食品中における食中毒細菌（サルモネラ、腸管出血性大腸菌）の菌数変動および生存確率予測モデルの開発」等8課題、平成27年度は、「食品に対する乳児期のアレルギー性反応獲得メカニズムと発症リスク評価」等8課題、平成28年度は、「食品用ペットボトルから溶出する化学物質の摂取量の推定に関する研究」等7課題、平成29年度は、「合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における溶出試験法に関する研究」等6課題、平成30年度は、「食品に非意図的に混入する微量化学物質のリスク評価へのin silico評価手法の適用に関する研究」等8課題、令和元年度は、「二値反応の用量反応データを対象としたベンチマークドーズ計算ソフトウェアの開発研究」等9課題、令和2年度は、「ベイズ統計学に基づく推定手法を

活用したアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究」等9課題、令和3年度は、「遺伝子組換え台木と非組換え穂木との生体成分輸送に起因する食品安全性の評価点解明」等3課題、令和4年度は、「細胞培養技術を用いて製造される食肉のリスク評価手法に関する研究」等8課題を採択した。

そのうち、主な研究事業は以下のとおりである。

平成28年度に採択した「食品用ペットボトルから溶出する化学物質の摂取量の推定に関する研究」及び平成29年度に採択した「合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における溶出試験法に関する研究」において作成された溶出試験法案等については、「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」の作成において活用された。

令和元年度に採択した「二値反応の用量反応データを対象としたベンチマークドーズ計算ソフトウェアの開発研究」によって開発されたソフトウェアは、「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕」を補完する評価技術企画ワーキンググループ決定文書に記載された。

令和2年度に採択した「ベイズ統計学に基づく推定手法を活用したアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究」では、実際の臨床データからベンチマークドーズ法を用い、アレルギー症状誘発確率の推定を行った。本研究で得られた成果は、アレルゲンを含む食品に関するファクトシートの知見整理の資料として活用予定である。

その他の各研究課題の成果についても、食品健康影響評価、リスクプロファイル、ファクトシート、ガイドライン、リスクコミュニケーション等へ活用されている又は活用が見



込まれている。

各年度における研究事業一覧は、資料編「7

食品健康影響評価技術研究採択課題一覧」を参照。

## 6 リスクコミュニケーションの実施

リスクアナリシスを構成する、リスク評価・リスク管理・リスクコミュニケーションの3つの要素のうちリスクコミュニケーションについては、法第23条において、「関係者相互間の情報及び意見の交換を企画し、及び実施する」と規定されている。委員会では、設立当初より、対象者、テーマ、手法等を工夫しながらリスクコミュニケーションに積極的に取り組んでいる。

委員会設立から11年目となった2014年（平成26年）、委員会の新たな10年に向けて、より適切かつ効果的なリスクコミュニケーションを推進していくために、「リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会」（以下「勉強会」という。）を設置し、基本に立ち返って、食品の安全性に関するリスクコミュニケーションの意義、目的、目的を達成するために必要な方法等の検討を行った。さらに、この検討結果を、委員会の運営に適切に反映させるため、12月8日第12回企画等専門調査会会合において、企画等専門調査会の下に「リスクコミュニケーションのあり方に関するワーキンググループ」を設置することが決定された。当該ワーキンググループにおいて報告書（「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方について」）を作成し、2015年（平成27年）5月14日第14回企画等専門調査会会合において取りまとめが行われた。本報告書では勉強会での議論の内容を基に、リスクコミュニケーションの定義やこれまでの取組における課題、食品分野におけるリスク、望ましいリスクコミュニケーションのあり方及び

委員会や関係者（行政機関、食品事業者、消費者、科学者やメディア）に期待される姿勢等が盛り込まれている。本報告書は、現在委員会が行うリスクコミュニケーション活動の基本となっている。

なお、2009年（平成21年）に消費者庁が設立された以降は、委員会及びリスク管理機関が行うリスクコミュニケーションの事務の調整を消費者庁が行い、関係府省庁と連携したりリスクコミュニケーションにも取り組んでいる。

### （1）意見交換会等の開催

#### ①2013年度（平成25年度）

##### （ア）意見交換会等

- ・ 地方公共団体と共催で、サイエンスカフェの手法を取り入れた形式や、少人数グループによる意見交換方式などの効果的な形式での意見交換会、消費者団体と連携した意見交換会、地域の専門家を対象とした意見交換会を実施した。
- ・ 2013年（平成25年）5月に評価結果を通知した「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し」に係る食品健康影響評価（我が国の検査対象月齢の引き上げ）について、当該評価書への意見・情報の募集期間中に意見交換会を実施し、その後、厚生労働省・消費者庁と連携して、「牛海綿状脳症対策の見直しに関する説明会」も実施した。また、地方公共団体や大学・研究機関等へ本テーマを中心とした講師派遣を行った。
- ・ 食品中の放射性物質について、消費者庁、厚生労働省及び農林水産省と連携した

説明会を全国各地で実施した。委員会と地方公共団体との緊密な連携や情報の共有を図るため、地方公共団体向け学習会や全国食品安全連絡会議を開催し、「牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに係る食品健康影響評価」や「食品中のリステリアのリスク評価」について意見交換を実施した。

(イ) 食の安全ダイヤル

- ・ 食の安全ダイヤルについては、一般消費者等から783件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、牛海綿状脳症(BSE)関連の相談が多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

(ウ) その他

- ・ 一般消費者に対し、食品の安全性についての体系的な理解を目的とした「食品を科学するーリスクアナリシス（分析）講座ー」を全6回の連続講座として実施し、委員会の各委員がそれぞれの専門分野についての講義を行った。



「食品を科学するーリスクアナリシス（分析）講座ー」の会場の様子（『食品安全 第38号』より）

- ・ 小学校高学年や中学生を対象として、食の安全について楽しく学ぶイベント「ジュニア食品安全委員会」（25名参加）、「ジュニア食品安全ゼミナール」（5回開催、計877名参加）を開催した。



2013年（平成25年）8月8日に開催された「ジュニア食品安全委員会」での記念撮影（『食品安全 第36号』より）

- ・ 訪問学習の受入れを行い（3回）、委員会を訪れた学生に対し、委員会の取組や食品の安全性に関する説明・意見交換を行った。

②2014年度（平成26年度）

(ア) 意見交換会等

- ・ 地方公共団体や消費者団体等と連携し、地域のオピニオンリーダーや専門家等を対象に、少人数・参加型での双方向性が高い開催方式での意見交換会を実施した。



「酒と健康」をテーマに佐藤洋委員長が解説している様子（『食品安全 第42号』より）



福井県で開催した『食品添加物』についての意見交換会の様子（『食品安全 第42号』より）

- ・ トランス脂肪酸やアクリルアミドなどをテーマに報道関係者との意見交換会を行い、連携の充実・強化を図った。
- ・ 主に食品中の放射性物質や農薬等について、消費者庁、厚生労働省及び農林水産省並びに地方公共団体と連携した意見交換会を実施した。
- ・ 地方公共団体との全国食品安全連絡会議や学習会を開催し、食品安全に関するリスクアナリシスの基本的事項や食品健康影響評価に関する情報提供を行った。

#### (イ) 食の安全ダイヤルへの対応

- ・ 食の安全ダイヤルについては、一般消費者等から708件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、人工甘味料などの食品添加物の相談が多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

#### (ウ) その他

- ・ 「リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会」を設置し、6回の会合を行った。



外部有識者を交えて行われた「リスクコミュニケーションのあり方に関する勉強会」の様子（『食品安全第39号』より）

- ・ 「リスクコミュニケーションのあり方に関するワーキンググループ」を設置し、2回の会合を行った。

- ・ 小学校高学年や中学生を対象として、食の安全について楽しく学ぶイベント「ジュニア食品安全委員会」（13名参加）、「ジュニア食品安全ゼミナール」（5回開催、計904名参加）を開催した。



熊谷委員長より「ジュニア食品安全委員会委員」任命書がひとりずつ手渡されている様子（『食品安全第40号』より）



広島市立戸山中学校で実施したジュニア食品安全ゼミナールの様子（『食品安全第41号』より）

- ・ 消費者の食品安全に関する体系的な理解の促進を目的に、委員会委員等による連続講座を実施した。講座の資料、質疑内容についてはインターネットで配信するとともに、講座の内容をまとめたDVDを作成し、地方公共団体等へ配布した。
- ・ 食育推進全国大会でブース出展し、リスクアナリシスの考え方や委員会の役割に関するパネルの展示や、パンフレット類の配布を行った。



内閣府ブース内の様子。多くの方に来訪いただき盛況となりました。



食育推進全国大会の様子。「食品安全」もポスターとして掲示。（『食品安全 第40号』より）

- ・ 日本毒性学会や日本獣医学会、日本薬理学会にて、食品の安全を守る仕組みについてブース展示を行い、リスクアナリシスの考え方の普及を図った。



日本獣医学会学術集会でのブース出展の様子（『食品安全 第41号』より）

### ③2015年度（平成27年度）

#### （ア）意見交換会等

- ・ 初めての取組として、栄養教諭等の学校

教育関係者を主な対象として、地方公共団体との共催の下、食品添加物、肉の生食のリスク等のテーマで意見交換会を実施した。



栄養教諭等の学校教育関係者を主な対象とした意見交換会の様子（『食品安全 第44号』より）

- ・ 食品中の放射性物質及び農薬について、消費者庁、厚生労働省、農林水産省、環境省、関係地方公共団体と連携した意見交換会を開催した。
- ・ いわゆる「健康食品」についての報告書及びメッセージに関して、報告書取りまとめの際に、記者ブリーフィングを行った。さらに、報告書の内容を広く消費者に周知するため、冊子「いわゆる「健康食品」について」を作成し、消費生活センター、地方公共団体、図書館等全国関係機関に広く配布するとともに、「いわゆる『健康食品』に関する説明会～消費者の皆様を対象に～」を開催した。

## 【冊子「いわゆる「健康食品」について」】



- ・ アクリルアミドワーキンググループにおいて評価書案を取りまとめた際に、記者ブリーフィングを行い、評価書案のパブリックコメント募集中に「加熱時に生じるアクリルアミドの食品健康影響評価及び低減対策について」のセミナーを実施した。
- ・ 食品添加物や食中毒をテーマに報道関係者との意見交換会を実施し、連携の充実・強化を図るとともに、消費者団体等関係者と情報交換会を行った。
- ・ 地方公共団体との全国食品安全連絡会議を開催し、トランス脂肪酸やいわゆる「健康食品」に関するメッセージ等に関する情報提供を行った。



全国食品安全連絡会議の様子（『食品安全 第45号』より）

## （イ）食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から737件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、トラン

ス脂肪酸について説明した委員会のウェブページを2015年（平成27年）6月に更新したこともあり、トランス脂肪酸関連の問い合わせが多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

## 【平成27年6月に更新したトランス脂肪酸についてのウェブページ】



[https://www.fsc.go.jp/osirase/trans\\_fat.html](https://www.fsc.go.jp/osirase/trans_fat.html)

## （ウ）その他

- ・ 第14回企画等専門調査会において、報告書「食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方について」を取りまとめた。
- ・ 消費者の食品の安全性に関する体系的な理解の促進を目的に、委員会委員らによる連続講座を実施した。講座の資料、質疑内容については委員会のウェブサイトに掲載した。
- ・ 日本家庭科教育学会、日本毒性学会、日本調理科学会、日本環境変異原学会、日本毒性病理学会、日本薬理学会にて、食品の安全を守る仕組みについてブース展示を行い、リスクアナリシスの考え方の普及を図った。
- ・ 食育推進全国大会においてブース出展し、リスクアナリシスの考え方や委員会の役割に関するパネルの展示や、パンフレッ

ト類の配布を行った。



食育推進全国大会の様子（『食品安全 第43号』より）

#### ④2016年度（平成28年度）

##### （ア）意見交換会等

- ・ 食品添加物等の関心の高いハザードをテーマに、栄養教諭や家庭科教諭等の学校教育関係者を対象者として意見交換会を開催した。



学校教育関係者を対象者とした意見交換会の様子（『食品安全 第48号』より）

- ・ 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る評価書案に係る意見交換会を開催した。



牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る評価書案に係る意見交換会の様子（『食品安全 第48号』より）

- ・ 消費者庁等の関係省庁と連携し、食品中の放射性物質や牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し、食品の安全を守る取組に関する意見交換を開催した。
- ・ 地方公共団体との全国食品安全連絡会議を開催し、意見交換会の実施状況等に関する情報提供を行った。



全国食品安全連絡会議において、村田委員がトランス脂肪酸とアクリルアミドについて講演している様子（『食品安全 第49号』より）

- ・ 食中毒等をテーマに、報道関係者や消費者団体との意見交換会や情報交換会を行った。

##### （イ）食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から701件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、食品添加物や遺伝子組み換え食品などの相談が多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、

よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

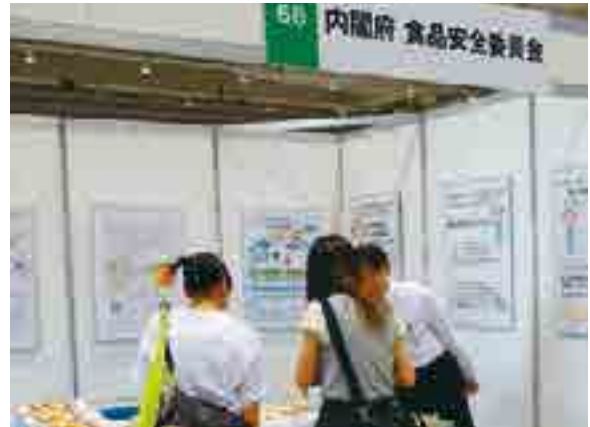
#### (ウ) その他

- ・ 委員会委員によるリスクアナリシス講座の地方開催を行うとともに、リスクアナリシス講座を刷新し、「加熱時に生じるアクリルアミドの食品健康影響評価及び低減対策」をテーマに「精講：食品健康影響評価」を開催した。
- ・ 「子ども霞が関見学デー」の参加プログラムとして「ジュニア食品安全委員会」（8名参加）を開催した。
- ・ PRION 2016、ifa Japan 2016、日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本毒性病理学会及び日本環境変異原学会において、食品の安全を守る仕組みについてのブース展示を行った。



PRION2016の様子（『食品安全 第47号』より）

- ・ 食育推進全国大会において、リスクアナリシスの考え方や委員会の役割に関する情報提供を行った。



食育推進全国大会の食品安全委員会の出展ブースの様子（『食品安全 第48号』より）

### ⑤2017年度（平成29年度）

#### (ア) 意見交換会等

- ・ 栄養教諭や家庭科教諭等の学校教育関係者等を重点対象者とし、食品添加物等の関心の高いハザードをテーマに、地方公共団体と共催して意見交換会を開催した。



栄養教諭や家庭科教諭等の学校教育関係者等を重点対象者とした意見交換会の様子（『食品安全51号』より）

- ・ カフェインをテーマに広く一般消費者を対象とした「みんなのための食品安全勉強会」を、加熱時に生じるアクリルアミドをテーマに食品関係事業者や研究者等を対象とした「精講：食品健康影響評価」を開催した。
- ・ 消費者庁等の関係省庁と連携し、主に食品中の放射性物質をテーマに食品の安全性に係る意見交換会を開催した。

- ・ カフェイン、フモニシンをはじめとしたかび毒、無菌充填豆腐並びに硫酸アルミニウムアンモニウム及び硫酸アルミニウムカリウムをテーマに、報道関係者及び消費者団体を対象とした意見交換会を行った。
- ・ 地方公共団体のリスクコミュニケーションをより効果的に実施するため、各地方公共団体のリスクコミュニケーションの実態調査を行うとともに、全国食品安全連絡会議を開催し、外部講師情報等の共有化を図るとともに、実用的な事例の報告や有効なリスクコミュニケーションを実施するための意見交換を行った。

(イ) 食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から611件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、乳児ボツリヌス症による死亡事故があったことから、ボツリヌス症の問い合わせが増えた。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

(ウ) その他

- ・ 食育推進全国大会において、リスクアナリシスの考え方や委員会の役割に関する情報提供を行った。
- ・ 消費者庁と連携して「子ども霞が関見学デー」(146名参加/参加全省庁の参加者数は43,484名)に初めて出展した。



「子ども霞が関見学デー」において、ゲームで楽しく学ぶ子どもたちの様子(『食品安全 第52号』より)

- ・ 訪問学習の受入れを行い(5回)、公衆衛生を学ぶ大学生及び大学院生や厚生労働省のインターンシップ生に対して、食品の安全に係る科学的基礎知識について講義を行った。
- ・ 公益社団法人日本栄養士会、一般財団法人食品産業センター及び公益社団法人日本医師会との間で、連携強化に向けた意見交換を行った。  
特に、日本栄養士会とは、同会が制定した「栄養の日・栄養週間2017」の後援を行ったほか、県栄養士会の要請に応じた講師を派遣するとともに、委員会からの情報を同会のウェブサイトを通じて提供した。
- ・ 日本毒性学会、日本先天異常学会、日本食品微生物学会及び日本毒性病理学会において、委員による講演等と併せてブース展示を行った。





日本食品微生物学会学術総会でのブース展示の様子  
 (『食品安全 第53号』より)



日本毒性病理学会と共催で行った市民講座の様子 (『食  
 品安全 第54号』より)

- ・ 公式YouTubeにおいて、「精講：食品健康影響評価」及び「みんなのための食品安全勉強会」の講義を動画配信した。
- ・ 改訂版「科学の目で見える食品安全」について、全国の食品安全担当部局に情報提供を行うとともに、「お母さんになるあなたへ」にリステリアによる食中毒、ハチミツの摂取による乳児ボツリヌス症等の新たな情報を追加し、情報提供を行った。

## 【「科学の目で見える食品安全」】



<https://www.fsc.go.jp/kids-box/>

(キッズボックスページ下部に掲載)

## ⑥2018年度（平成30年度）

### (ア) 意見交換会等

- ・ 広く一般消費者を対象とし、「食べものと微生物」及び「知って防ごう食中毒」をテーマに「みんなのための食品安全勉強会」を、食品関係事業者や研究者等を対象とし、鶏肉等におけるカンピロバクター・ジェジュニ/コリをテーマに「精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル」を開催した。
- ・ 地方公共団体と共催で、栄養教諭、学校栄養士等学校教育関係者を対象とし、食中毒予防、食品添加物等をテーマに意見交換を行い、グループワークを通して、テーマについての理解を深めた。



栄養教諭、学校栄養士等学校教育関係者を対象とした意見交換会におけるグループワークの様子と作成したクリアファイル（『食品安全 第56号』より）

- ・ 消費者庁等の関係省庁と連携し、食品中の放射性物質等をテーマに意見交換会を開催した。トランス脂肪酸、カンピロバクターを中心とした食中毒及びノロウイルスをテーマに、報道関係者及び消費者団体を対象とした意見交換会を行った。
- ・ 地方公共団体のリスクコミュニケーションをより効果的に実施するため、各地方公共団体のリスクコミュニケーションの実態調査を行うとともに、全国食品安全連絡会議を開催して、地方公共団体が実施したリスクコミュニケーションの優良事例の報告及び有効なリスクコミュニケーションを実施するための意見交換を行った。
- ・ 公益社団法人日本栄養士会及び一般財団法人食品産業センターとの間で、連携強化に向けた意見交換を行った。日本栄養士会とは、2017年度（平成29年度）に引き続き、同会が制定した「栄養の日・栄養週間2018」の後援を行ったほか、キッズボックスの改善のため、同会会員のうち学校関係者を対象としたアンケート調査の実施に協力を得

た。

(イ) 食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から633件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、週刊誌に食品添加物の安全性についての記事が出たこともあり、食品添加物の問い合わせが多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。加えて、消費者の関心が高いと考えられる質問については、Facebook等を通じて解説を広く情報提供した。

(ウ) その他

- ・ 消費者庁と共同で「こども霞が関見学デー」（190名参加／参加全省庁の参加者数は43,856名）に出展した。
- ・ 中学から大学・大学院までの学生、JICA研修生等の訪問学習を受け入れ（6回）、食品の安全確保の仕組みについての講義を行った。
- ・ 「食品の安全性に関する用語集」について、用語の検索・閲覧が容易にできるようにするため、ウェブサイトの用語集ページを整理し、html形式に変更し、新規作成及び見直しが必要な用語については、用語の説明文を検討し、更新作業を行った。

【食品の安全性に関する用語集】



<https://www.fsc.go.jp/yougoshu.html>

- ・ 日本栄養改善学会、日本食品微生物学会及び日本食品衛生学会において、委員によ

る講演と併せてブース展示を行った。また、Asian Pacific Prion Symposium2019において、事務局職員による講演と併せてブース展示を行った。

## ⑦2019年度（令和元年度）

### （ア）意見交換会等

- ・ 食品事業者及び行政担当者を対象とし、鶏肉等におけるカンピロバクター・ジェジュニ／コリをテーマに「精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル」を鹿児島県及び福岡県で開催し、鶏肉の消費の多い地域においてカンピロバクター属菌に関する最新の情報を提供したほか、ノロウイルスをテーマに「精講：食品健康影響評価のためのリスクプロファイル」を東京都と大阪府で開催した。



食品事業者及び行政担当者を対象とした講演の様子（『食品安全 57号』より）

- ・ 地方公共団体と共催で、栄養教諭等の学校教育関係者を重点対象とし、食品安全の基礎的な考え方に加え、食中毒や遺伝子組換え等の関心の高いテーマについての意見交換会を実施した。意見交換会ではグループワークを行い理解を深めた。



栄養教諭等の学校教育関係者を重点対象とした意見交換会の様子（『食品安全 57号』より）

- ・ 地方公共団体が実施する意見交換会等に講師派遣を行い、食中毒予防、カフェインの過剰摂取の防止及びいわゆる「健康食品」の適切な使用について、情報発信を行った。
- ・ 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針をテーマに、報道関係者及び消費者団体を対象に意見交換会を行った。
- ・ 全国食品安全連絡会議を開催し、各地方公共団体が行ったリスクコミュニケーションについての調査の結果をフィードバックするとともに、地方公共団体や委員会のそれぞれの役割分担について意見交換を行った。
- ・ 一般財団法人食品産業センターが主催する、流通事業者を含む食品関係事業者との意見・情報交換会に参加し、食品の安全に不安を感じた消費者からの問合せ状況や「食品の安全性確保の基本的な考え方」について情報交換を行った。
- ・ 一般消費者を対象とした講座「みんなの

ための食品安全勉強会」の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせた。

- ・ 食品中の放射性物質について理解を深めるため、消費者庁等の関係省庁と連携し、児童を対象とした「夏休み2019 宿題・自由研究大作戦！」に出展し、有識者による科学実験などを交えながら、情報提供及び意見交換を行った。また、食品中の放射性物質について理解を深めるため、消費者庁等の関係省庁と連携し、一般消費者を対象とした「食品に関するリスクコミュニケーション」を開催し、意見交換を行った。

#### (イ) 食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から576件の相談や問い合わせを受け付けた。内容としては、2020年(令和2年)1月に国内で新型コロナウイルス感染者が確認されたこともあり、新型コロナは食品から感染しうるのかなど、コロナ関連の相談が新たに発生した。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。さらに、「食の安全ダイヤル」を通じて消費者から良く尋ねられる食中毒予防などに関する質問等については、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

#### (ウ) その他

- ・ 消費者庁と連携し、「こども霞が関見学デー」(201名参加/参加全省庁の参加者数は46,952名)に出展し、ゲームを通して手洗いや消毒の大切さについて理解を図った。
- ・ 国際食品素材/添加物展・会議、ヘルスフードエキスポ (ifa/HFE JAPAN)、日本毒性学会、日本調理科学会、日本食品衛生学会並びに日本食品微生物学会において、委員又は事務局職員による講演や委員会の業務に関するブース展示を行った。

- ・ 中学生・高校生を対象とした、食品の安全について理解を深めるための認知心理学を応用した副教材の作成を検討するため、研究事業による開発を進めた。
- ・ 食品安全を守る仕組み等に関心を持ち訪問学習を希望した中学生、高校生、大学生等の訪問学習を受け入れた(5回)。

### ⑧2020年度(令和2年度)

#### (ア) 意見交換会等

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止を優先したため、意見交換会等の開催は縮小した。しかし、主としてオンラインで一部の地方公共団体と共催での意見交換会を開催したほか、消費科学センター、消費者団体連合会、コープデリ生活協同組合連合会等の消費者団体や事業者団体及び大学、学会、展示会に講師を派遣した。冬季に発生件数が急増するノロウイルスをテーマに、食品事業者、研究者、行政担当者等の専門家を対象とし、「精講:食品健康影響評価のためのリスクプロファイル」をYouTubeで動画配信し、寄せられた質問をもとにQ&A集を作成し、公表した。

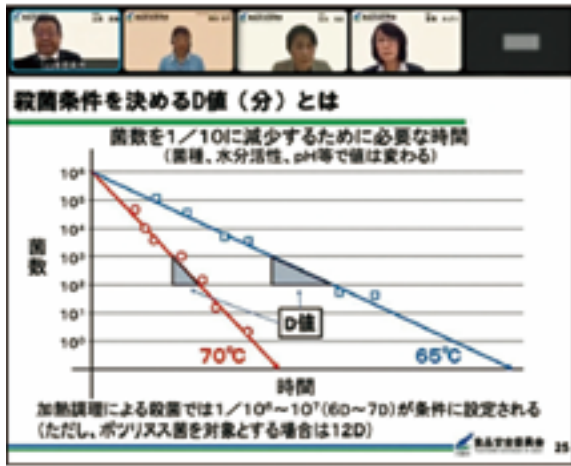


- ・ 委員会が行っている情報発信の取組や健康食品に関して、消費者団体の要望に応じて、消費者団体の構成員に情報提供し、意見交換を行った。
- ・ 報道関係者を対象に、残留農薬のリスク評価に関してオンラインセミナーを開催し、意見交換を行った。



オンライン意見交換会「科学に基づく報道とはなにか」を開催した際の様子

- ・ 「リスクコミュニケーション」「残留農薬のリスク評価」をテーマに全国食品安全連絡会議を開催した。それぞれYouTubeで動画配信し、参加団体から寄せられた質問をもとにQ&A集を作成し、共有した。
  - ・ 消費者庁等の関係省庁と連携し、親子で学べる特設ウェブコンテンツ「知ろう！考えよう！食べものと放射性物質」を公開した。また、一般消費者を対象とした食品に関するリスクコミュニケーション「共に考える食品中の放射性物質」をオンライン開催し、意見交換を行った。
- (イ) 食の安全ダイヤル
- ・ 一般消費者等から566件の相談や問い合わせを受け付けた。内容については、引き続き新型コロナウイルス関連の相談が多かった。委員会は、ウェブサイト上に2020年(令和2年)4月22日に「新型コロナウイルス感染症と食品について」のページを開設し、食品が感染経路とならないこと、感染予防に効果がある食品の報告がないことを紹介した。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供するとともに、Q&Aをウェブサイトで公開し、古い情報の更新を進めた。
- (ウ) その他
- ・ 日本薬学会、日本食品化学学会及び日本食品衛生学会に講師として委員を派遣した。
  - ・ 2020年度(令和2年度)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止ないしはオンライン開催となった学会が多く、ブース出展はできなかったが、日本農薬学会の要旨集に、委員会の活動を紹介する広告を掲載した。
  - ・ オンラインにて、学生の訪問学習(3回)を受け入れた。
- ⑨2021年度(令和3年度)
- (ア) 意見交換会等
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにて意見交換会を実施した。
  - ・ 食品関係事業者等を対象とし、「精講：食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう」をオンラインで開催した。



オンラインで行った精講の様子(『食品安全 第59号』より)

- ・ 報道関係者を対象に、2021年(令和3年)7月の委員改選により、新体制となった委員会委員との意見交換会、並びに農薬の再評価及び肉を安全に調理するためのポイントをテーマにした意見交換会を開催した。



報道関係者との意見交換会の様子(『食品安全 第59号』より)

- ・ 高校生及び大学生向けの意見交換会をオンラインで開催した。
- ・ 関係省庁と連携し、大学生と一般向けに放射性物質に関する意見交換会を開催した。
- ・ 農薬の再評価、委員会が提供した情報の活用事例及び新型コロナウイルス感染症流行下で実践してきたリスクコミュニケーションの具体例をテーマに、地方公共団体

の食品安全部局を対象とした全国食品安全連絡会議をYouTubeでの動画配信によって開催した。

- ・ オンラインで実施した各種意見交換会を録画・編集し、見逃し配信としてYouTubeにて公開した(Youtubeで公開している動画の詳細については、資料編「8-6 YouTube実績一覧」を参照)。

(イ) 食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から553件の相談や問い合わせを受け付けた。内容については、新型コロナウイルス関連の相談が減少し、輸入品の食品添加物についての相談や農薬についての相談が多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供するとともに、最新の食品健康影響評価結果等を踏まえ、「食の安全ダイヤルQ&A」の内容を大幅にリニューアルした。

(ウ) その他

- ・ 消費者庁、厚生労働省、農林水産省、環境省と連携して「食品安全セミナー：農薬の再評価」をオンラインで開催した。
- ・ 食品中の放射性物質について理解を深めるため、消費者庁等の関係省庁と連携し、「おいしいにっぽんフェス2021」に親子で学べるコンテンツを出展した。
- ・ 重点的に連携を強化する学術分野の学会等に講師派遣等を行った。獣医疫学会、日本カンピロバクター研究会及び食の安全を確保するための微生物検査協議会、ILSI Japan国際ワークショップに、講師として委員を派遣した。
- ・ JICAが行った海外の行政関係者等を対象とした、動画配信による研修にコンテ

ンツを提供した。オンラインにて、学生の訪問学習（2回）を受け入れた。

## ⑩2022年度（令和4年度）

### （ア）意見交換会等

- ・ 新型コロナウイルス感染者数の推移に応じて、オンライン形式、対面形式あるいはオンラインと対面を合わせたハイブリッド形式を選んで開催した。
- ・ 食中毒やカフェインなどをテーマに、対面にて高校生及び大学生向けの意見交換会を開催した。
- ・ 一般消費者、食品事業者を対象に、「精講：食品添加物のリスク評価をアップデート～評価指針を改正、ワイン添加物も続々評価～」、「健康食品による健康被害を防ぐために」をテーマとした意見交換会をオンラインで開催した。
- ・ 報道関係者を対象に、「食品添加物のリスク評価をアップデート —評価指針を改正、ワイン添加物も続々評価—」、「食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」の評価」及び「健康食品による健康被害を防ぐために」をテーマとした意見交換会を実施した。
- ・ 関係省庁と連携し、大学生と一般向けに放射性物質に関する意見交換会をハイブリッド形式で開催した。
- ・ 消費者庁が行う地方公共団体等食品安全担当職員研修会との合同会議として、「地方自治体が行うリスクコミュニケーションの重要性」をテーマに、地方公共団体の食品安全部局を対象とした全国食品安全連絡会議を開催した。（協力：厚生労働省、農林水産省）。
- ・ オンラインで実施した各種意見交換会を録画・編集し、見逃し配信としてYouTube

にて公開した（YouTubeで公開している動画の詳細については、資料編「8-6 YouTube実績一覧」を参照）。

### （イ）食の安全ダイヤル

- ・ 一般消費者等から675件の相談や問い合わせを受け付けた。内容については、農薬、昆虫食及び妊娠中の食生活についての相談が多かった。寄せられた情報等について、必要に応じ、関係省庁へ情報を提供した。また、よく尋ねられる質問等について、ウェブサイトやFacebook等を通じて情報を提供した。

### （ウ）その他

- ・ 東京農業大学に新しく新設された食品安全研究センターの開設記念講演に、委員長が参加した。
- ・ 消費者庁等の関係省庁と連携し、親子が一緒に学ぶことを目的として開催される「学研キッズフェス2022秋」及び「Farm Love with ファーマーズ&キッズフェスタ2022」に出展し、食品中の放射性物質や食品安全について親子で学べるコンテンツを提供した。
- ・ 関連学会である日本食品衛生学会、日本獣医公衆衛生学会、日本食品微生物学会等に委員を講師として派遣した。
- ・ 対面にて、学生の訪問学習（3回）を受け入れた。

## （2）情報提供

### ①2013年度（平成25年度）

- ・ 季刊誌「食品安全」第35～38号を発行し、第36号（2013年7月発行）には、委員会設立10周年関連の記事を掲載した。
- ・ 2014年（平成26年）2月に公式Facebookページを開設。委員会の活動状況をはじめ、食品安全やリスク評価に関する情報発信を

開始した。

(Facebookの各年度における閲覧者数トップ5の記事は、資料編「8-5 Facebook実績」を参照。)

**【委員会Facebookのページ (2023年6月末時点)】**



**【委員会公式Facebookページについて】**



<https://www.fsc.go.jp/sonota/sns/facebook.html>

- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス (月1回) 及びメールマガジン (ウィークリー版、読み物版) を定期的に発行した。

**②2014年度 (平成26年度)**

- ・ 季刊誌「食品安全」第39～42号を発行し、委員会セミナー「ビスフェノールAに関する国際セミナー」報告 (第39号) や、「麻痺性貝毒のファクトシート」 (第41号) 等に関する記事を掲載した。
- ・ 2014年 (平成26年) 11月、それまでのキッズボックスから選定した内容をまとめ「キッズボックス総集編」を発行し、ウェブサイトで公開するとともに冊子も配布した。

**【キッズボックス総集編】**



[https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k\\_index\\_back\\_number\\_kidsbox.html](https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index_back_number_kidsbox.html)

- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス (月1回) 及びメールマガジン (ウィークリー版、読み物版) を定期的に発行した。

**③2015年度 (平成27年度)**

- ・ 季刊誌「食品安全」第43～46号を発行し、「加熱時に生じるアクリルアミドについて」 (第43号) や、ジュニア食品安全委員会の開催 (第44号) 等に関する記事を掲載した。
- ・ 2015年 (平成27年) 5月に公式ブログを開設。Facebookでの発信内容を中心に掲載することでアーカイブ的な機能を持たせつつ、より幅広い層への情報発信を開始した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス (月1回) 及びメールマガジン (ウィークリー版、読み物版) を定期的に発行した。



**④2016年度（平成28年度）**

- ・ 季刊誌「食品安全」第47～50号を発行し、「カンピロバクターのファクトシート」（第48号）や、委員会の国際的な取組（第50号）等に関する記事を掲載した。
- ・ 2017年（平成29年）3月にメールマガジン読み物版をまとめた「メールマガジン読み物版総集編」の発行、及び冊子「科学の目で見る食品安全」の内容をリニューアルし、ウェブサイトで公開するとともに冊子も配布した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版、読み物版）を定期的に発行した。

**⑤2017年度（平成29年度）**

- ・ 季刊誌「食品安全」第51～54号を発行し、「食品中のカフェインについて」、国際会議「食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか」の開催（ともに第51号）等に関する記事を掲載した。
- ・ 2017年（平成29年）11月に、新たに公式Youtubeチャンネルを開設。

（YouTubeの配信実績については、資料編「8-6 YouTube実績一覧」を参照。）

- ・ 2018年（平成30年）3月に妊婦と周りの方へ向けた「お母さんになるあなたへ」に、リステリア食中毒や乳児ボツリヌス症などの情報を追加し、ウェブサイトで公開した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版、読み物版）を定期的に発行した。

**⑥2018年度（平成30年度）**

- ・ 「食品安全」は第55号から年1回発行と

なり、前年度の活動実績を紹介する内容に変更された。第55号は、無菌充填豆腐の評価、六価クロムワーキンググループの立ち上げ等に関する記事を掲載した。

- ・ 2019年（平成31年）3月にキッズボックス総集編を改訂し、ウェブサイトで公開するとともに冊子も配布した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版、読み物版）を定期的に発行した。

**⑦2019年度（令和元年度）**

- ・ 「食品安全」第56号を発行し、米国、カナダ及びアイルランドから輸入される牛肉及び牛の内臓の評価、インド食品安全基準庁（FSSAI）との協力覚書締結等に関する記事を掲載した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版、読み物版）を定期的に発行した。

**⑧2020年度（令和2年度）**

- ・ 「食品安全」第57号を発行し、かび毒「デオキシニバレノール（DON）」の評価、パーフルオロ化合物のファクトシート等に関する記事を掲載した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延を受け、2020年（令和2年）4月にウェブサイトで「新型コロナウイルス感染症と食品について」を公開した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版）を定期的に発行した。（メールマガジン読み物版は2020年度（令和2年度）限りで終了した）。

### ⑨2021年度（令和3年度）

- ・ 「食品安全」第58号を発行し、アレルギーを含む食品「卵」の評価、ダイオキシン類のファクトシート等に関する記事を掲載した。
- ・ 「食品健康影響評価書アレルギーを含む食品（卵）」について、特設のQ&Aページを開設し、SNS等で周知した。
- ・ 2021年（令和3年）10月にTwitter（現：X）に公式アカウントを開設し、情報を発信している。  
（Twitterのインプレッション数トップ10の記事は、資料編「8-8 Twitter実績」を参照。）
- ・ 一般消費者向けに、肉の加熱調理に関する動画を作成し、YouTubeで公開した。
- ・ ウェブサイトをリニューアルし、トップページのレイアウト、食品安全情報ハブ、素材集などを新設した。
- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、キッズボックス（月1回）及びメールマガジン（ウィークリー版）を定期的に発行した。

### ⑩2022年度（令和4年度）

- ・ 「食品安全」第59号を公開し、鉛の評価、農薬の再評価制度と準備等に関する記事を掲載した。
- ・ 2022年（令和4年）8月に「お母さんになるあなたへ」を「お母さんになるあなたと周りの人たちへー妊娠の前から気をつけたい食べ物のことー」に改訂し、ウェブサイトで公開するとともに、代表的なトピックスについて解説する動画を作成し、YouTubeで公開した。
- ・ 食品健康影響評価書中の健康影響に基づく指標値の根拠となった試験の情報をまと

めた、化学物質毒性評価データベースを作成し、ウェブサイトで公開した。

- ・ ウェブサイトでは常に最新の情報を掲載し、また、キッズBOX（月1回）、メールマガジン（ウィークリー版）を定期的に発行した。

### （3）食品安全モニター

委員会においては、食品健康影響評価の結果、それに基づくリスク管理機関の施策、個別の食品の安全性等について、広く国民から意見・情報等を募集し、委員会の活動に役立てることを目的として、2003年（平成15年）9月、「食品安全モニター」制度を創設した。食品安全モニターには、大学等で食品に関係の深い学問を終了した者、食品に関係の深い資格を保有する者、食品の安全に関する業務に従事したことがある者等を対象として募集を行い、2013年度（平成25年度）～2022年度（令和4年度）の間に延べ4,517名（各年度470名程度）に依頼をした。

#### ①2013年度（平成25年度）

- ・ 食品安全モニターから、44件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2013年（平成25年）8月に食品の安全性に関する意識等について、2014年（平成26年）2月に委員会から入手した情報の利用等について、アンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2013年（平成25年）5月から6月にかけて、全国6都市で「食品安全モニター会議」を合計9回開催した。（食品安全モニター会議の詳細については、資料編「8-8 食品安全モニター会議の開催状況」を参照。）

**②2014年度（平成26年度）**

- ・ 食品安全モニターから、34件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2014年（平成26年）8月に食品の安全性に関する意識等について、2015年（平成27年）2月に食品の安全性に関する意識と情報源についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2014年（平成26年）5月から6月にかけて、全国6都市で「食品安全モニター会議」を合計9回開催した。

**③2015年度（平成27年度）**

- ・ 食品安全モニターから、38件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2016年（平成28年）3月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2015年（平成27年）5月から6月にかけて、全国9都市で「食品安全モニター会議」を合計9回開催した。

**④2016年度（平成28年度）**

- ・ 食品安全モニターから、41件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2017年（平成29年）2月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2016年（平成28年）5月から6月にかけて、全国9都市で「食品安全モニター会議」を合計9回開催した。

**⑤2017年度（平成29年度）**

- ・ 食品安全モニターから、32件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2018年（平成30年）2月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を

実施し、課題の報告を行った。

- ・ 2017年（平成29年）6、9、10月に、全国3都市で「食品安全モニター会議」を合計5回開催した。
- ・ 7月から12月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。

**⑥2018年度（平成30年度）**

- ・ 食品安全モニターから、26件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2019年（平成31年）2月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2018年（平成30年）9月から11月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。

**⑦2019年度（令和元年度）**

- ・ 食品安全モニターから、21件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2020年（令和2年）2月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2019年（令和元年）6月から8月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。

**⑧2020年度（令和2年度）**

- ・ 食品安全モニターから、16件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2020年（令和2年）12月に食品の安全性に関する意識等についてアンケートを実施し、課題の報告を行った。
- ・ 8月から10月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。

## ⑨2021年度（令和3年度）

- ・ 食品安全モニターから、28件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2022年（令和4年）1月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2021年（令和3年）6月から8月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。
- ・ 6月に「食の安全に関する最近の国際動向」について、12月に「アレルギーを含む食品（卵）の評価書」についてオンラインセミナーを開催した。

## ⑩2022年度（令和4年度）

- ・ 食品安全モニターから、38件の随時報告を受け付けた。
- ・ 2023年（令和5年）1月に食品の安全性に関する意識等についてアンケート調査を実施し、課題の報告を行った。
- ・ 2022年（令和4年）6月から8月に食品安全に関する基礎知識を学ぶためのeラーニングを実施した。
- ・ 8月に「食品添加物に関する安全性と新評価指針のポイント」について、12月に食品に生える「かび」と「かび毒の評価」についてオンラインセミナーを開催した。

## 7 緊急時対応

委員会の活動の柱の一つに、食品の摂取を通じた人の健康に係る重大な被害が生じ、又は生ずるおそれがある緊急の事態において、国民の健康への悪影響を未然に防止することが最も重要であるという認識の下、関係行政機関等と密接に連携し、危害物質の毒性等の科学的知見について、関係省庁及び国民に対して迅速かつ的確に情報提供を行うことがある。

そのため、緊急時に備え、関係府省と連携して緊急時対応に係るマニュアルを整備するとともに、平時から緊急時対応の訓練を実施する等、対処体制の強化に努めてきた。各年度における対応状況は以下のとおりである。

## ①2013年度（平成25年度）

2013年（平成25年）2月4日の第462回委員会会合において決定した平成25年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、

4月に緊急時対応手順研修及びホームページ掲載研修、9月～11月にメディア対応研修（基礎研修）、11月にメディア対応研修（実践研修）を行った。確認訓練は消費者庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月11日に実施した。訓練の結果は、2014年（平成26年）1月31日の第9回企画等専門調査会及び2月10日の第502回委員会会合において報告した。

緊急事態への対処体制の整備として、委員会における緊急時対応の手順のポイントを取りまとめるとともに、委員会の電子掲示板やプレスリリース及びQ&Aのテンプレートを整備した。

2013年（平成25年）6月に、トルコ産タヒニごまペーストにおけるサルモネラ菌によりアメリカ及びニュージーランドで食中毒が発生した事案について、厚生労働省から情報を収集し、トルコ国内の製造業者が製造したタヒニごまペースト及びその加工品の自主回収状況等についてホームページで情報を提供した。



2013年（平成25年）12月11日に実施した確認訓練の様子（『食品安全 第38号』より）

8月に豪州で発生した、同国で製造された粉ミルクからボツリヌス菌と疑われる菌が検出された事案において、現地政府の発表、日本への輸入の有無等について、情報収集を行った。

10月に発生したタイで製造されたロールキャベツ等に国内で未承認の遺伝子組換えパパイヤが使用され、販売業者等が自主回収を行った事案において、販売業者、関係省庁等から情報収集を行った。

12月に発生した冷凍食品に農薬（マラチオン）が混入された事案については、国際機関（JMPR）における農薬マラチオンの一日摂取許容量（ADI）、急性参照用量（ARfD）等の科学的知見を速やかに関係省庁に提供するとともに、事業者が発表した毒性についての見解における問題点を厚生労働省に伝達した。さらに、マラチオンの概要（ADI、ARfD等）をホームページに掲載するとともに、メールマガジンにて、全国1万人

の会員に情報提供を行った。

2014年（平成26年）1月に発生した浜松市におけるノロウイルス集団食中毒の事案において、関係行政機関と連携をとりながら、ホームページにて注意喚起等を行った。

## ②2014年度（平成26年度）

2014年（平成26年）2月10日の第502回委員会会合において決定した平成26年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、5月にホームページ掲載研修、10月～12月にメディア対応研修（基礎研修）、11月にメディア対応研修（実践研修）を行った。確認訓練は消費者庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月25日に実施した。訓練の結果は、2015年（平成27年）1月30日の第13回企画等専門調査会及び2月10日の第548回委員会会合において報告した。



2014年（平成26年）12月25日に実施した確認訓練の様子（『食品安全 第42号』より）

また、緊急時対応訓練の結果や実際の緊急時の対応を踏まえ、委員会における緊急時対応について改善策を検討するとともに、ホームページへの掲載がより容易に行えるよう、システムの改善を図った。

2014年（平成26年）4月に熊本県で鳥イン

フルエンザが発生した事案において、ホームページ上トップページに「鶏肉・鶏卵の安全性に関する食品安全委員会の考え方」を掲載し、内容を更新するとともに、Facebook及びメールマガジンを通して情報発信した。

7月に輸入ししゃもに殺鼠剤「ダイファシノン」が混入された事案において、「ダイファシノンの概要」を取りまとめ、関係省庁及び自治体に情報提供するとともに、ホームページ、Facebook及びメールマガジンを通じて情報発信した。

8月に静岡県で大規模なO157食中毒が発生した事案において、ホームページ上のO157に関する情報を充実させるとともに、Facebookにおいて注意喚起を行った。



Facebookにて投稿した情報（抜粋）

年末年始に高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生した事案について、関係行政機関との連携のもとに、ホームページ、Facebook等による情報提供等を行った。

2015年（平成27年）2月にノルウェーで初のBSEが確認された事案について、関係行政機関との連携のもとに、ホームページ、Facebook等により情報提供等を行った。

### ③2015年度（平成27年度）

2015年（平成27年）2月10日の第548回委員

会会合において決定した平成27年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、6月～7月に情報発信研修、11月にメディア対応研修（基礎研修）、12月にメディア対応研修（実践研修）を行った。確認訓練は消費者庁、文部科学省、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月25日に実施した。訓練の結果は、2016年（平成28年）2月4日の第17回企画等専門調査会及び2月16日の第595回委員会会合において報告した。

### ④2016年度（平成28年度）

2016年（平成28年）2月16日の第595回委員会会合において決定した平成28年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、6月～7月に情報発信研修、11月にメディア対応研修（基礎研修・実践研修）を行った。確認訓練は消費者庁、警察庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、2017年（平成29年）1月16日に実施した。訓練の結果は、2月6日の第20回企画等専門調査会及び2月14日の第638回委員会会合において報告した。

### ⑤2017年度（平成29年度）

2017年（平成29年）2月14日の第638回委員会会合において決定した平成29年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、10月に情報発信研修、11月にメディア対応研修（基礎研修・実践研修）を行った。確認訓練は消費者庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月21日に実施した。訓練の結果は、2018年（平成

30年) 1月29日の第23回企画等専門調査会及び2月6日の第683回委員会会合において報告した。

#### ⑥2018年度(平成30年度)

2018年(平成30年)2月6日の第683回委員会会合において決定した平成30年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、11月に情報発信研修、12月にメディア対応研修を行った。確認訓練は消費者庁、警察庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月20日に実施した。訓練の結果は、2019年(平成31年)2月4日の第26回企画等専門調査会及び2月12日の第730回委員会会合において報告した。

2018年度(平成30年度)に各地で発生したCSF(豚熱)については、関係行政機関との連携のもとに、ホームページで情報提供等を行った。

#### ⑦2019年度(令和元年度)

2019年(平成31年)2月12日の第730回委員会会合において決定した2019年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、4月に緊急時対応手順研修、10月に参加型の情報収集・分析研修、11月に委員を講師とした情報共有・発信研修を行った。確認訓練は消費者庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月6日に実施した。訓練の結果は、2020年(令和2年)1月30日の第29回企画等専門調査会及び2月18日第773回委員会会合において報告した。

2019年度(令和元年度)は、特に、災害発生時における食中毒への注意を促す情報やCOVID-19と食品との関係に関する情報を、

Facebook等を通じて提供した。



Facebookにて投稿した情報(抜粋)

#### ⑧2020年度(令和2年度)

2020年(令和2年)2月18日の第773回委員会会合において決定した令和2年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、5月に緊急時対応手順研修、7月に情報発信研修及び情報共有研修を行い、さらに同月に情報共有・発信研修を2回開催した。また、10月には対応事例講習会を実施した。確認訓練は消費者庁、警察庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、12月10日に実施した。訓練の結果は、2021年(令和3年)2月4日の第32回企画等専門調査会及び2月16日第805回委員会会合において報告した。

2020年度(令和2年度)は、特に、災害発生時における食中毒への注意を促す情報やCOVID-19と食品との関係に関する情報を、Facebook等を通じて提供した。

#### ⑨2021年度(令和3年度)

2021年(令和3年)2月16日の第805回委員会会合において決定した令和3年度緊急時対応訓練計画に基づき、実務研修と確認訓練の2本立てで訓練を実施した。実務研修として、5月に緊急時対応手順研修、10月に情報収集・発信研修、11月に緊急時対応事例講習会を実施した。確認訓練は消費者庁、厚生労働省及び農林水産省も参加し、2022年(令和

4年) 2月10日に実施した。訓練結果は、6月16日の第36回企画等専門調査会及び6月28日の第864回委員会会合において報告した。

### ⑩2022年度(令和4年度)

2022年(令和4年)2月15日の第847回委員会会合において決定した令和4年度緊急時対応訓練計画に基づき、5月に緊急時対応手順研修、9月に情報収集・発信研修、11月に緊急時対応事例講習会、12月23日には、消費者庁、警察庁、厚生労働省及び農林水産省も含めた緊急時対応確認訓練を実施した。情報収集・発信研修においては、委員会としての情報発信のあり方や緊急時における情報発信の講義、議論やアンケートを行った。訓練結果は、2023年(令和5年)1月26日の第38回企画等専門調査会及び1月31日の第887回委員会会合において報告した。

また、昨年度の緊急時対応訓練参加者の意見等を踏まえ、委員会内の緊急時対応手順書について、見直し・改定に向けて骨子の作成を行った。

第36回企画等専門調査会において、専門委員から緊急事態発生時の現場と省庁間の連携体制に関する意見があり、その意見について関係省庁と共有し、自治体の訓練について、厚生労働省が自治体と連携し定期的実施していることを確認するなど、関係省だけでなく自治体も含めた緊急時の対応について確認を行った。

2022年度(令和4年度)に高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生した事案について、関係行政機関と連携を取りながら、ホームページ、Facebook等による情報提供等を行った。



Facebookにて投稿した情報(抜粋)

## 8 国際関係

委員会においては、国際機関や諸外国の公的機関等との連携を行っている。また、2013年度(平成25年度)に英文電子ジャーナルを創刊し、食品のリスク評価に関連のある分野の専門家等による原著、投稿論文や委員会による評価書の内容等を国内外へ広く情報発信している。

各年度における対応状況は以下のとおり。

### ①2013年度(平成25年度)

FAO/WHO合同食品添加物専門家会議

(JECFA)、FAO/WHO合同残留農薬専門家会議(JMPR)、その他の食品の安全性に関する国際会議等に専門委員等を派遣し(16回)、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の作成・供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

既に協力覚書を締結している欧州食品安全機関(EFSA)、オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)との定期会合等を開催した。





F S A N Z マツカチヨン長官と熊谷委員長（『食品安全第36号』より）

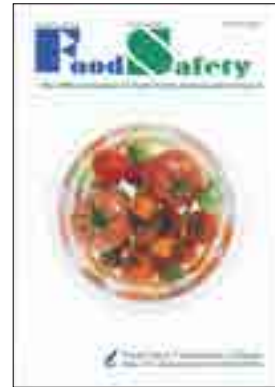
2013年度（平成25年度）7月には、委員会設立10周年記念事業として、E F S A、F S A N Z、国際獣疫事務局（O I E）等の海外の機関、歴代の委員会委員等を招いた「国際共同シンポジウム」を開催し、食品健康影響評価に係る研究の最新動向及び食品健康影響評価の国際的動向についての講演並びに食品健康影響評価の今後についてのパネルディスカッションを行った。

11月に、オーストリアのグラーツ大学より講演者を招き、セミナー「ヒ素に関する最新知見について」を開催した。

また同月には、査読付きオープンアクセス英文電子ジャーナル（Food Safety）を創刊した。

（ジャーナルの発行実績については、資料編「11 英文電子ジャーナルの発行実績」を参照。）

## 【『Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission』】



『Food Safety』の表紙

『Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission』創刊

ホームページに、月報や評価書要約の英訳（40件）を掲載するとともに、掲載した情報を海外連携機関に送付した。

### ②2014年度（平成26年度）

J E C F A、J M P R、その他の食品の安全性に関する国際会議等に専門委員等を派遣し（18回）、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

既に協力覚書を締結しているE F S A、F S A N Zとの定期会合等を開催した。

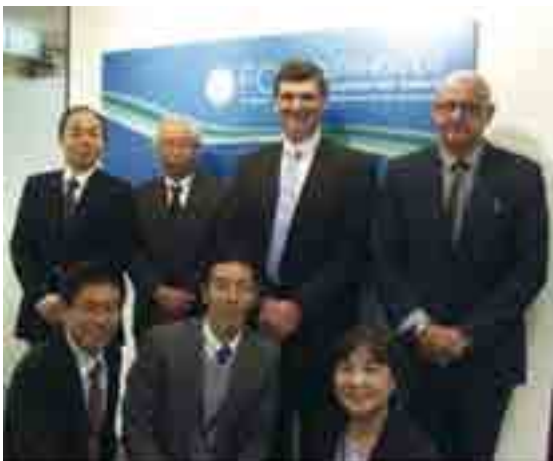
また、E F S A等から専門家を招へいし、「ビスフェノールAに関する国際セミナー」や「食品安全分野におけるリスクコミュニケーションに関する国際セミナー」を開催し、リスク分析による食品安全の取組の普及啓発を図った。



EFSAと定期会合の際の熊谷委員長とクレイナー局長（『食品安全 第41号』より）



EFSAとの会合の様子（『食品安全 第41号』より）



第2回定期会合を行ったF S A N Zと委員会のメンバー（『食品安全 第40号』より）

ホームページに、月報や評価書要約の英訳（50件）を掲載するとともに、四半期ごと（6月、9月、12月、3月）に英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

### ③2015年度（平成27年度）

J E C F A、J M P R、その他の食品の安全性に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員を派遣し（20回）、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

また、E F S Aと更なる連携強化を目的に協力文書を改定し、定期会合を開催した。これまでも交流を行ってきたポルトガル経済食品安全庁（A S A E）とフランス食品環境労働衛生安全庁（A N S E S）とは、新たな協力覚書を締結し、今後、当該文書に基づき連携を進めていくこととなった。



山添委員長代理（左）とガスパールASAE長官（右）（『食品安全 第45号』より）



山添委員長代理（左）とガスパールASAE長官（右）（『食品安全 第45号』より）

ドイツ連邦リスク評価研究所（B f R）等から専門家を招へいし、リスク分析による食品安全の取組の普及啓発を図るため、「農薬の急性参照用量（ARfD）の設定に関する国際シンポジウム」、「食品媒介感染症防止に向けた食品安全確保のための定性的定量的アプローチに関する国際シンポジウム」、「食品安全の明日をともに考える国際シンポジウム」を開催した。



「食品媒介感染症防止に向けた食品安全確保のための定性的定量的アプローチに関する国際シンポジウム」のディスカッションの様子（『食品安全 第45号』より）



WHO・宮城島一明部長



「食品安全の明日をともに考える国際シンポジウム」の様子（『食品安全 第47号』より）

ホームページに、月報や評価書要約の英訳（43件）を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

#### ④2016年度（平成28年度）

J E C F A、J M P Rその他の食品の安全性に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員を派遣し（20回）、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

これまでも交流を行ってきたB f Rと、協力覚書を締結し、今後、当該文書に基づき連携を進めていくこととなった。既に協力覚書を締結しているE F S A、F S A N Z、A S A E及びA N S E Sとも、相互の訪問等を通じて積極的に交流を行い、連携を強化した。



B f Rと会合参加者（『食品安全 第50号』より）

また、英国動植物衛生庁等から専門家を招へいし、食品安全委員会国際専門家招へいプログラム「国際セミナー～牛海綿状脳症（BSE）と食の安全に関する科学～」を開催した。



食品安全委員会国際専門家招へいプログラム「国際セミナー～牛海綿状脳症（BSE）と食の安全に関する科学～」の様子（『食品安全 第47号』より）

ホームページに、月報や評価書要約の英訳（43件）を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

#### ⑤2017年度（平成29年度）

JECFA、JMPRその他の食品の安全性に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員を派遣し（21回）、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

これまでも交流を行ってきたデンマーク工科大学（DTU）と協力覚書を締結し、今後、当該文書に基づき連携を進めていくこととなった。既に協力覚書を締結しているEFSA、FSANZ、ASAE、ANSES、BfRとも、国際会議の共催、相互の訪問、担当者間の日常的な連絡等を通じて積極的に交流を行い、連携を強化した。また、EFSAと共同で国際協力の在り方に関して、国際会議～食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか～を開催した。海外の研究者等を招へいして、食品安全に係る各種の意見交換会等を実施して、科学的知見の充実に図った。



国際会議「食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか」パネルディスカッションの様子（『食品安全 第51号』より）

ホームページに、月報や評価書要約の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

#### ⑥2018年度（平成30年度）

JECFA、JMPRその他の食品の安全性に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員を派遣し（23回）、その成果について、報告会の開催や関係の専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

消費者庁、厚生労働省及び農林水産省と合同で、インド食品安全基準局（FSSAI）と食品安全分野における協力覚書を締結した。既に協力覚書を締結しているEFSA、FSANZと定期会合を行い、連携を強化した。

また、米国食品医薬品庁（FDA）等から研究者等を招へいし、「国際ワークショップ～ヒト健康影響評価の精緻化に向けた評価技術の開発～」を開催し、科学的知見の充実に

図った。

ホームページに、月報や評価書要約の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

### ⑦2019年（令和元年度）

JECFA、JMPRその他の食品の安全性に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員を派遣し（19回）、その成果について、報告会の開催や関係する専門調査会での報告、報告書の供覧等により、情報を共有し、国際協調を図った。

既に協力覚書を締結しているBfRと会合を行い、連携を強化した。また、BfRから研究者等を招へいし、食品安全に係る各種の勉強会等を実施し、科学的知見の充実を図った。

また、FSANZ、アイルランド食品安全庁（FSAI）及びサウジアラビア食品医薬品庁（SFDA）が中心となり新たに立ち上げられた食品安全機関ヘッドフォーラム等に参加し、情報交換を行うとともに海外の食品安全機関等との連携の構築を図った。

ホームページに、月報や評価書要約の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し国内外へ広く情報発信を行った。なお、ジャーナルについて、新たに米国国立医学図書館（NLM）などが主催するPMCと契約して、広く情報発信が行えるようになった。

### ⑧2020年（令和2年度）

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加を予定していた国際会議等は、多くが翌年以降に延期となったが、一部はウェブ会議システムを利用して開催され、委員、専門委

員又は事務局職員が参加し、各国の専門家との情報・意見交換等を行った（6回）。

協力文書を締結しているEFSA等の食品安全機関とは、担当者間で日常的にメール及びウェブ会議システムを利用して意見・情報交換を行った。

さらに、評価が終了した食品健康影響評価の要約及び海外からの関心も高いと思われる評価指針等の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

### ⑨2021年度（令和3年度）

JMPR、コーデックス委員会、その他の食品安全に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員が参加し、意見交換・情報収集を行い（14回）、また、BfRでは、委員がワークショップで講演を行った。

協力文書を締結している食品安全機関のうち、ANSESとは担当者間による意見・情報交換、EFSAとは定期会合を開催し、連携強化を図った。



EFSAとの定期会合の様子（『食品安全 第59号』より）

また、世界保健機関（WHO）の専門家を招へいしてセミナーを開催し、国際機関におけるリスク評価等の国内における理解醸成を図った。

さらに、評価が終了した食品健康影響評価の要約及び海外からの関心も高いと思われる評価指針等の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

#### ⑩2022年度（令和4年度）

コーデックス委員会、その他の食品安全に関する国際会議等に委員、専門委員及び事務局職員が参加し、意見交換・情報収集を行った(16回)。バングラデシュのリスク管理機関行政から訪問もあり、委員会の取組について

情報提供を行った。

JEMRA事務局等から講演者を招へいして食品安全シンポジウム～国際的な微生物学的リスク評価専門家会議を理解する～を開催し、国際機関における微生物のリスク評価について国内における理解醸成を図った。

さらに、評価が終了した食品健康影響評価の要約及び海外からの関心も高いと思われる評価指針等の英訳を掲載するとともに、四半期ごとに英文電子ジャーナルを発行し、国内外へ広く情報発信を行った。

## 9 関係府省間の連携

法第15条は関係行政機関の相互の密接な連携の下に、食品の安全性の確保に関する施策が策定されなければならない旨規定しており、2012年（平成24年）6月29日に閣議決定された「食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項」においては、委員会は、リスク管理機関との間で、連携及び政策調整の具体的な手法について取り決めを締結し、公表することが規定されている。

また、これを受けて消費者庁、委員会、厚生労働省、農林水産省及び環境省との間で決定された「食品の安全性の確保に関する施策の実施に係る関係府省間の連携・政策調整の強化について」（平成24年8月31日関係府省申合わせ）において、各府省庁の担当部局長を構成員とする「食品安全行政に関する関係

府省連絡会議」が設置された。本関係府省連絡会議は、消費者庁主催の下、毎年度1、2回開催され、関係各府省の食品安全関係予算の概要、食品安全関係施策の実施状況等について、情報共有、意見交換等が実施されている。

また、当該関係府省申合わせに基づき、原則として毎週1回、関係府省担当課長等を構成員とする関係府省連絡会議幹事会が開催されている。

さらに、当該関係府省申合わせに基づき、リスクコミュニケーション担当者会議（原則として隔週）、食品リスク情報関係府省担当者会議（原則として毎月1回）を開催し、関係府省間の密接な連携が図られている。

## 10 法令・委員会決定

### (1) 法律

法は、2003年（平成15年）5月の成立以来、その基本的な内容の改正は行われていない。

原始附則又は一部改正法による改正は以下のとおりである。

○薬事法等の一部を改正する法律による改正  
薬事法等の一部を改正する法律（平成25年法律第84号）附則第88条により、法第2条を改正し、「食品」の定義から「再生医療等製品」を除き、また、法第24条第1項第8号を改正し、所要の規定の整理（薬事法上の「医療機器」及び「体外診断用医薬品」に係る規制の見直し並びに「再生医療等製品」を医薬品、医療機器等と区別して新たに定義付けること等に伴う整理）を行った。

○独立行政法人医薬基盤研究所法の一部を改正する法律による改正

独立行政法人医薬基盤研究所法の一部を改正する法律（平成26年法律第38号）附則第12条により、法の規定の整理（独立行政法人医薬基盤研究所の解散及び業務移管に伴う法第27条第3項中の引用法令の修正等）を行った。

○独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律による改正

独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成26年法律第67号）第30条により、法の規定の整理（法第27条第3項中研究開発型の独立行政法人の名称の修正等）を行った。

○独立行政法人に係る改革を推進するための農林水産省関係法律の整備に関する法律による改正

独立行政法人に係る改革を推進するための農林水産省関係法律の整備に関する法律（平成27年法律第70号）附則第26条により、法の規定の整理（国立研究開発法人農業環境技術研究所の解散及び業務移管に伴う法第27条第3項中の条文名の削除等）を行った。

○食品衛生法等の一部を改正する法律による改正

食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）による改正後の食品衛生法（昭和22年法律第233号）第8条第1項による特別な注意を要する成分等を含む食品による健康被害情報の報告制度の導入、同法第18条第3項による器具及び容器包装のポジティブリストの導入、同法第51条によるHACCPによる衛生管理の制度化、同法第52条による器具及び容器包装を製造する者に対する適正製造管理規範（GMP）に取り組むことの義務付けが行われた。これを受け、食品衛生法等の一部を改正する法律附則第23条及び第24条により、法第24条第1項第1号を改正し、新たに委員会への法定諮問事項を追加するとともに、条項ずれ等規定の整理を行った。

○農薬取締法の一部を改正する法律による改正

農薬取締法の一部を改正する法律（平成30年法律第53号）附則第19条により、法第24条第1項第2号を改正し、農薬取締法に係る諮問事項のうち、公定規格に関する事項を削り、また条項ずれの整理を行った。

○肥料取締法の一部を改正する法律による改正

肥料取締法の一部を改正する法律（令和元年法律第62号）附則第12条第6号により、法の規定の整理（肥料取締法の名称の変更に伴う法第24条第1項第3号中の法律名の修正）を行った。

## （2）政令

食品安全委員会令（平成15年政令第273号）は、2003年（平成15年）のと畜場法施行令の

一部改正に伴う規定の整理が行われた以降、改正されていない。

### (3) 内閣府令、訓令

①食品安全委員会令第1条第1項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成15年内閣府令第66号）

本府令は、2013年（平成25年）5月以降、下記のとおり改正が行われた。

2013年（平成25年）6月に、遺伝子組換え食品等の安全性審査の手続きを定めようとするとき及び遺伝子組換え飼料等の安全性の確認の手続きを定めようとするときを委員会に対する必須諮問事項に追加する改正を行った。

2015年（平成27年）11月に、飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の一部改正に伴い、農林水産大臣が定める基準を満たす遺伝子組換え飼料添加物については、農林水産大臣の確認を不要とされたことから、農林水産大臣が基準を定めようとするときを委員会に対する必須諮問事項に追加する改正を行った。

2018年（平成30年）11月に、農薬取締法の一部を改正する法律（平成30年法律第53号）の施行に伴い、本府令において引用している告示の名称が改正されることから、本府令において当該告示名の改正を行った。

②食品安全委員会事務局組織規則（平成15年内閣府令第67号）

本府令は、2013年（平成25年）5月以降、下記のとおり改正が行われた。

2015年（平成27年）4月に、法第23条第1項第6号に規定する科学的調査及び研究に関する事務を総務課の所掌から評価第一課へ移管する等の所要の改正を行った。

2023年（令和5年）3月に、リスクコミュニ

ケーション官を廃止し、評価第一課に農薬評価室を設置する改正を行った（同年4月1日施行）。

③評価技術企画室の設置に関する訓令（平成27年内閣府訓令第25号）

2015年（平成27年）4月に、より迅速かつ信頼性の高いリスク評価のための新しい評価方法や新たな技術を応用した食品の評価方法の企画・立案機能を強化するため、評価第一課に評価技術企画室及び評価技術企画官を設置することとした（平成27年4月10日施行）。

④評価情報分析官の設置に関する訓令（平成24年内閣府訓令第15号）

本訓令は、2012年（平成24年）4月に施行されて以降、改正は行われていない。

### (4) 委員会決定

委員会の運営に必要な事項や食品健康影響評価の方針等を委員会決定として定めている。2013年（平成25年）以降に策定・改正されたものの概要は以下のとおりである。

①食品安全委員会専門調査会等運営規程（平成15年7月9日委員会決定）

2003年（平成15年）7月9日の第2回委員会会合において決定された「食品安全委員会専門調査会運営規程」は、専門調査会の運営や各専門調査会の所掌事務を定めているが、各専門調査会の再編等のため、2013年（平成25年）以降、3回改正された。

ア 2015年（平成27年）9月29日の第578回委員会会合において、①専門委員の任期を明文化し、②ワーキンググループに関する規定を新たに追加し、③化学物質・汚染物質専門調査会の名称を汚染物質等専門調査会



に変更し、④規程の名称を「食品安全委員会専門調査会等運営規程」に改める改正が了承され、同年10月1日に改正された。

イ 2018年（平成30年）4月3日の第691回委員会会合において、ワーキンググループの廃止に関する規定を追加する改正が了承され、同日に改正された。

ウ 2020年（令和2年）3月24日の第777回委員会会合において、農薬専門調査会を廃止し、農薬全般に関する事項や再評価に関する事項について調査審議を行う農薬第一専門調査会並びに個別の品目について調査審議を行う農薬第二専門調査会、農薬第三専門調査会、農薬第四専門調査会及び農薬第五専門調査会を設置する改正が了承され、同年4月1日に改正された。

②テレビ会議又はWeb会議システムを利用した食品安全委員会等への出席について（令和2年4月9日委員会決定）

2020年（令和2年）4月9日の第779回委員会会合において決定された「テレビ会議又はWeb会議システムを利用した食品安全委員会等への出席について」は、天災等のやむを得ない事情がある場合、専門調査会等の会合に専門委員等がテレビ会議又はWeb会議システムを用いて出席することができることを定めている。

③食品安全委員会緊急時対応指針（平成17年4月21日委員会決定）

2005年（平成17年）4月21日の第91回委員会会合において決定された「食品安全委員会緊急時対応指針」は、食中毒等による緊急事態等への対応に関する手順を定めており、2023

年（令和5年）3月28日の第894回委員会会合において、2023年度（令和5年度）の委員会事務局の組織再編等を踏まえた改正が了承され、同年4月1日付で改正された。

④食品健康影響評価に係る指針について

調査審議の透明性の確保及び円滑化に資するため、評価指針等の策定及び改正を行っており、2013年（平成25年）以降、新たに策定又は改正した評価指針の概要は以下のとおりである。

ア 添加物に関する食品健康影響評価指針（令和3年9月28日委員会決定）

イ 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（平成29年7月18日委員会決定）

・令和3年9月28日一部改正

ウ 残留農薬に関する食品健康影響評価指針（令和元年10月1日委員会決定）

・令和3年4月6日一部改正

エ 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（平成30年4月10日委員会決定）

・平成30年9月25日一部改正

オ 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（令和元年5月28日委員会決定）

・令和2年10月6日一部改正

カ 食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（令和4年6月21日委員会決定）

キ 飼料添加物に関する食品健康影響評価指針（令和3年5月18日委員会決定）

ク 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針(平成29年7月18日委員会決定)  
・令和3年9月28日一部改正

ケ 香料に関する食品健康影響評価指針(平成28年5月17日委員会決定)  
・令和3年9月28日一部改正

コ 家畜等への抗菌性物質の使用により選択

される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針(平成16年9月30日委員会決定)  
・令和4年3月22日一部改正

サ 食品健康影響評価におけるベンチマーク  
ドーズ法の活用に関する指針[動物試験で  
得られた用量反応データへの適用](令和元  
年10月29日委員会決定)  
・令和4年6月14日一部改正

**【付録】**

法令・委員会決定の詳しい情報は下記リンク先に掲載。

食品安全基本法（平成15年法律第48号）



<https://www.fsc.go.jp/hourei/>

食品安全委員会専門調査会等運営規程（平成15年7月9日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/iinkai/index2.data/senmontyousakaiunneikitei.pdf>

食品安全委員会緊急時対応指針（平成17年4月21日委員会決定）



[https://www.fsc.go.jp/iinkai/index2.data/04\\_kinkyuji-taiousisin.pdf](https://www.fsc.go.jp/iinkai/index2.data/04_kinkyuji-taiousisin.pdf)

添加物に関する食品健康影響評価指針（令和3年9月28日委員会決定）

添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（平成29年7月18日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/tenkabutu/>

香料に関する食品健康影響評価指針（平成28年5月17日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/kouryou.html>

残留農薬に関する食品健康影響評価指針（令和元年10月1日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/>

動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（平成30年4月10日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/doubutu/>

食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（令和元年5月28日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/kiguyouki/>

食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（令和4年6月21日委員会決定）



[https://www.fsc.go.jp/senmon/biscibutu\\_virus/](https://www.fsc.go.jp/senmon/biscibutu_virus/)

栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（平成29年7月18日委員会決定）  
食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕（令和元年10月29日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/>

飼料添加物に関する食品健康影響評価指針（令和3年5月18日委員会決定）

家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針（平成16年9月30日委員会決定）



<https://www.fsc.go.jp/senmon/hisiryou/>

## 第2部 資料編

# 1 委員会会合開催実績一覧

【2023年（令和5年）3月31日現在】

| 年 度                |             | 開催回数 | 主な評価実績   |
|--------------------|-------------|------|--|
| 2013年度<br>(平成25年度) | 第469回～第509回 | 41   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（我が国の検査対象月齢の引き上げ）</li> <li>・食品中のリステリア・モノサイトゲネス</li> <li>・食品中のヒ素</li> <li>・オクラトキシンA</li> </ul> |
| 2014年度<br>(平成26年度) | 第510回～第555回 | 46   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豚の食肉の生食</li> <li>・高濃度にジアシルグリセロールを含む食品</li> </ul>   |
| 2015年度<br>(平成27年度) | 第556回～第600回 | 45   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クドア（クドア属粘液胞子虫）</li> </ul>  |
| 2016年度<br>(平成28年度) | 第601回～第644回 | 44   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加熱時に生じるアクリルアミド</li> <li>・牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し（健康と畜牛のBSE検査の廃止）</li> <li>・家畜に使用する硫酸コリスチン</li> </ul>               |
| 2017年度<br>(平成29年度) | 第645回～第690回 | 46   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミニウム</li> <li>・フモニシン</li> <li>・清涼飲料水中に含まれる亜鉛、鉄、カルシウム、マグネシウム等（硬度）</li> <li>・豆腐の規格基準の改正（無菌充填豆腐）</li> </ul>     |
| 2018年度<br>(平成30年度) | 第691回～第736回 | 46   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・六価クロム</li> </ul>   |
| 2019年度<br>(令和元年度)  | 第737回～第778回 | 42   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性</li> <li>・食品中のデオキシニバレノールの規格基準の設定</li> </ul>                                    |
| 2020年度<br>(令和2年度)  | 第779回～第810回 | 32   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づく調製粉乳の審査事項</li> <li>・合成型肥育ホルモン</li> </ul>   |
| 2021年度<br>(令和3年度)  | 第811回～第853回 | 43   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品及び器具・容器包装中の鉛</li> <li>・アレルギー物質を含む食品</li> </ul>   |
| 2022年度<br>(令和4年度)  | 第854回～第894回 | 41   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶどう酒の製造に用いる添加物</li> </ul>  |

## 2 専門調査会開催実績

(令和5年3月31日現在)

| 専門調査会等名<br>(統廃合前の専門調査会名)           | 20年間の総数 | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 | 平成25年度 |
|------------------------------------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 企画等専門調査会                           | 38      | 3     | 3     | 3     | 3     | 3      | 3      | 3      | 4      | 4      | 3      |
| (企画専門調査会)                          | 38      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (リスクコミュニケーション専門調査会)                | 50      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (緊急時対応専門調査会)                       | 33      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (リスクコミュニケーション・緊急時対応専門調査会合同)        | 1       | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 添加物専門調査会                           | 190     | 6     | 2     | 7     | 6     | 4      | 7      | 7      | 11     | 12     | 12     |
| 農薬第一専門調査会                          | 14      | 6     | 4     | 4     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 農薬第二専門調査会                          | 24      | 7     | 8     | 9     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 農薬第三専門調査会                          | 20      | 6     | 6     | 8     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 農薬第四専門調査会                          | 22      | 8     | 7     | 7     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 農薬第五専門調査会                          | 21      | 8     | 6     | 7     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (農薬専門調査会)                          | 711     | -     | -     | -     | 43    | 44     | 43     | 43     | 49     | 55     | 52     |
| 動物用医薬品専門調査会                        | 274     | 10    | 10    | 12    | 7     | 10     | 12     | 11     | 13     | 14     | 12     |
| 汚染物質等専門調査会                         | 11      | 8     | 1     | 0     | 0     | 0      | 0      | 1      | 1      | -      | -      |
| (化学物質・汚染物質専門調査会)                   | 59      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | 6      | 9      |
| (化学物質専門調査会)                        | 4       | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (汚染物質専門調査会)                        | 17      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (化学物質・汚染物質専門調査会合同ワーキンググループ)        | 5       | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 器具・容器包装専門調査会                       | 62      | 0     | 1     | 1     | 1     | 5      | 2      | 1      | 7      | 8      | 5      |
| 微生物・ウイルス専門調査会                      | 96      | 3     | 5     | 2     | 0     | 3      | 7      | 3      | 5      | 11     | 9      |
| (微生物専門調査会)                         | 23      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (ウイルス専門調査会)                        | 15      | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| プリオン専門調査会                          | 123     | 1     | 1     | 4     | 3     | 6      | 5      | 4      | 10     | 5      | 6      |
| かび毒・自然毒等専門調査会                      | 55      | 1     | 0     | 0     | 0     | 4      | 3      | 9      | 4      | 2      | 8      |
| 遺伝子組換え食品等専門調査会                     | 235     | 12    | 14    | 10    | 15    | 12     | 14     | 11     | 11     | 11     | 12     |
| 新開発食品専門調査会                         | 135     | 0     | 0     | 1     | 5     | 4      | 2      | 4      | 5      | 9      | 7      |
| 肥料・飼料等専門調査会                        | 186     | 14    | 12    | 9     | 9     | 9      | 13     | 9      | 11     | 15     | 17     |
| 有機フッ素化合物(PFAS)ワーキンググループ            | 1       | 1     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ        | 10      | 2     | 8     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (菌末を原材料として使用する調整粉乳に関するワーキンググループ)   | 4       | 0     | 0     | 2     | 2     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (鉛ワーキンググループ)                       | 8       | 0     | 2     | 5     | 1     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| 香料ワーキンググループ                        | 1       | 0     | 0     | 0     | 0     | 0      | 1      | -      | -      | -      | -      |
| (アレルギーを含む食品に関するワーキンググループ)          | 15      | -     | 0     | 7     | 5     | 1      | 2      | -      | -      | -      | -      |
| (六価クロムワーキンググループ)                   | 4       | -     | 0     | 0     | 0     | 2      | 2      | -      | -      | -      | -      |
| (清涼飲料水等に関するワーキンググループ)              | 3       | -     | -     | -     | -     | 0      | 2      | 1      | -      | -      | -      |
| 評価技術企画ワーキンググループ                    | 28      | 5     | 2     | 5     | 4     | 3      | 6      | 3      | -      | -      | -      |
| 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ                 | 46      | 8     | 7     | 6     | 6     | 5      | 5      | 5      | 4      | -      | -      |
| 栄養成分関連添加物ワーキンググループ                 | 19      | 1     | 5     | 1     | 2     | 2      | 0      | 7      | 1      | -      | -      |
| (加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ)          | 1       | -     | -     | -     | -     | 0      | 0      | 0      | 1      | -      | -      |
| (いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループ)        | 4       | -     | -     | -     | -     | 0      | 0      | 0      | 4      | -      | -      |
| (放射性物質の食品健康影響評価に関するワーキンググループ)      | 9       | -     | -     | -     | -     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| (高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ) | 7       | -     | -     | -     | -     | 0      | 0      | 0      | 0      | 2      | 0      |
| (新開発食品・添加物専門調査会合同ワーキンググループ)        | 5       | -     | -     | -     | -     | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| (食品による窒息事故に関するワーキンググループ)           | 7       | -     | -     | -     | -     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 企画等計                               | 160     | 3     | 3     | 3     | 3     | 3      | 3      | 3      | 4      | 4      | 3      |
| 評価系計                               | 2,474   | 107   | 101   | 107   | 109   | 114    | 126    | 119    | 137    | 150    | 149    |
| 計                                  | 2,634   | 110   | 104   | 110   | 112   | 117    | 129    | 122    | 141    | 154    | 152    |

### 3 食品健康影響評価の諮問案件に対する審議状況

令和5年3月  
食品安全委員会

| 区分        | 令和4年度 |        | 令和3年度 |        | 令和2年度 |        | 令和元年度 |        | 平成30年度 |        | 平成29年度 |        | 平成28年度 |        | 平成27年度 |        | 平成26年度 |        | 平成25年度 |        | 20年間全件数 |        | 参考 |      |
|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|----|------|
|           | 要請件数  | 評価終了件数 | 要請件数  | 評価終了件数 | 要請件数  | 評価終了件数 | 要請件数  | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数   | 評価終了件数 | 要請件数    | 評価終了件数 |    | 要請件数 |
| 添加物       | 8     | 4      | 6     | 3      | 1     | 8      | 10    | 3      | 16     | 10     | 9      | 12     | 102    | 94     | 14     | 24     | 7      | 6      | 9      | 10     | 310     | 302    | 0  | 0    |
| 栄養成分添加物   | 0     | 1      | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 1      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 2       | 2      | 0  | 0    |
| 香料        | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 7      | 7      | 7      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 7       | 7      | 0  | 0    |
| 農薬        | 58    | 44     | 43    | 56     | 41    | 39     | 35    | 68     | 52     | 46     | 73     | 81     | 94     | 94     | 46     | 70     | 35     | 69     | 127    | 126    | 1,384   | 1,220  | 0  | 0    |
| 動物用医薬品    | 22    | 18     | 9     | 18     | 7     | 15     | 22    | 9      | 18     | 21     | 22     | 33     | 31     | 24     | 31     | 43     | 113    | 122    | 26     | 42     | 662     | 641    | 0  | 0    |
| 器具・容器包装   | 0     | 0      | 0     | 1      | 1     | 1      | 3     | 3      | 1      | 1      | 0      | 0      | 0      | 2      | 0      | 3      | 0      | 1      | 0      | 0      | 21      | 20     | 0  | 0    |
| 汚染物質等     | 0     | 0      | 0     | 1      | 0     | 0      | 2     | 2      | 0      | 1      | 0      | 4      | 0      | 1      | 0      | 0      | 3      | 3      | 5      | 4      | 68      | 67     | 3  | 3    |
| 微生物・ウイルス  | 0     | 0      | 0     | 0      | 1     | 2      | 4     | 3      | 1      | 1      | 1      | 1      | 0      | 0      | 1      | 1      | 3      | 3      | 3      | 4      | 21      | 21     | 2  | 2    |
| プリオン      | 0     | 0      | 0     | 0      | 2     | 4      | 4     | 8      | 3      | 3      | 5      | 4      | 3      | 3      | 12     | 9      | 8      | 6      | 7      | 5      | 67      | 59     | 14 | 14   |
| かび毒・自然毒   | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 1      | 0      | 0      | 1      | 0      | 1      | 1      | 0      | 0      | 0      | 1      | 1      | 2      | 9       | 9      | 5  | 5    |
| 遺伝子組換え食品等 | 8     | 14     | 21    | 33     | 29    | 10     | 23    | 16     | 17     | 20     | 18     | 21     | 22     | 17     | 18     | 25     | 12     | 24     | 38     | 26     | 375     | 359    | 0  | 0    |
| 新開発食品     | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 1      | 6     | 7      | 1      | 0      | 1      | 1      | 1      | 3      | 1      | 4      | 3      | 7      | 3      | 0      | 91      | 91     | 3  | 3    |
| 肥料・飼料等    | 12    | 15     | 3     | 18     | 7     | 16     | 32    | 13     | 19     | 26     | 26     | 29     | 25     | 27     | 5      | 17     | 30     | 24     | 14     | 28     | 323     | 291    | 0  | 0    |
| 薬剤耐性菌     | 3     | 1      | 0     | 3      | 0     | 2      | 2     | 4      | 4      | 6      | 2      | 3      | 1      | 4      | 3      | 11     | 5      | 2      | 1      | 18     | 72      | 62     | 1  | 1    |
| その他       | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 2     | 2      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 1      | 0      | 0      | 6       | 6      | 2  | 2    |
| 合計        | 111   | 97     | 82    | 133    | 89    | 98     | 145   | 139    | 134    | 154    | 138    | 181    | 267    | 271    | 132    | 207    | 219    | 269    | 234    | 265    | 3,418   | 3,157  | 30 | 30   |
| うち厚生労働省   | 71    | 77     | 66    | 108    | 71    | 84     | 116   | 97     | 91     | 111    | 88     | 124    | 241    | 245    | 92     | 146    | 76     | 119    | 198    | 202    | -       | -      | -  | -    |
| うち農林水産省   | 40    | 20     | 16    | 25     | 18    | 13     | 23    | 35     | 42     | 43     | 49     | 56     | 24     | 22     | 39     | 57     | 140    | 143    | 33     | 63     | -       | -      | -  | -    |
| うち消費者庁    | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 1      | 6     | 7      | 1      | 0      | 1      | 1      | 1      | 3      | 1      | 4      | 3      | 7      | 3      | 0      | -       | -      | -  | -    |
| うち環境省     | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 0     | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 1      | 1      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      | -       | -      | -  | -    |

(注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。  
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。  
 3 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会（H18.3.6～H27.8.24）で審議したものも含む。



## 4 自ら評価案件一覧<sup>1</sup>

2023年（令和5年）2月3日現在

| 案件             | 実施決定日             | 評価結果通知日            |
|----------------|-------------------|--------------------|
| 食品及び器具・容器包装中の鉛 | 2008年（平成20年）4月17日 | 2021年（令和3年）6月29日   |
| オクラトキシンA       | 2009年（平成21年）3月19日 | 2014年（平成26年）1月27日  |
| 食品中のヒ素         | 2009年（平成21年）3月19日 | 2013年（平成25年）12月16日 |
| アルミニウム         | 2010年（平成22年）3月18日 | 2017年（平成29年）12月19日 |
| 加熱時に生じるアクリルアミド | 2011年（平成23年）3月31日 | 2016年（平成28年）4月5日   |
| クドア属粘液胞子虫      | 2013年（平成25年）3月11日 | 2015年（平成27年）11月10日 |
| フモニシン          | 2015年（平成27年）3月24日 | 2017年（平成29年）9月26日  |
| アレルギー物質を含む食品   | 2016年（平成28年）3月29日 | 卵：2021年（令和3年）6月8日  |
| 有機フッ素化合物（PFAS） | 2023年（令和5年）1月31日  |                    |

<sup>1</sup> 自ら評価案件の実施決定日又は評価結果の通知日が、2013（平成25）年6月1日～2023（令和5）年3月31日の案件について記載

## 5 実施状況調査実績一覧

|      | 調査対象   | 委員会報告                                      |
|------|--|--|
| 第18回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年（平成24年）4月から2012年（平成24年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野、64品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（9分野、177品目）</li> </ul>    | 第494回<br>食品安全委員会<br>2013年（平成25年）<br>11月18日 |
| 第19回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年（平成24年）10月から2013年（平成25年）3月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野、122品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（9分野、123品目）</li> </ul>  | 第524回<br>食品安全委員会<br>2014年（平成26年）<br>7月29日  |
| 第20回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年（平成25年）4月から2014年（平成26年）3月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野、259品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（9分野、183品目）</li> </ul>  | 第600回<br>食品安全委員会<br>2016年（平成28年）<br>3月29日  |
| 第21回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年（平成26年）4月から2015年（平成27年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野、234品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（9分野、240品目）</li> </ul>  | 第666回<br>食品安全委員会<br>2017年（平成29年）<br>9月19日  |
| 第22回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年（平成27年）10月から2016年（平成28年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野、228品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（6分野、119品目）</li> </ul> | 第680回<br>食品安全委員会<br>2018年（平成30年）<br>1月16日  |
| 第23回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年（平成28年）10月から2017年（平成29年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（9分野、199品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（8分野、200品目）</li> </ul>  | 第731回<br>食品安全委員会<br>2019年（平成31年）<br>2月19日  |
| 第24回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年（平成29年）10月から2018年（平成30年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（10分野、186品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（7分野、83品目）</li> </ul>  | 第773回<br>食品安全委員会<br>2020年（令和2年）<br>2月18日   |
| 第25回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年（平成30年）10月から2019年（令和元年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野、154品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（7分野、87品目）</li> </ul>   | 第808回<br>食品安全委員会<br>2021年（令和3年）<br>3月16日   |
| 第26回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年（令和元年）10月から2020年（令和2年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（12分野、98品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（8分野、83品目）</li> </ul>     | 第842回<br>食品安全委員会<br>2021年（令和3年）<br>12月14日  |
| 第27回 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年（令和2年）10月から2021年（令和3年）9月までに食品健康影響評価を通知した品目（11分野、141品目）</li> <li>・前回までの調査において、具体的なりスク管理措置が講じられていなかった品目（6分野、67品目）</li> </ul>    | 第883回<br>食品安全委員会<br>2022年（令和4年）<br>12月20日  |

## 6 食品安全確保総合調査課題一覧

### 2013年度（平成25年度）【4課題】

| 番号 | 調査課題名                                 | 調査実施機関            |
|----|---------------------------------------|-------------------|
| 1  | ビスフェノールAの食品健康影響評価に関する評価手法の調査及び情報収集・分析 | (株) 三菱化学テクノロジーサーチ |
| 2  | 動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査               | (一財) 生物科学安全研究所    |
| 3  | 畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査                 | (一財) 東京顕微鏡院       |
| 4  | 陰膳サンプルを用いた化学物質・汚染物質の分析調査              | (一財) 日本食品分析センター   |

### 2014年度（平成26年度）【6課題】

| 番号 | 調査課題名  | 調査実施機関            |
|----|--|-------------------|
| 1  | 動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査                                | (一財) 生物科学安全研究所    |
| 2  | 清涼飲料水中の化学物質に係る食品健康影響評価のための情報収集・調査                      | (株) 三菱化学テクノロジーサーチ |
| 3  | 毒性学的懸念の閾値（TTC）を用いたリスク評価手法に関する調査                        | (株) 三菱化学テクノロジーサーチ |
| 4  | 添加物のうち、加工助剤（殺菌剤、酵素、抽出溶媒等）及び栄養成分に関するリスク評価手法の開発に関する調査・研究 | (株) 三菱化学テクノロジーサーチ |
| 5  | 畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査                                  | (一財) 東京顕微鏡院       |
| 6  | 食品健康影響評価に関する研究者・研究内容等の調査                               | (株) 三菱化学テクノロジーサーチ |

### 2015年度（平成27年度）【6課題】

| 番号 | 調査課題名   | 調査実施機関                 |
|----|---|------------------------|
| 1  | 動物用再生医療等製品のリスク評価ガイドライン案を検討するための基礎的調査                      | (一財) 生物科学安全研究所         |
| 2  | 畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査（鶏肉中の大腸菌、腸球菌及びサルモネラ）                 | (一財) 東京顕微鏡院            |
| 3  | <i>in silico</i> 評価方法等食品に係る新たなリスク評価方法の開発・実用化に関する国際的な状況の調査 | (一財) 化学物質評価研究機構        |
| 4  | フモニシンに係る食品健康影響評価に関する調査                                    | (一財) 日本食品分析センター        |
| 5  | 鉛の食品健康影響評価のための情報収集・調査                                     | (株) 東レリサーチセンター         |
| 6  | 原材料に着目して料理を品目に細分化する手法等に関する諸外国の実態調査                        | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |

## 2016年度（平成28年度）【7課題】

| 番号 | 調査課題名   | 調査実施機関                 |
|----|---|------------------------|
| 1  | 畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査(水産関連プロトコル作成)              | (一財) 東京顕微鏡院            |
| 2  | 清涼飲料水中の化学物質（六価クロム）の規格基準改正に係る食品健康影響評価のための情報収集・調査 | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 3  | アレルギー物質を含む食品のリスク評価方法に関する調査                      | (一財) 日本食品分析センター        |
| 4  | カンピロバクター属菌及びノロウイルスのリスク評価の検討に関する調査               | (株) 三菱総合研究所            |
| 5  | 動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査                         | (一財) 生物科学安全研究所         |
| 6  | 原材料に着目して料理を品目に細分化する手法等に関する諸外国の実態調査              | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 7  | 次世代シークエンサーの活用状況等に関する調査                          | (一財) 化学物質評価研究機構        |

## 2017年度（平成29年度）【7課題】

| 番号 | 調査課題名                               | 調査実施機関                 |
|----|-------------------------------------|------------------------|
| 1  | 畜水産食品における薬剤耐性菌の出現実態調査（水産関連プロトコルの試行） | (一財) 東京顕微鏡院            |
| 2  | 海外における汚染物質等に係るばく露評価に関する実態調査         | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 3  | 卵及び乳アレルギーに係る食品表示についての食品健康影響評価のための調査 | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 4  | 食品健康影響評価及びその関連情報の検索性向上に関する調査        | みずほ情報総研（株）             |
| 5  | 食品を介してヒトに伝播される薬剤耐性菌に関する文献等調査        | (株) 三菱総合研究所            |
| 6  | 海外における食品添加物のリスク評価手法に関する実態調査         | エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所      |
| 7  | <i>in silico</i> 評価支援ツールの現状に関する調査   | (一財) 化学物質評価研究機構        |

## 2018年度（平成30年度）【5課題】

| 番号 | 調査課題名  | 調査実施機関                 |
|----|--|------------------------|
| 1  | 麦類及びそば類アレルギーに係る食品表示についての食品健康影響評価のための調査                     | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 2  | 器具・容器包装の規格基準改正（カドミウム）に係る食品健康影響評価のための情報収集                   | エム・アール・アイリサーチアソシエイツ（株） |
| 3  | ポジティブリスト制度施行に伴い暫定基準の設定された動物用医薬品（ホルモン剤等）に係る食品健康影響評価に関する文献調査 | エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所      |
| 4  | 遺伝子組換え食品等の安全性評価における構成成分データの評価に関するガイダンス作成のための調査             | (株) 東レリサーチセンター         |
| 5  | ベンチマークドーズ法に関するガイダンス及び導入支援ソフトウェア等の現状調査                      | (一財) 化学物質評価研究機構        |
| ※  | 遺伝子組換え食品等の安全性評価における次世代シークエンサーデータの活用に関するガイダンス作成のための調査       | 実施せず                   |

## 2019年度（令和元年度）【5課題】

| 番号 | 調査課題名  | 調査実施機関                 |
|----|--|------------------------|
| 1  | 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAに係る評価手法及び科学的知見（体内動態、毒性、ばく露量、疫学調査等）に関する調査 | エム・アール・アイリサーチアソシエーツ（株） |
| 2  | えび、かに及び落花生アレルギーに係る食品表示についての食品健康影響評価のための調査                        | 東レリサーチセンター（株）          |
| 3  | 薬剤耐性菌のリスク評価手法の検討に関する調査   | エム・アール・アイリサーチアソシエーツ（株） |
| 4  | ファクトシートのためのダイオキシン類及びヒスタミンの科学的知見の収集に関する調査                         | 東レリサーチセンター（株）          |
| 5  | 海外のリスク評価機関における評価結果等に関する調査  | （一財）残留農薬研究所            |

## 2020年度（令和2年度）【6課題】

| 番号 | 調査課題名                                 | 調査実施機関                 |
|----|---------------------------------------|------------------------|
| 1  | 食品中の化学物質への複合ばく露に関する情報収集調査             | エム・アール・アイリサーチアソシエーツ（株） |
| 2  | 疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用に関する調査 | エム・アール・アイリサーチアソシエーツ（株） |
| 3  | 食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査        | （株）インテージリサーチ           |
| 4  | 加熱調理の科学的情報の解析及び画像の開発                  | 国立大学法人お茶の水女子大学         |
| 5  | 海外のリスク評価機関における評価結果等に関する調査             | （一財）残留農薬研究所            |
| 6  | FAO/WHOによる新たな食品中の微生物リスク評価手法に関する調査     | （株）日本総合研究所             |

## 2021年度（令和3年度）【3課題】

| 番号 | 調査課題名                        | 調査実施機関        |
|----|------------------------------|---------------|
| 1  | 特定の新規食品の安全性評価手法に関する調査        | （株）三菱ケミカルリサーチ |
| 2  | 野生動物由来の食肉中のハザードに関する調査        | （株）日本総合研究所    |
| 3  | 化学物質のリスク評価における不確実係数の設定に関する調査 | （株）政策基礎研究所    |

## 2022年度（令和4年度）【6課題】

| 番号 | 調査課題名   | 調査実施機関           |
|----|---|------------------|
| 1  | アレルゲンを含む食品のファクトシート（乳、麦類）の策定に向けた科学的知見の調査                 | 学校法人星薬科大学        |
| 2  | 食品添加物のばく露評価に関する情報収集調査                                   | 学校財団法人関西大学       |
| 3  | 食品添加物の海外の評価結果等に関する情報収集及び調査                              | （公財）日本食品化学研究振興財団 |
| 4  | 農薬リスク評価に関する海外状況調査（令和4年度）                                | （株）三菱ケミカルリサーチ    |
| 5  | パーフルオロ化合物に係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理                   | （一財）化学物質評価研究機構   |
| 6  | 食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に関する調査 | 日本エヌ・ユー・エス（株）    |

## 7 食品健康影響評価技術研究採択課題一覧

### 2013年度（平成25年度）【5課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名  | 研究者名 | 所属組織                         | 研究期間            |
|--------|--|------|------------------------------|-----------------|
| 1301   | ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型BSEの人に対する感染リスクの定量的評価       | 松浦裕一 | 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所 | 25年度から26年度（2年間） |
| 1302   | 核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究 | 吉成浩一 | 東北大学                         | 25年度から26年度（2年間） |
| 1303   | 化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点           | 吉田緑  | 国立医薬品食品衛生研究所                 | 25年度から26年度（2年間） |
| 1304   | 遺伝毒性発がん物質のリスク評価手法に関する研究                      | 小野敦  | 国立医薬品食品衛生研究所                 | 25年度から26年度（2年間） |
| 1305   | 食用動物由来薬剤耐性菌の定量的食品健康影響評価モデルの確立                | 田村豊  | 酪農学園大学                       | 25年度から26年度（2年間） |

### 2014年度（平成26年度）【8課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名   | 研究者名 | 所属組織          | 研究期間            |
|--------|---|------|---------------|-----------------|
| 1401   | 香料化合物のリスク評価手法に関する調査研究                                   | 山崎壮  | 実践女子大学        | 26年度（1年間）       |
| 1402   | レチノイン酸の濃度変化を引き起して催奇形性を示す化学物質のスクリーニング法の開発と催奇形性発症の分子機構の解明 | 永田清  | 東北薬科大学        | 26年度から27年度（2年間） |
| 1403   | 熱帯性魚類食中毒シガテラのリスク評価のための研究                                | 大城直雅 | 国立医薬品食品衛生研究所  | 26年度から27年度（2年間） |
| 1404   | 食品摂取により発症する新規アレルギー／アレルギー様反応に関する調査研究                     | 柘植郁哉 | 藤田保健衛生大学      | 26年度から27年度（2年間） |
| 1405   | 肝マクロファージの機能特性に基づいた肝毒性の新規評価手法の構築と緻密化                     | 山手丈至 | 大阪府立大学        | 26年度（1年間）       |
| 1406   | 低水分含量食品中における食中毒細菌（サルモネラ、腸管出血性大腸菌）の菌数変動および生存確率予測モデルの開発   | 小関成樹 | 北海道大学         | 26年度から27年度（2年間） |
| 1407   | 食品中ヒ素の代謝物ジメチルモノチオアルシン酸の発がん性に関する研究                       | 鰐渕英機 | 大阪市立大学        | 26年度から27年度（2年間） |
| 1408   | 食品からのアクリルアミド摂取量の統計的推定に関する研究                             | 鈴木規之 | 独立行政法人国立環境研究所 | 26年度（1年間）       |

### 2015年度（平成27年度）【8課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名   | 研究者名 | 所属組織         | 研究期間            |
|--------|---|------|--------------|-----------------|
| 1501   | 農薬の毒性評価における「毒性プロファイル」と「毒性発現量」の種差を考慮した毒性試験の新たな段階的評価手法の提言—イヌ慢性毒性試験とマウス発がん性試験の必要性について— | 小野敦  | 国立医薬品食品衛生研究所 | 27年度から28年度（2年間） |

|      |   |       |                    |                     |
|------|---|-------|--------------------|---------------------|
| 1502 | 栄養成分・加工助剤に関するリスク評価方法の確立に関する研究                                 | 梅村隆志  | 国立医薬品食品衛生研究所       | 27年度<br>(1年間)       |
| 1503 | 食事由来アクリルアミドばく露量推定方法の開発と妥当性の検討および大規模コホート研究に基づく発がんリスクとの関連に関する研究 | 祖父江友孝 | 大阪大学               | 27年度から28年度<br>(2年間) |
| 1504 | 家畜とヒトとの間における薬剤耐性菌の循環に関する分子疫学および時空間比較ゲノム解析                     | 荒川宜親  | 名古屋大学              | 27年度から28年度<br>(2年間) |
| 1505 | 食品に対する乳児期のアレルギー性反応獲得メカニズムと発症リスク評価                             | 木戸博   | 徳島大学               | 27年度から28年度<br>(2年間) |
| 1506 | 食品ごとの「IgE抗体の作らせやすさ」を測定する系の樹立に関する研究                            | 斎藤博久  | 独立行政法人国立成育医療研究センター | 27年度から28年度<br>(2年間) |
| 1507 | 食品由来のアクリルアミド摂取量の推定に関する研究                                      | 河原純子  | 独立行政法人国立環境研究所      | 27年度から28年度<br>(2年間) |
| 1508 | 香料の摂取量に関する評価方法の確立に関する研究                                       | 佐藤恭子  | 国立医薬品食品衛生研究所       | 27年度<br>(1年間)       |

## 2016年度（平成28年度）【7課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名   | 研究者名  | 所属組織                  | 研究期間                |
|--------|---|-------|-----------------------|---------------------|
| 1601   | 経管栄養食品等に含まれるセレン化合物の化学形態に着目したリスク評価及びバイオアベイラビリティに関する研究                | 小椋康光  | 千葉大学                  | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1602   | インビボ毒性試験成績のデータベース化とそのインシリコ解析・評価への応用に関する研究                           | 吉成浩一  | 静岡県立大学                | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1603   | 食品用ペットボトルから溶出する化学物質の摂取量の推定に関する研究                                    | 尾崎麻子  | 大阪市立環境科学研究所           | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1604   | 有機ヒ素化合物による発がんメカニズムの解明   | 鰐淵英機  | 大阪市立大学                | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1605   | 血漿マイクロRNAの発現変動を指標とした化学物質の新規毒性評価系の構築・評価研究                            | 横井毅   | 名古屋大学                 | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1606   | 食肉由来腸球菌の抗菌性飼料添加物に対する耐性と多剤耐性伝達性プラスミドとの関係についての調査・研究                   | 富田治芳  | 群馬大学                  | 28年度から29年度<br>(2年間) |
| 1607   | 発生毒性試験における胎児形態異常に関するデータ収集と骨格変異の毒性学的意義に関する研究：フルシトシン誘発性過剰肋骨の発現機序からの考察 | 桑形麻樹子 | 一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所 | 28年度から29年度<br>(2年間) |

## 2017年度（平成29年度）【6課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名                             | 研究者名 | 所属組織            | 研究期間                |
|--------|-----------------------------------|------|-----------------|---------------------|
| 1701   | アレルギー物質を含む食品についてのリスク評価方法の確立に関する研究 | 斎藤博久 | 国立成育医療研究センター    | 29年度<br>(1年間)       |
| 1702   | 試験管内プリオン増幅系を用いた「種の壁」の定量的評価のための研究  | 岩丸祥史 | 農業・食品産業技術総合研究機構 | 29年度から30年度<br>(2年間) |
| 1703   | コリスチン耐性菌の出現状況と特性解析に関する研究          | 田村豊  | 酪農学園大学          | 29年度から30年度<br>(2年間) |
| 1704   | 無機ヒ素ばく露評価およびその手法に関する研究            | 吉永淳  | 東洋大学            | 29年度から30年度<br>(2年間) |

|      |   |      |              |                     |
|------|---|------|--------------|---------------------|
| 1705 | 食物アレルギーと経口免疫寛容の成立機序の違いとアナフィラキシーの発症機序から見たリスク評価 | 木戸博  | 徳島大学         | 29年度から30年度<br>(2年間) |
| 1706 | 合成樹脂製器具・容器包装のリスク評価における溶出試験法に関する研究             | 六鹿元雄 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 29年度から31年度<br>(3年間) |

## 2018年度（平成30年度）【8課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名  | 研究者名 | 所属組織         | 研究期間                |
|--------|--|------|--------------|---------------------|
| 1801   | 新規評価支援技術の開発に関する研究-毒性予測に向けたデータベースの活用方法の検討-                    | 頭金正博 | 名古屋市立大学      | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1802   | 食物消化過程におけるカンピロバクターの生残特性を基盤とする新たな用量反応モデルの開発                   | 小関成樹 | 北海道大学        | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1803   | 食品に非意図的に混入する微量化学物質のリスク評価への <i>in silico</i> 評価手法の適用に関する研究    | 小野敦  | 岡山大学         | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1804   | ベンチマークドーズ手法の健康影響評価における適用条件の検討                                | 広瀬明彦 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1805   | 食品添加物のリスク評価手法に関する研究-乳児を対象とした評価手法及び毒性試験全般に関する最新の国際動向等を踏まえた提言- | 梅村隆志 | ヤマザキ動物看護大学   | 30年度<br>(1年間)       |
| 1806   | 国内で多発するカンピロバクター食中毒の定量的リスク分析に関する研究                            | 朝倉宏  | 国立医薬品食品衛生研究所 | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1807   | 重篤なアレルギーのリスクとなる果物類アレルゲンコンポーネントに関する研究                         | 丸山伸之 | 京都大学         | 30年度から31年度<br>(2年間) |
| 1808   | フモニシンのモディファイド化合物のリスク評価に関する研究                                 | 吉成知也 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 30年度から31年度<br>(2年間) |

## 2019年度（令和元年度）【9課題】

| 研究課題番号 | 調査課題名   | 研究者名 | 所属組織         | 研究期間                       |
|--------|---|------|--------------|----------------------------|
| 1901   | 体内移行に着目した食品添加物のリスク評価手法に関する研究                            | 梅村隆志 | ヤマザキ動物看護大学   | 令和元年度<br>(1年間)             |
| 1902   | 導入遺伝子が存在しない宿主ゲノム遺伝子発現改変植物由来食品の安全性評価点の解明                 | 児玉浩明 | 千葉大学         | 令和元年度～令和2年度<br>(2年間)       |
| 1903   | 認知心理学を応用した中学生・高校生を対象とした食品安全に関する理解促進プログラム(教材)の開発         | 和田有史 | 立命館大学        | 令和元年度～令和3年度<br>(3年間)       |
| 1904   | アクリルアミドばく露による発がんリスク評価～大規模コホート研究保存検体を用いたコホート内症例対照研究による検討 | 石原淳子 | 麻布大学         | 令和元年度～令和3年度<br>(3年間)       |
| 1905   | メチル水銀の脱メチル化機構における食品中の水銀/セレンのバイオジェニックナノ粒子形成              | 小椋康光 | 千葉大学         | 令和元年度～令和2年度<br>(2年間)       |
| 1906   | 国際動向に立脚した農薬代謝物の新たなリスク評価手法に関する研究                         | 小野敦  | 岡山大学         | 令和元年度～令和4年度<br>(4年間)       |
| 1907   | 二値反応の用量反応データを対象としたベンチマークドーズ計算ソフトウェアの開発研究                | 西浦博  | 京都大学         | 令和元年度～令和2年度<br>(2年間)       |
| 1908   | ノロウイルスによる健康被害実態及び食品寄与割合の推計に関する研究                        | 上間匡  | 国立医薬品食品衛生研究所 | 令和元年度、令和3年度～令和4年度<br>(3年間) |
| 1909   | アニサキス汚染実態調査およびリスク低減策の評価に関する研究                           | 大西貴弘 | 国立医薬品食品衛生研究所 | 令和元年度～令和3年度<br>(3年間)       |



## 2020年度（令和2年度）【9課題】

| 研究課題番号                      | 調査課題名   | 研究者名  | 所属組織                | 研究期間             |
|-----------------------------|---|-------|---------------------|------------------|
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2001 | ベイズ推定を活用したベンチマークドーズ法の評価手法検討と国際動向に関する研究              | 西浦博   | 京都大学                | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2002 | 家畜由来薬剤耐性菌の水圏・土壌環境を介した野菜汚染の定量評価及びヒトへの伝播に関する研究        | 白井優   | 酪農学園大学              | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2003 | 新生児期から乳幼児期におけるメチル水銀の曝露評価                            | 龍田希   | 東北大学                | 令和2年度～令和4年度（3年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2004 | 乾燥・貧栄養ストレス下で生残する食中毒細菌のフードチェーンにおける動態解明と食中毒リスク予測手法の開発 | 小関成樹  | 北海道大学               | 令和2年度～令和4年度（3年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2005 | 食肉由来耐性菌の全ゲノムシーケンスを用いた薬剤耐性特性解析に関する研究                 | 川津健太郎 | 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2006 | In silico手法の導入による食品関連化学物質の肝毒性予測の精緻化に関する事例研究         | 山田隆志  | 国立医薬品食品衛生研究所        | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2007 | 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAのリスク評価に資する科学的知見の検討に関する研究    | 青山博昭  | 一般財団法人残留農薬研究所       | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2008 | ベイズ統計学に基づく推定手法を活用したアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究             | 福家辰樹  | 国立成育医療研究センター        | 令和2年度～令和3年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2020<br>2009 | ベンチマークドーズ法によるアレルギー症状誘発確率の検討                         | 海老澤元宏 | 国立病院機構相模原病院         | 令和2年度～令和3年度（2年間） |

## 2021年度（令和3年度）【3課題】

| 研究課題番号                      | 調査課題名                                     | 研究者名 | 所属組織    | 研究期間             |
|-----------------------------|---|------|---------|------------------|
| JPCA<br>FSC<br>2021<br>2101 | 遺伝子組換え台木と非組換え穂木の間での生体成分輸送に起因する食品安全性の評価点解明 | 太田大策 | 大阪府立大学  | 令和3年度～令和4年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2021<br>2102 | 無機ヒ素のヒト体内での健康影響発現メカニズムに関する研究              | 魏民   | 大阪市立大学  | 令和3年度～令和4年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2021<br>2103 | 食品中の汚染物質のリスク評価手法に関する研究                    | 岩澤聡子 | 防衛医科大学校 | 令和3年度～令和4年度（2年間） |

## 2022年度（令和4年度）【8課題】

| 研究課題番号                      | 調査課題名  | 研究者名  | 所属組織         | 研究期間             |
|-----------------------------|--|-------|--------------|------------------|
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2201 | 国内の鉛ばく露の実態と小児の神経発達への影響に関する研究   | 岩井美幸  | 国立環境研究所      | 令和4年度～令和5年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2202 | 鶏肉のフードチェーンを通じたカンピロバクターの定量的動態解析とリスク低減効果の評価に向けた研究                        | 朝倉宏   | 国立医薬品食品衛生研究所 | 令和4年度～令和5年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2203 | 誘電泳動法を用いた細胞分離・捕捉技術の確立による Viable But Non-Culturable 状態のカンピロバクターの網羅的特性解析 | 小関成樹  | 北海道大学        | 令和4年度～令和6年度（3年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2204 | アニサキス食中毒リスク評価に関する調査研究  | 大西貴弘  | 国立医薬品食品衛生研究所 | 令和4年度～令和5年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2205 | Campylobacter jejuni における未解明な環境適応機構に対する新しいアプローチの確立                     | 山本章治  | 国立感染症研究所     | 令和4年度～令和5年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2206 | 化学物質による非遺伝毒性発がんの新規リスク予測・評価手法の開発  | 吉成浩一  | 静岡県立大学       | 令和4年度～令和5年度（2年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2207 | 食品中に存在するナノ粒子のリスク評価手法に関する研究   | 広瀬明彦  | 国立医薬品食品衛生研究所 | 令和4年度～令和6年度（3年間） |
| JPCA<br>FSC<br>2022<br>2208 | 細胞培養技術を用いて製造される食肉のリスク評価手法に関する研究  | 五十君静信 | 東京農業大学       | 令和4年度～令和5年度（2年間） |

## 8-1 リスクコミュニケーション実績一覧

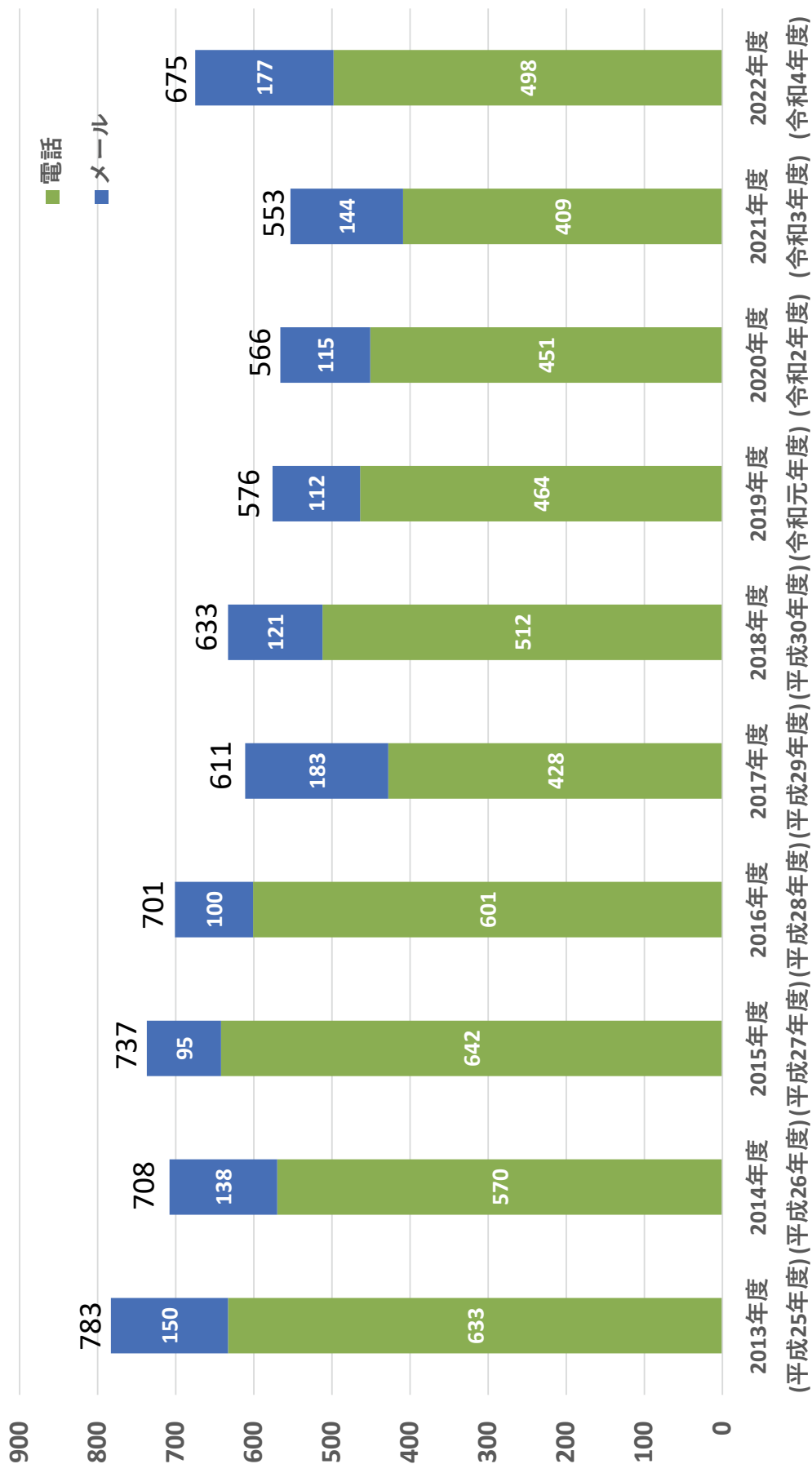
2013年（平成25年）6月1日～2023年（令和5年）3月31日現在

| ツール                           | 概 要   |
|-------------------------------|---|
| パブリックコメント                     | 食品安全委員会が取りまとめた食品健康影響評価等に対するご意見や情報を広く国民から募集するとともに、出された意見及びそれへの対応を公表している。   |
| ウェブサイト                        | 広く国民に向けて、原則公開で開催される各種委員会の資料、議事録等や食品安全に係る情報を掲載するとともに、緊急時の科学的知見を提供している。   |
| Q&A                           | 関心の高いハザードを分かりやすく解説するためのQ&Aや、「食の安全ダイヤル」に多く寄せられた国民からの問合せとその回答を取りまとめ、ウェブサイトに掲載している。  |
| ファクトシート                       | ハザードごとに、国際機関や国内外のリスク評価機関が公表した評価結果、最新の研究成果及びリスク管理措置等の情報を収集・整理した科学的知見に基づく概要書を作成し、公表している。  |
| 広報誌『食品安全』等冊子類                 | 食品安全委員会の取組を広く国民に知ってもらうため、各年度の取組をわかりやすく取りまとめた広報誌「食品安全」を毎年作成している。また、食品安全委員会の概要を記載したパンフレットや、「科学の目で見る食品安全」、「キッズボックス総集編」等の冊子類を発行し、講師派遣、意見交換会及びイベント等において配布している。                       |
| 食品の安全性に関する用語集                 | 食品安全委員会が公表した食品健康影響評価書やリスクコミュニケーション媒体に記載されている用語を正しい解釈に基づき理解していただくため、用語の意味を説明したもの。ウェブサイトに掲載するとともに冊子を発行し、講師派遣、意見交換会及びイベント等において配布している。  |
| 食品安全委員会メールマガジン（食品安全委員会e-マガジン） | 「メールマガジンウィークリー版」では食品安全委員会や各種専門調査会、意見交換会の開催予定を、「新着情報お知らせメール」では新たに公表した事項を情報発信している。併せて、緊急時には食品安全に関する正確な情報の発信もしている。なお、リスク評価や食中毒予防等の詳しい情報を配信した「メールマガジン読み物版」は、2020年度（令和2年度）末で配信を終了した。 |
| YouTube                       | 2017年（平成29年）11月に開設。文字情報だけでは伝えられない情報をわかりやすく伝えられ、また、検索・おすす​​め等で長くアクセスが得られるが、詳細な情報は伝えにくいという動画の特性を踏まえつつ、事業者や消費者等の対象者を意識した情報を発信している。   |
| Facebook                      | 2014年（平成26年）2月に開設。食品安全委員会の活動状況のほか、機動的な対応が必要な健康被害案件、季節性を考慮した記事等、Facebookの拡散機能や利用者の二次利用を意識したテーマの記事を発信している。  |
| Twitter                       | 2021年（令和3年）10月に開設。情報収集の手段として用いられていることや、拡散力が高い等のTwitterの特性を活かし、食中毒の防止法等の国民にとって身近で関心（共感）が高い情報や、タイムリーな情報、緊急性の高い情報を食品安全委員会の活動に結びつけて発信している。  |

|                   |   |
|-------------------|---|
| リスクコミュニケーション担当者会議 | <p>食品安全関連府省庁（食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省、農林水産省及び環境省並びに2021年（令和3年）よりALPS処理水対応のため経済産業省が参加）のリスクコミュニケーション実担当者の連携の場として定期的に開催している。リスクコミュニケーションに関する情報交換のほか、各府省庁が連携し開催しているイベントや意見交換会の運営についての協議を行っている。</p>                            |
| 食品安全モニター会議等       | <p>食品安全モニターとしての基本的な知識習得のため、モニターの活動内容や食品安全委員会の役割、食品健康影響評価などについて、食品安全モニター向けの説明会やeラーニング、セミナーを開催している。</p> <p>2018年度（平成30年度）より食品安全モニター会議に代わりeラーニングを開始した。</p> <p>2021年度（令和3年度）より、eラーニングに加え、web会議システムを活用したセミナーも開催している。</p> |
| 意見交換会等            | <p>報道関係者や地方公共団体、事業者、一般消費者等を対象に、食品の安全に関する科学的な知識の普及、また、関係各機関との連携の強化、関係の構築を目的に行っている。</p>   |
| 食品安全委員会委員の講演・講義等  | <p>食品安全委員会主催の勉強会や地方公共団体等でのイベントで、食品安全に関する科学的知見に対する理解の促進を図るため、講演・講義を行うほか、関連学会への委員の派遣やブース出展も行っている。</p>   |
| 食の安全ダイヤル          | <p>直接、国民からの食品の安全に関する問い合わせやご意見・情報をいただくとともに、食品の安全に関する知識・理解を深めていただくことを目的に設置している。</p>   |

## 8-2 食の安全ダイヤル年度別受付件数

2013年（平成25年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日現在



## 8-3 季刊誌「食品安全」発刊実績

|        | 発刊年月                    | 主な掲載内容   |
|--------|-------------------------|--|
| vol.35 | 2013年<br>(平成25年)<br>7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：牛海綿状脳症（BSE）対策の見直しに係るリスク評価について～日本のBSE検査対象月齢の引き上げ～</li> <li>・食品に関するリスクコミュニケーション：BSE対策の見直しで意見交換会</li> <li>・特集：食品中のリステリア・モノサイトゲネスについてリスク評価を行いました</li> <li>・トピックス：クロムのファクトシートを紹介しす</li> <li>・インフォメーション：2012年度の自ら評価のテーマがクダアに決まりました</li> <li>・食の安全Q &amp; A：夏の食中毒対策</li> <li>・キッズボックス：卵の豆知識</li> <li>・寄稿：「調理とリスクマネジメント」（石井克枝委員）</li> </ul> |
| vol.36 | 2013年<br>(平成25年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：食品安全委員会設立10周年</li> <li>・トピックス：調理器具に用いられているシリコーン</li> <li>・インフォメーション：食品安全委員会と豪州・ニュージーランド食品基準機関（FSANZ）との定期会合開催</li> <li>・食品に関するリスクコミュニケーション：「食品を科学するーリスクアナリシス（分析）講座ー」開講</li> <li>・食の安全Q &amp; A：きのこの食中毒</li> <li>・キッズボックス：大豆の豆知識</li> <li>・寄稿：「安全と安心の間」（上安平洸子委員）</li> </ul>   |
| vol.37 | 2014年<br>(平成26年)<br>1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：自ら評価「食品中のヒ素」の食品健康影響評価を行いました</li> <li>・特集：かび毒オクラトキシンAについて食品健康影響評価を行いました</li> <li>・インフォメーション：食品安全委員会専門調査会専門委員の改選が行われました</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品安全委員会セミナー（ヒ素）報告</li> <li>・食の安全Q &amp; A：「ADI」と「TDI」</li> <li>・キッズボックス：お米の豆知識</li> <li>・寄稿：「食品の安全と表示のはざま」（村田容常委員）</li> </ul>  |
| vol.38 | 2014年<br>(平成26年)<br>3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）の食品健康影響評価を行いました</li> <li>・トピックス：シガテラのファクトシートを紹介しす</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品を科学する リスクアナリシス（分析）講座</li> <li>・インフォメーション：「FoodSafety-TheOfficialJournalofFoodSafetyCommission」（食品安全委員会電子ジャーナル）創刊のお知らせ</li> <li>・キッズボックス：宇宙食の豆知識</li> <li>・寄稿：「食中毒予防の三原則について」（熊谷進委員長）</li> </ul>  |
| vol.39 | 2014年<br>(平成26年)<br>7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：食品用ラップフィルムから溶出する物質について</li> <li>・コラム：ラップフィルムを安全に使用するために</li> <li>・トピックス：“食品の安全”に関する情報を収集・公開しています</li> <li>・インフォメーション：食品安全委員会セミナー「ビスフェノールAに関する国際セミナー」報告</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品を科学する リスクアナリシス（分析）連続講座</li> <li>・キッズボックス：食べものにかかわる「単位」</li> <li>・寄稿：「安心して生卵を食べられる国」（佐藤洋委員長代理）</li> </ul>  |
| vol.40 | 2014年<br>(平成26年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「二枚貝中のオカダ酸群」の食品健康影響評価について</li> <li>・トピックス：平成26年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催</li> <li>・インフォメーション：食品安全委員会と豪州・ニュージーランド食品基準機関（FSANZ）との定期会合開催</li> <li>・リスクコミュニケーション：第9回食育推進全国大会に参加</li> <li>・キッズボックス：季節の伝統食（秋・冬）</li> <li>・寄稿：「農薬や添加物等の遺伝毒性・発がん性評価の今と昔」（三森国敏委員長代理）</li> </ul>  |

|        |                         |  |
|--------|-------------------------|--|
| vol.41 | 2015年<br>(平成27年)<br>1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：麻痺性貝毒のファクトシートをご紹介</li> <li>・インフォメーション：食品安全委員会セミナー「食品安全分野におけるリスクコミュニケーションに関する国際セミナー」報告</li> <li>・トピックス：内閣府特命担当大臣挨拶</li> <li>・インフォメーション：ジュニア食品安全ゼミナール</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品を科学する リスクアナリシス（分析）連続講座（全7回）を開催しました</li> <li>・キッズボックス：食品の色はなぜ変わる？</li> <li>・寄稿：「からだの中の“門”と“関所”」（山添康委員長代理）</li> </ul>  |
| vol.42 | 2015年<br>(平成27年)<br>3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：食肉の生食についての食品健康影響評価</li> <li>・特集：魚介類の生食で発症する寄生虫症 アニサキス症のファクトシートをご紹介</li> <li>・トピックス：内閣府特命担当大臣挨拶</li> <li>・インフォメーション：緊急時対応訓練を実施</li> <li>・リスクコミュニケーション：自治体と共催で行う意見交換会</li> <li>・キッズボックス：春の山菜とあく抜きの効果</li> <li>・寄稿：「体にいいものを食べていますか」（石井克枝委員）</li> </ul>   |
| vol.43 | 2015年<br>(平成27年)<br>8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：加熱時に生じるアクリルアミドについて</li> <li>・トピックス：ANSES（フランス食品環境労働衛生安全庁）との意見交換</li> <li>・インフォメーション：2014年度の自ら評価のテーマが「フモニシン」に決まりました</li> <li>・インフォメーション：食品の安全性に関する用語集（第5版）ができました</li> <li>・インフォメーション：「食品の安全性に関するリスクコミュニケーションのあり方に関する報告書」がまとまりました</li> <li>・リスクコミュニケーション：キッズボックスだけをまとめた「キッズボックス総集編」を発行しました！</li> <li>・キッズボックス：食品の保存を理解しよう！</li> <li>・寄稿：「ちょっと注意、食品成分表の値」（村田容常委員）</li> </ul> |
| vol.44 | 2015年<br>(平成27年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：食品安全委員会が新たな体制でスタート委員のご紹介</li> <li>・トピックス：食品に含まれるトランス脂肪酸</li> <li>・インフォメーション：食品安全モニター会議ってどんな会議</li> <li>・リスクコミュニケーション：「学校教育関係者を対象とした食品安全に関する研修会」を開催しました</li> <li>・キッズボックス：インスタント食品の豆知識</li> <li>・寄稿：「一度に多くの野菜・果物を食べてしまった時のための農薬のリスク評価が始まりました」（吉田緑委員）</li> </ul>  |
| vol.45 | 2016年<br>(平成28年)<br>1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「健康食品」に関するメッセージ</li> <li>・トピックス：内閣府特命担当大臣挨拶</li> <li>・トピックス：海外機関との連携を積極的に推進</li> <li>・インフォメーション：全国食品安全連絡会議が開催されました</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品安全委員会国際専門家招へいプログラム開催報告</li> <li>・キッズボックス：食物アレルギーってどういうこと？</li> <li>・寄稿：「食品の安全性に関するリスクコミュニケーションのあり方について」（堀口逸子委員）</li> </ul>  |
| vol.46 | 2016年<br>(平成28年)<br>3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「クドア属粘液胞子虫」の食品健康影響評価について</li> <li>・トピックス：BfRとの意見交換及びEFSAとの定期会合開催</li> <li>・トピックス：「いわゆる『健康食品』に関する説明会～消費者の皆様を対象に～」開催報告</li> <li>・インフォメーション：緊急時対応訓練を実施</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品を科学する リスクアナリシス（分析）講座を開催しました</li> <li>・キッズボックス：食中毒は何でおきるの？</li> <li>・寄稿：「かびが作る毒素に対してもリスクの低減措置が講じられています」（熊谷進委員）</li> </ul>   |

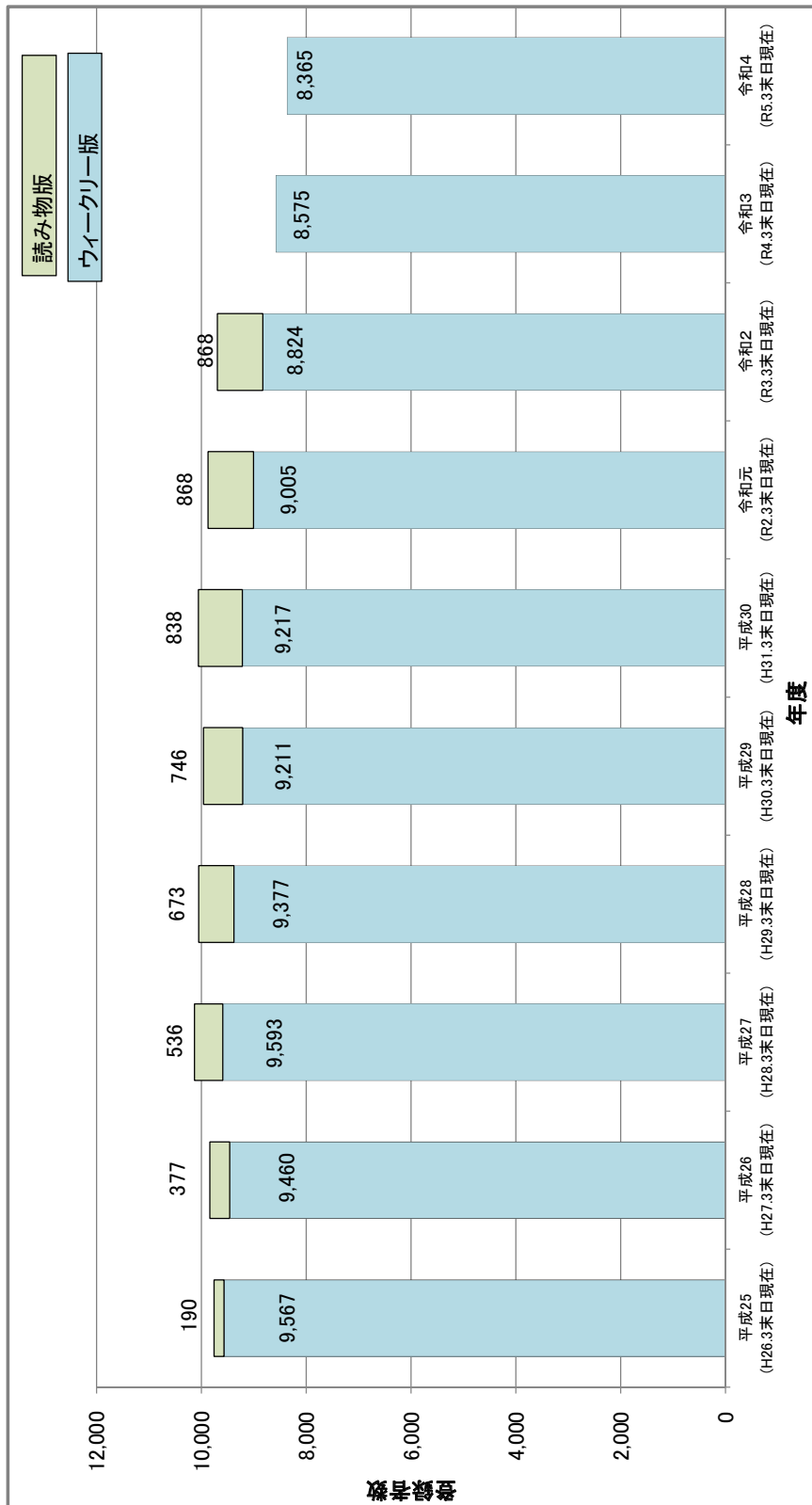
|        |                         |  |
|--------|-------------------------|--|
| vol.47 | 2016年<br>(平成28年)<br>7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「加熱時に生じるアクリルアミド」の食品健康影響評価について</li> <li>・トピックス：2015年度の「自ら評価」のテーマが「アレルギー物質を含む食品」に決まりました</li> <li>・リスクコミュニケーション：国際専門家招へいプログラム開催報告</li> <li>・インフォメーション：「食べものについて知っておきたいこと」を発行しました<br/>－メールマガジン（読み物版）の総集編をまとめました－</li> <li>・キッズボックス：どうしてお肉は生で食べてはダメなの？</li> <li>・寄稿：「塩と健康：あなたの食生活はしょっぱいですか？」（佐藤洋委員長）</li> </ul>  |
| vol.48 | 2016年<br>(平成28年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る食品健康影響評価について<br/>－健康と畜牛のBSE検査の廃止－</li> <li>・トピックス：カンピロバクターのファクトシートを紹介します</li> <li>・トピックス：内閣府特命担当大臣挨拶</li> <li>・トピックス：ドイツ連邦リスク評価研究所との協力覚書を締結しました</li> <li>・リスクコミュニケーション：食品に関するリスクコミュニケーション（意見交換会）「牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直しに係る食品健康影響評価書案について」を開催しました</li> <li>・キッズボックス：毒きのこはどうやって見分けるの？</li> <li>・寄稿：「ちょっとした注意にもわけがあります」（熊谷進委員）</li> </ul>   |
| vol.49 | 2017年<br>(平成29年)<br>1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「薬剤耐性菌」の食品健康影響評価について</li> <li>・トピックス：山本茂貴氏が新たに委員に任命されました</li> <li>・トピックス：ASAE（ポルトガル）主催のフォーラムへの参加及びASAE・ANSES（フランス）との意見交換</li> <li>・トピックス：平成28年度食品健康影響評価技術研究成果発表会を開催しました</li> <li>・リスクコミュニケーション：タイ保健省等の「食の安全」研修</li> <li>・キッズボックス：サプリメントって食べても大丈夫？</li> <li>・寄稿：「香料、果物と食経験」（山添康委員長代理）</li> </ul>   |
| vol.50 | 2017年<br>(平成29年)<br>3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：専門調査会等の取組／リスク評価の窓</li> <li>・特集：食品安全委員会の国際的な取組</li> <li>・トピックス：緊急時対応訓練を実施</li> <li>・リスクコミュニケーション：4府省庁連携のリスクコミュニケーションを開催しました</li> <li>・キッズボックス：加熱調理はなぜ大事なの？</li> <li>・寄稿：「加熱してもなぜ食中毒が起こるのでしょうか？」（石井克枝委員）</li> </ul>   |
| vol.51 | 2017年<br>(平成29年)<br>7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：食品中のカフェインについて</li> <li>・リスク評価の窓：農薬専門調査会</li> <li>・トピックス：「精講：食品健康影響評価～加熱時に生じるアクリルアミド～」アクリルアミドの食品健康影響評価及び低減対策について講座を開催しました</li> <li>・トピックス：『科学の目で見る食品安全』を改訂しました</li> <li>・リスクコミュニケーション：「食品の安全を守る取組～農場から食卓まで～」を開催しました</li> <li>・リスクコミュニケーション：国際会議「食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか」を開催しました</li> <li>・キッズボックス：ジャガイモの豆知識</li> <li>・寄稿：「何でも「生」がいいの？」（村田容常委員）</li> </ul> |
| vol.52 | 2017年<br>(平成29年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：フモニシンについて</li> <li>・特集：ボツリヌス症について</li> <li>・リスク評価の窓：動物用医薬品専門調査会</li> <li>・トピックス：内閣府特命担当大臣挨拶</li> <li>・トピックス：第1回食品安全担当大臣による表彰制度受賞者決定</li> <li>・リスクコミュニケーション：「精講：食品健康影響評価～加熱時に生じるアクリルアミドを題材にして～」化学物質のリスク評価について、詳しく解説する講座を開催しました</li> <li>・キッズボックス：「ジビエ」ってなに？</li> <li>・寄稿：「化学物質の毒性を見極める総合力」（吉田緑委員）</li> </ul>   |



|        |                         |  |
|--------|-------------------------|--|
| vol.53 | 2018年<br>(平成30年)<br>1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：栄養強化を目的とする食品添加物について健康影響評価のための指針ができました</li> <li>・リスク評価の窓：器具・容器包装専門調査会</li> <li>・トピックス：ワーキンググループ等の体制を拡充しました</li> <li>・リスクコミュニケーション：みんなのための食品安全勉強会</li> <li>・キッズボックス：牛乳の豆知識</li> <li>・寄稿：「牛乳を飲んでいますか？」（山本茂貴委員）</li> </ul>  |
| vol.54 | 2018年<br>(平成30年)<br>3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集：「無菌充填豆腐」を常温保存した場合のリスク評価を行いました—豆腐の規格基準改訂に係る食品健康影響評価について—</li> <li>・リスク評価の窓：汚染物質等専門調査会 六価クロムワーキンググループ</li> <li>・トピックス：鹿慢性消耗性疾患（CWD）のファクトシートを公表しました</li> <li>・トピックス：いわゆる「健康食品」との安全な付き合い方</li> <li>・リスクコミュニケーション：日本毒性病理学会と共催の市民講座「食を考える！」</li> <li>・キッズボックス：山菜について気をつけること</li> <li>・寄稿：「これまで、そしてこれからの情報提供と、質疑応答」（堀口逸子委員）</li> </ul>   |
| vol.55 | 2018年<br>(平成30年)<br>10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び各委員あいさつ</li> <li>・リスク評価について：「無菌充填豆腐」を常温保存した場合、「硫酸アルミニウムアンモニウム、硫酸アルミニウムカリウム」、「フモニシン」のリスク評価を行いました。</li> <li>・ファクトシートについて：カフェイン、鹿慢性消耗性疾患（CWD）、A型肝炎、ポツリヌス症、アニサキス症</li> <li>・主な出来事について：栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針の策定、添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針の策定、化学物質の毒性評価のための（Q）SAR及びReadacrossの利用のとりまとめ、ワーキンググループの立ち上げ—六価クロム・アレルゲンを含む食品・香料—</li> </ul>   |
| vol.56 | 2019年<br>(令和元年)<br>12月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長及び各委員紹介</li> <li>・食品健康影響評価について：「米国、カナダ及びアイルランドから輸入される牛肉及び牛の内臓」、「六価クロム」の食品健康影響評価を行いました。</li> <li>・リスクプロファイルについて：カンピロバクター、ノロウイルス</li> <li>・ファクトシートについて：ウエルシュ菌</li> <li>・主な出来事について：動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針の策定、飼料添加物に関する食品健康影響評価指針の策定、「新たな時代に対応した評価技術の検討～BMD法の更なる活用に向けて」の取りまとめ、インド食品安全基準庁（FSSAI）との協力覚書締結</li> </ul>  |
| vol.57 | 2020年<br>(令和2年)<br>7月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全委員会について</li> <li>・食品健康影響評価の指針について：「残留農薬に関する食品健康影響評価指針」、「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」、「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕」を策定しました。</li> <li>・食品健康影響評価について：「豚コレラ経口生ワクチンを摂取したいのししに由来する食品の安全性」、「かび毒「デオキシニバレノール（DON）」の食品健康影響評価を行いました。「鉛ワーキンググループ」、「菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ」を立ち上げました。</li> <li>・ファクトシートについて：パーフルオロ化合物とは</li> <li>・主な出来事について：英文電子ジャーナル「FoodSafety」のPubMedCentral®（PMC）への収載</li> </ul> |
| vol.58 | 2021年<br>(令和3年)<br>7月   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全委員会について</li> <li>・食品健康影響評価について：アレルゲンを含む食品「卵」のリスク評価を行いました。薬剤耐性菌のリスク評価を推進しています。</li> <li>・食品健康影響評価の指針等について：「残留農薬の食品健康影響評価における毒性試験での有害影響の判断に関する考え方」、「食品健康影響評価において（Q）SARを活用して変異原性を評価する場合の手引き」を策定しました。「食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針」を改訂しました。</li> <li>・ファクトシート：ダイオキシン類、クロロプロパノール類</li> <li>・主な出来事について：報道関係者向けオンラインセミナー</li> </ul>  |

|        |                       |  |
|--------|-----------------------|--|
| vol.59 | 2022年<br>(令和4年)<br>7月 | <ul style="list-style-type: none"><li>・委員長及び各委員紹介</li><li>・巻頭特集「最新の科学的知見をリスク評価に活かす」:添加物・微生物・薬剤耐性菌・農薬に関する指針を改正。農薬の再評価制度と準備。</li><li>・食品健康影響評価:「鉛」、「ぶどう酒の製造に用いる添加物」</li><li>・リスクプロファイル:鶏肉等におけるCampylobacterjejuni/coliの改訂</li><li>・業務紹介:動画コンテンツ、食品安全関係素材集を公開</li></ul> |
|--------|-----------------------|--|

## 8-4 食品安全委員会メールマガジン「食品安全eメールマガジン」会員登録者数



★年度別メールマガジン登録者数

| メールマガジン(登録者数) | 25年度<br>(H26.3末日現在) | 26年度<br>(H27.3末日現在) | 27年度<br>(H28.3末日現在) | 28年度<br>(H29.3末日現在) | 29年度<br>(H30.3末日現在) | 30年度<br>(H31.3末日現在) | 令和元年度<br>(R2.3末日現在) | 令和2年度<br>(R3.3末日現在) | 令和3年度<br>(R4.3末日現在) | 令和4年度<br>(R5.3末日現在) |
|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| eメールマガジン      | 9,757               | 9,837               | 10,129              | 10,050              | 9,957               | 10,055              | 9,873               | 9,692               | 8,575               | 8,365               |
| ウィークリー版       | 190                 | 377                 | 536                 | 673                 | 746                 | 838                 | 868                 | 868                 | -                   | -                   |
| 読み物版          | 190                 | 377                 | 536                 | 673                 | 746                 | 838                 | 868                 | 868                 | -                   | -                   |
| 新着情報          | 1,213               | 1,432               | 1,661               | 1,800               | 1,871               | 1,978               | 2,072               | 2,166               | 2,221               | 2,297               |

※読み物版は令和2年度末で終了。  
 ※新着情報は委員会の開催案内や意見等の募集など当日分の新着情報を自動で配信するものであり、上記グラフには含まれていない。

## 8 - 5 Facebook実績

2014年（平成26年）2月4日～2023年（令和5年）3月31日現在

### 2013年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                | 投稿記事タイトル                                 | 閲覧者数 |
|----------------------|--|------|
| 2014（平成26）年<br>2月4日  | Facebook開設のあいさつ                          | 753  |
| 2014（平成26）年<br>2月5日  | 季刊誌「食品安全第37号」の発行                         | 661  |
| 2014（平成26）年<br>3月11日 | SULAMI（カプセル状のダイエット製品）に関する注意喚起            | 606  |
| 2014（平成26）年<br>3月5日  | 食品のリスクを考えるフォーラム<br>～食品添加物について考えよう！～（福井県） | 542  |
| 2014（平成26）年<br>3月19日 | インターネットで購入したエストロゲン製剤「ESTROMON」により健康被害    | 541  |

### 2014年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                 | 投稿記事タイトル                    | 閲覧者数  |
|-----------------------|-----------------------------|-------|
| 2015（平成27）年<br>2月24日  | 「豚の食肉の生食」の評価結果がまとまりました      | 4,872 |
| 2014（平成26）年<br>9月25日  | 人工甘味料で糖尿病リスク上昇？             | 3,470 |
| 2014（平成26）年<br>10月30日 | 牛乳                          | 3,064 |
| 2014（平成26）年<br>7月14日  | ヒョウタンによる食中毒                 | 2,831 |
| 2015（平成27）年<br>3月6日   | 報道関係者の皆さんと定期的に意見交換会を開催しています | 2,356 |

### 2015年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                 | 投稿記事タイトル                     | 閲覧者数   |
|-----------------------|------------------------------|--------|
| 2015（平成27）年<br>10月27日 | 「redmeat」と加工肉に関するIARCの発表について | 30,153 |
| 2015（平成27）年<br>12月8日  | 「健康食品」についてのメッセージをとりまとめました    | 27,776 |
| 2015（平成27）年<br>9月1日   | かつお節のEUへの輸出が可能に              | 21,361 |
| 2015（平成27）年<br>12月21日 | カフェイン                        | 17,641 |

|                      |         |        |
|----------------------|---------|--------|
| 2015（平成27）年<br>6月18日 | トランス脂肪酸 | 11,432 |
|----------------------|---------|--------|

## 2016年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                 | 投稿記事タイトル  | 閲覧者数   |
|-----------------------|---|--------|
| 2017（平成29）年<br>3月17日  | 1歳未満の乳児に蜂蜜を与えないでください<br>～乳児ボツリヌス症の発生が報告されました～                         | 15,945 |
| 2017（平成29）年<br>3月22日  | カレーの再加熱は十分におこなってください！<br>～東京都、滋賀県等で発生したカレーを原因とするウエルシュ菌<br>による食中毒について～ | 9,703  |
| 2016（平成28）年<br>4月5日   | アクリルアミドの評価結果がまとまりました  | 9,270  |
| 2016（平成28）年<br>4月20日  | カンピロバクターのファクトシートを公表   | 8,785  |
| 2016（平成28）年<br>12月26日 | 野生のクマ肉による集団食中毒が発生しました   | 8,657  |

## 2017年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                | 投稿記事タイトル   | 閲覧者数   |
|----------------------|--|--------|
| 2017（平成29）年<br>9月6日  | 第664回食品安全委員会江崎大臣ご挨拶                                | 17,904 |
| 2017（平成29）年<br>4月10日 | 乳児ボツリヌス症の死亡事案の発生が報告されました～1歳未満<br>の乳児に蜂蜜を与えないでください～ | 15,325 |
| 2017（平成29）年<br>5月11日 | アニサキス症にかからないために                                    | 14,276 |
| 2018（平成30）年<br>3月7日  | 「お母さんになるあなたへ」を更新しました                               | 12,025 |
| 2017（平成29）年<br>8月3日  | 新しい食べ方と食経験   | 11,312 |

## 2018年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                | 投稿記事タイトル  | 閲覧者数  |
|----------------------|---|-------|
| 2018（平成30）年<br>5月17日 | 食品健康影響評価書を引用した週刊誌記事について                             | 7,013 |
| 2018（平成30）年<br>5月31日 | 食品健康影響評価書を引用した週刊誌記事について<br>～結論としての食品健康影響評価をご確認ください～ | 6,103 |
| 2018（平成30）年<br>4月4日  | コーヒーとアクリルアミド  | 5,753 |

|                     |                       |       |
|---------------------|-----------------------|-------|
| 2018（平成30）年<br>9月9日 | 岐阜県岐阜市における豚コレラの発生について | 5,370 |
| 2018（平成30）年<br>6月8日 | 脂質全体で考えましょう～トランス脂肪酸～  | 5,172 |

## 2019年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日                | 投稿記事  | 閲覧者数   |
|----------------------|---|--------|
| 2020（令和2）年<br>3月12日  | 丁寧に手洗いをしましょう  | 10,070 |
| 2019（令和元）年<br>6月7日   | 「天然」「自然」「ナチュラル」を信じすぎていませんか？<br>～いわゆる「健康食品」19のメッセージ～ | 7,835  |
| 2020（令和2）年<br>2月28日  | 「〇〇食品が新型コロナウイルスに効く」などの情報に注意！                        | 7,107  |
| 2019（平成31）年<br>4月23日 | 【食中毒の予防①】海産魚介類のアニサキス（寄生虫）                           | 6,684  |
| 2019（令和元）年<br>7月10日  | 家庭や学校で栽培したジャガイモによる食中毒に注意！                           | 6,537  |

## 2020年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日               | 投稿記事                            | 閲覧者数   |
|---------------------|---------------------------------|--------|
| 2020（令和2）年<br>8月14日 | 食中毒予防のための下ごしらえ③<br>食肉は洗わない      | 13,163 |
| 2020（令和2）年<br>5月14日 | 気温上昇。宅配およびテイクアウト利用時の「食中毒予防」     | 10,679 |
| 2020（令和2）年<br>7月6日  | 知って防ごう！カンピロバクター食中毒<br>（第4回：予防法） | 6,837  |
| 2020（令和2）年<br>5月8日  | 「作る方・買う方へ テイクアウト食品による食中毒予防のために」 | 6,673  |
| 2020（令和2）年<br>7月3日  | 「病原大腸菌による集団食中毒が発生しました」          | 6,671  |

## 2021年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日               | 投稿記事                                       | 閲覧者数   |
|---------------------|--|--------|
| 2021（令和3）年<br>9月1日  | 鶏肉は十分加熱して食べましょう！                           | 58,192 |
| 2021（令和3）年<br>7月15日 | 「食中毒予防と加熱調理」の動画を公開しました                     | 7,865  |
| 2021（令和3）年<br>6月7日  | 今日は世界食品安全の日です①<br>～動画「食品安全はみんなの仕事」を公開しました～ | 7,647  |

|                     |                                    |       |
|---------------------|------------------------------------|-------|
| 2022（令和4）年<br>1月14日 | 農薬のセミナーでの質疑について浅野委員が解説するページを公開しました | 7,069 |
| 2022（令和4）年<br>3月10日 | 災害と食中毒 ～東日本大震災から11年～               | 4,487 |

## 2022年度閲覧者数トップ5

| 投稿年月日               | 投稿記事                                | 閲覧者数   |
|---------------------|-------------------------------------|--------|
| 2022（令和4）年<br>5月10日 | ホタルイカの生食は危険です！                      | 87,093 |
| 2022（令和4）年<br>7月5日  | 鶏肉は十分加熱して食べましょう！                    | 85,372 |
| 2022（令和4）年<br>7月6日  | ジビエは必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！         | 71,864 |
| 2023（令和5）年<br>3月9日  | ジビエ（野生鳥獣の肉）は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！ | 49,944 |
| 2022（令和4）年<br>4月22日 | 食品健康影響評価事業等功労者の大臣表彰が行われました          | 34,720 |

## 8 - 6 YouTube実績一覧

2017年（平成29年）11月22日～2023年（令和5年）3月31日現在

| 公開年月日                 | タイトル                                   |
|-----------------------|--|
| 2017（平成29）年<br>11月22日 | アクリルアミド＜1＞（精講 20170731）                |
|                       | アクリルアミド＜2＞（精講 20170731）                |
|                       | アクリルアミド＜3＞（精講 20170731）                |
| 2018（平成30）年<br>2月6日   | 食べ物と食品安全（みんなのための食品安全勉強会 20171207）      |
|                       | カフェインの安全性＜前半＞（みんなのための食品安全勉強会 20171207） |
|                       | カフェインの安全性＜後半＞（みんなのための食品安全勉強会 20171207） |
| 2019（平成31）年<br>1月21日  | 鶏肉等におけるカンピロバクター（精講 20181122）           |
| 2019（平成31）年<br>1月21日  | 知って防ごう食中毒<br>（みんなのための食品安全勉強会 20181010） |
| 2019（平成31）年<br>1月24日  | 食べものと微生物<br>（みんなのための食品安全勉強会 20181010）  |
| 2019（令和元）年<br>10月11日  | 精講「カンピロバクター 1」                         |
|                       | 精講「カンピロバクター 2」                         |
| 2020（令和2）年<br>3月31日   | 精講 食品健康影響評価のためのリスクプロファイル<br>＜ノロウイルス＞   |
| 2020（令和2）年<br>5月18日   | 食品安全の基礎知識～微生物を中心に～                     |
| 2020（令和2）年<br>6月23日   | キッズボックス「食べ物の安全は量の問題」                   |
| 2020（令和2）年<br>6月24日   | キッズボックス「毒がある身近な植物」                     |
|                       | キッズボックス「食べ物の安全を守るために」                  |
| 2020（令和2）年<br>10月30日  | 令和2年度【精講：ノロウイルス（基礎知識編）】                |
|                       | 令和2年度【精講：ノロウイルス（予防編）】                  |
|                       | 令和2年度【精講：ノロウイルス（事例編）】                  |
| 2020（令和2）年<br>11月10日  | 食品をより安全にするための5つの鍵                      |



|                      |  |
|----------------------|--|
| 2021（令和3）年<br>4月7日   | いわゆる「健康食品」について<br>安全な選択をするために～19のメッセージ～ 動画紹介                             |
|                      | いわゆる「健康食品」について<br>安全な選択をするために～19のメッセージ～ ①<br>食品としての安全性について               |
|                      | いわゆる「健康食品」について<br>安全な選択をするために～19のメッセージ～ ②<br>「健康食品」としての安全性について           |
|                      | いわゆる「健康食品」について<br>安全な選択をするために～19のメッセージ～ ③<br>「健康食品」を摂る人と摂る目的について         |
|                      | いわゆる「健康食品」について<br>安全な選択をするために～19のメッセージ～ ④<br>「健康食品」の情報について&「健康食品」の摂取について |
| 2021（令和3）年<br>6月7日   | 食品安全はみんなの仕事  |
|                      | Safe food now for a healthy tomorrow (English-subtitled)                 |
| 2021（令和3）年<br>7月15日  | 食中毒予防と加熱調理（鶏肉編）  |
|                      | 食中毒予防と加熱調理（ひき肉編）   |
| 2021（令和3）年<br>10月7日  | 鶏肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」  |
| 2021（令和3）年<br>11月16日 | 豚肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」  |
| 2021（令和3）年<br>12月13日 | 牛肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」  |
| 2022（令和4）年<br>3月25日  | 加熱と調理「鶏の唐揚げ編」  |
| 2022（令和4）年<br>4月6日   | 令和3年度【精講：食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう（前編）】                           |
|                      | 令和3年度【精講：食中毒を起こす微生物の性質と牛肉を安全に調理するポイントを知ろう（後編）】                           |
| 2022（令和4）年<br>4月15日  | 加熱と調理「トンカツ編」   |
| 2022（令和4）年<br>4月27日  | 加熱と調理「ハンバーグ編」  |
| 2022（令和4）年<br>5月24日  | 2022年世界食品安全の日に向けて「より安全な食品で、より良く健康に」                                      |
| 2022（令和4）年<br>6月30日  | 農薬の安全の確保について   |
| 2022（令和4）年<br>7月14日  | 食べ物の基礎知識～食品の安全と消費者の信頼をつなぐもの～（20130724）                                   |
| 2022（令和4）年<br>7月21日  | 食品のリスクマネジメント@キッチン（20140129）  |

|                      |   |
|----------------------|---|
| 2022（令和4）年<br>7月28日  | 相手を知ってやっつけよう～主な細菌性食中毒の特徴と対策～（20140703）                |
| 2022（令和4）年<br>7月29日  | 子ども霞が関見学デー 2022 山本委員長ごあいさつ                            |
| 2022（令和4）年<br>8月4日   | 誰もが食べている化学物質<br>～食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性～（20140731）         |
| 2022（令和4）年<br>8月1日   | 冷蔵庫に入れれば大丈夫？～食品の保存を理解する～（20140904）                    |
| 2022（令和4）年<br>8月25日  | カフェインは危ない？～コーヒーを科学する～（20141002）                       |
| 2022（令和4）年<br>9月1日   | 動物の健康はヒトの健康～動物用医薬品を知る～（20141106）                      |
| 2022（令和4）年<br>9月8日   | 食べたものはどこに行く？過剰摂取のリスク～脂質の例～（20130925）                  |
| 2022（令和4）年<br>9月15日  | 私達のからだの代謝（体内分解）機能～添加物を例に～（20141204）                   |
| 2022（令和4）年<br>11月15日 | 食品添加物のリスク評価をアップデート<br>－評価指針を改訂、ワイン添加物も続々評価－（20220825） |
| 2023（令和5）年<br>2月13日  | 食品に生える「かび」の基礎知識と「かび毒」のリスク評価                           |
| 2023（令和5）年<br>3月14日  | 気をつけたい妊娠中の食事(1)<br>生ハム、加熱していないナチュラルチーズなど              |
| 2023（令和5）年<br>3月27日  | 気をつけたい妊娠中の食事(2)<br>加熱不十分な肉〔寄生虫（トキソプラズマ）〕              |
| 2023（令和5）年<br>3月29日  | 食品安全セミナー<br>「健康食品による健康被害を未然に防ぐために」                    |

## 8 - 7 Twitter実績

2021年（令和3年）10月4日～2023年（令和5年）3月31日現在

## インプレッション数トップ10

| 投稿年月日           | 記事内容  | インプレッション数 |
|-----------------|---|-----------|
| 2022（令和4）年7月5日  | 加熱不足の鶏肉は危険です！ #カンピロバクター による #食中毒 は激しい下痢の他、ギラン・バレー症候群による後遺症の危険も。見た目生っぽいのはもちろんダメ。肉の色が変わっていても加熱不足の場合があります。中心温度75℃以上1分以上と同等の条件で加熱しましょう！<br><a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12751846887.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12751846887.html</a><br><a href="https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/shokuhniku_teionchouri.html">https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/shokuhniku_teionchouri.html</a><br><a href="https://www.youtube.com/watch?v=C8KgqeelrxY">https://www.youtube.com/watch?v=C8KgqeelrxY</a><br><a href="https://www.youtube.com/watch?v=ECeJwFU2Vg">https://www.youtube.com/watch?v=ECeJwFU2Vg</a> | 225,262   |
| 2023（令和5）年3月9日  | カモや #カラス、シカやイノシシなど #ジビエ（野生鳥獣の肉）を生で食べると、#E型肝炎 や腸管出血性大腸菌 #O157 感染症、また寄生虫による感染症などを起こし、死亡する可能性もあります。食べる際は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！<br><a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12792904799.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12792904799.html</a>   | 171,319   |
| 2022（令和4）年5月10日 | "#ホタルイカの生食は危険です！ #寄生虫 による #食中毒 で、皮下に寄生虫の幼虫が潜り込むことによるミミズ腫れや、腹痛の症状を起こす場合も。<br>ホタルイカは正しい加熱処理や凍結処理がされたものを食べましょう！ → <a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12741986138.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12741986138.html</a>  | 100,292   |
| 2022（令和4）年7月6日  | 野生のシカやイノシシなど #ジビエ の生食は、#E型肝炎 や腸管出血性大腸菌 #O157 感染症、また寄生虫による感染症などを起こし、死亡する可能性もあります。食べる際は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！ <a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12741986138.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12741986138.html</a>  | 78,824    |
| 2022（令和4）年5月25日 | 6月7日は世界食品安全の日。食品安全への認識を高めるために制定されています。<br>食品安全にはどんな人がどのように関わっているのかを皆で共有するために、共通のハッシュタグをつけてご自身の活動をつぶやき、RTしましょう。<br>#世界食品安全の日<br>#WorldFoodSafetyDay<br><a href="https://www.youtube.com/watch?v=t9dQVO4WvVE">https://www.youtube.com/watch?v=t9dQVO4WvVE</a>   | 59,269    |
| 2022（令和4）年9月16日 | #腸管出血性大腸菌 #O157 の食中毒による死亡事故が報告されています。生とレアは違います。牛肉も必ず中心部まで火を通して食べてください。<br><a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12751846887.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12751846887.html</a>   | 50,906    |

|                     |   |        |
|---------------------|---|--------|
| 2022（令和4）<br>年2月4日  | 「#牛肉 は表面にしか菌がないはずなのに、なぜ中心部まで加熱しなければならぬのか」など、主に牛肉の調理の疑問について、専門家が詳しく解説するセミナーを3/3(木)15:00~開催します。参加締め切りは2/14(月)14:00。お早めどうぞ。詳細は→<br><a href="https://www.fsc.go.jp/koukan/osirase/annai040303.html">https://www.fsc.go.jp/koukan/osirase/annai040303.html</a><br>#O157 #食中毒 | 50,483 |
| 2021（令和3）<br>年10月4日 | こんにちは。内閣府食品安全委員会事務局広報担当です。遅ればせながらtwitterアカウントを作成しました。#食品安全委員会 に関する情報を発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。   | 46,153 |
| 2022（令和4）<br>年7月22日 | 暑いときにはさっぱりとした #TKG（#卵かけごはん）が食べたくなりますよね♪でも、卵を生で食べる際には、#食中毒 を防ぐため、買ってから食べるまで色々な注意が必要です。安全に美味しく食べて、元気に夏を乗り切りましょう！詳しくは→ <a href="http://fsc.go.jp/kids-box/">http://fsc.go.jp/kids-box/</a>   | 45,775 |
| 2022（令和4）<br>年8月15日 | 暑い時に増殖しやすい #黄色ブドウ球菌 による #食中毒 に注意！この食中毒は、食べる時に加熱しても防げません。手を清潔に、#おにぎり はラップで包むかビニール手袋を。作った料理はすぐに食べ、保存するなら10℃以下で。屋外ではクーラーバッグに入れましょう！ <a href="https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12758902327.html">https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12758902327.html</a>            | 37,905 |

## 8-8 食品安全モニター会議の開催状況

| 年度                 | 開催状況等   | 日時       | 開催地     | 対象地域と出席人数                               |
|--------------------|---|----------|---------|---|
| 2013年度<br>(平成25年度) | 平成25年5月及び6月に全国6都市において計9回実施し、合計293名の食品安全モニターが参加した。 | 5月28日(火) | 東京(東京1) | 北海道、茨城県、群馬県、千葉県、山梨県、長野県、栃木県 44人         |
|                    |   | 5月29日(水) | 東京(東京2) | 埼玉県、神奈川県 48人                            |
|                    |   | 5月30日(木) | 東京(東京3) | 東京都、新潟県 44人                             |
|                    |   | 6月12日(水) | 名古屋     | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 21人                     |
|                    |   | 6月13日(木) | 大阪(大阪1) | 富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県 34人        |
|                    |   | 6月14日(金) | 大阪(大阪2) | 富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県 35人        |
|                    |   | 6月20日(木) | 岡山      | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 27人             |
|                    |   | 6月21日(金) | 福岡      | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 23人             |
|                    |   | 6月27日(木) | 仙台      | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 17人             |
| 2014年度<br>(平成26年度) | 平成26年5月及び6月に全国6都市において計9回実施し、合計335名の食品安全モニターが参加した。 | 5月28日(水) | 東京(東京1) | 東京都 44名                                 |
|                    |   | 5月29日(木) | 東京(東京2) | 北海道、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県 39名                |
|                    |   | 5月30日(金) | 東京(東京3) | 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県 54名                 |
|                    |   | 6月11日(水) | 名古屋     | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 33名                     |
|                    |   | 6月12日(木) | 大阪(大阪1) | 富山県、石川県、福井県、滋賀県、兵庫県、和歌山県 42名            |
|                    |   | 6月13日(金) | 大阪(大阪2) | 大阪府、京都府、奈良県 39名                         |
|                    |   | 6月19日(木) | 岡山      | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 33名 |
|                    |   | 6月20日(金) | 福岡      | 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 29名    |
|                    |   | 6月27日(金) | 仙台      | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 22名             |
| 2015年度<br>(平成27年度) | 平成27年5月及び6月に全国9都市において計9回実施し、合計305名の食品安全モニターが参加した。 | 5月20日(水) | 東京      | 東京都、千葉県、茨城県、山梨県 43名                     |
|                    |   | 5月22日(金) | 横浜      | 神奈川県、東京都、北海道 34名                        |
|                    |   | 6月5日(金)  | 熊本      | 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 28名    |

|                    |   |           |             |  |
|--------------------|---|-----------|-------------|--|
|                    |   | 6月10日（水）  | 岡山          | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 28名                  |
|                    |   | 6月11日（木）  | 神戸          | 兵庫県 27名  |
|                    |   | 6月12日（金）  | 名古屋         | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 28名                                      |
|                    |   | 6月17日（水）  | 大宮          | 栃木県、群馬県、埼玉県、長野県、新潟県、富山県、石川県 44名                          |
|                    |   | 6月22日（月）  | 大阪          | 福井県、滋賀県、大阪府、京都府、奈良県、和歌山県 43名                             |
|                    |   | 6月26日（金）  | 仙台          | 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 30名                          |
| 2016年度<br>(平成28年度) | 平成28年5月及び6月に全国9都市において計9回実施し、合計304名の食品安全モニターが参加した。     | 5月26日（木）  | 東京          | 新潟県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、埼玉県、千葉県、東京都 66名                      |
|                    |   | 6月2日（木）   | 札幌          | 北海道 12名  |
|                    |   | 6月3日（金）   | 仙台          | 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 19名                              |
|                    |   | 6月16日（木）  | 広島          | 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 27名                  |
|                    |   | 6月17日（金）  | 福岡          | 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 29名                     |
|                    |   | 6月23日（木）  | 大阪          | 大阪府、和歌山県、奈良県 36名   |
|                    |   | 6月24日（金）  | 京都          | 京都府、富山県、石川県、福井県、滋賀県、兵庫県 36名                              |
|                    |   | 6月29日（水）  | 横浜          | 東京都、神奈川県 52名   |
|                    |   | 6月30日（木）  | 名古屋         | 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県 27名                                      |
| 2017年度<br>(平成29年度) | 平成29年6月及び9月、10月に全国3都市において計5回実施し、合計137名の食品安全モニターが参加した。 | 6月1日（木）   | 東京<br>(東京1) | 北海道、秋田県、山形県、千葉県、神奈川県、新潟県、長野県、静岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県 32名        |
|                    |   | 6月16日（金）  | 大阪<br>(大阪1) | 富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、広島県、山口県、徳島県、佐賀県 25名 |
|                    |   | 9月28日（木）  | 東京<br>(東京2) | 北海道、秋田県、山形県、千葉県、神奈川県、新潟県、長野県、静岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県 46名        |
|                    |   | 10月4日（水）  | 大阪<br>(大阪2) | 富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、広島県、山口県、徳島県、佐賀県 30名 |
|                    |   | 10月12日（木） | 沖縄県         | 沖縄県 4名   |

2018年度（平成30年度）以降は、会議に代わり、食品安全モニターに対するeラーニングやwebセミナーを実施した。

## 9 国際会議等対応実績一覧

### 2013年度（平成25年度）

| 月日         | 会議名（開催場所）                                | 対応          |
|------------|--|-------------|
| 4月13日～21日  | 第28回OECD農薬作業部会（フランス）                     | 事務局         |
| 5月4日～12日   | 第45回コーデックス残留農薬部会（中国）                     | 事務局         |
| 5月25日～31日  | プリオン2013（カナダ）                            | 専門委員、事務局    |
| 6月3日～14日   | 第77回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）     | 専門委員        |
| 8月23日～9月1日 | 第21回コーデックス残留動物用医薬品部会（米国）                 | 事務局         |
| 8月30日～9月6日 | EUROTOX2013（スイス）                         | 委員          |
| 9月16日～27日  | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）（スイス）            | 専門委員        |
| 10月5日～13日  | OECD農薬作業部会農薬登録ステアリング会議（フランス）             | 事務局         |
| 11月5日～14日  | 第78回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（スイス）      | 専門委員        |
| 11月2日～8日   | 米国毒性学専門家協会（米国）                           | 事務局         |
| 11月11日～15日 | 第45回コーデックス食品衛生部会（ベトナム）                   | 事務局         |
| 11月12日～16日 | フレゼニウス国際学会（ドイツ）                          | 事務局         |
| 3月20日～22日  | CDC（米国疾病管理予防センター）との食品安全に関する意見交換・情報収集（米国） | 委員          |
| 3月23日～27日  | 米国毒性学会（米国）                               | 委員、専門委員、事務局 |
| 3月30日～4月5日 | 第29回OECD農薬作業部会（フランス）                     | 事務局         |
| 3月31日～4月4日 | 第8回コーデックス食品汚染物質部会（オランダ）                  | 事務局         |

### 2014年度（平成26年度）

| 月日           | 会議名（開催場所）                           | 対応       |
|--------------|-------------------------------------|----------|
| 5月4日～11日     | 第46回コーデックス残留農薬部会（中国）                | 事務局      |
| 5月20日～22日    | 国際かび毒学会（中国）                         | 事務局      |
| 5月26日～6月1日   | プリオン2014（イタリア）                      | 専門委員、事務局 |
| 6月16日～27日    | 第79回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（スイス） | 専門委員     |
| 7月5日～7日      | APPS2014（アジア太平洋プリオン研究会）（韓国）         | 事務局      |
| 8月4日～6日      | 動物用医薬品残留基準検討会（台湾）                   | 事務局      |
| 8月24日～31日    | 米国バイオ規制視察（米国）                       | 事務局      |
| 9月6日～11日     | EUROTOX 2014（英国）                    | 事務局      |
| 9月14日～26日    | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）（イタリア）      | 専門委員     |
| 10月25日～11月1日 | PPTOX IV（米国）                        | 委員       |
| 11月15日～23日   | 第46回コーデックス食品衛生部会（ペルー）               | 事務局      |
| 11月30日～12月6日 | EFSA/WHO TTCステークホルダー会合及び専門家会合（ベルギー） | 専門委員     |
| 12月7日～14日    | OECD農薬作業部会農薬登録ステアリング会議（フランス）        | 事務局      |
| 3月1日～5日      | 薬剤耐性菌のリスク評価に関する米国FDAとの意見交換（米国）      | 専門委員、事務局 |
| 3月15日～21日    | 第9回コーデックス食品汚染物質部会（インド）              | 事務局      |

|            |                                       |        |
|------------|---------------------------------------|--------|
| 3月21日～28日  | 米国毒性学会（米国）                            | 委員、事務局 |
| 3月22日～28日  | 第47回コーデックス食品添加物部会（中国）                 | 事務局    |
| 3月27日～4月3日 | Experimental Biology Meeting 2015（米国） | 委員、事務局 |

## 2015年度（平成27年度）

| 月日           | 会議名（開催場所）   | 対応       |
|--------------|---|----------|
| 4月17日～24日    | 米国がん学会（米国）  | 委員       |
| 5月19日～24日    | フランス食品環境労働衛生安全庁（ANSES）との意見交換（フランス）                              | 事務局      |
| 5月18日～23日    | OECD農薬作業部会等（フランス）   | 事務局      |
| 5月25日～6月1日   | プリオン2015（米国）  | 専門委員     |
| 6月1日～6日      | MRL設定に関するワークショップ（米国）  | 事務局      |
| 6月14日～26日    | 第80回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）                            | 専門委員     |
| 6月14日～19日    | 第12回地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会議（韓国）                                  | 委員       |
| 8月31日～9月9日   | 養鶏農場における微生物学的管理の視察等（デンマーク・オランダ）                                 | 委員、事務局   |
| 9月12日～16日    | EUROTOX 2015（ポルトガル）   | 委員、事務局   |
| 9月13日～26日    | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）（スイス）                                   | 委員、専門委員  |
| 9月17日～19日    | ポルトガル経済食品安全庁（ASAE）との意見交換（ポルトガル）                                 | 委員、事務局   |
| 10月12日～16日   | リスクコミュニケーションに関するラウンドテーブル（イタリア）                                  | 事務局      |
| 10月13日～19日   | EFSA主催の科学会議” Shaping the Future of Food Safety, Together”（イタリア） | 委員、事務局   |
| 11月16日～28日   | 第81回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）                            | 専門委員、事務局 |
| 11月28日～12月5日 | OECD 農薬作業部会登録ステアリンググループ及びリスク削減ステアリンググループ並びに関連会合（豪州）             | 事務局      |
| 1月16日～23日    | ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）との意見交換欧州食品安全機関（EFSA）との第4回定期会合（ドイツ及びイタリア）      | 委員、事務局   |
| 2月22日～26日    | EFSA・英国食品基準庁（FSA）主催食品媒介ウイルスに関するワークショップ（英国）                      | 事務局      |
| 3月9日～20日     | 米国食品医薬品庁（FDA）国立毒性研究センター（NCTR）及び米国環境健康科学研究所（NIEHS）との意見交換         | 委員、事務局   |
| 3月13日～17日    | 米国毒性学会（米国）  | 委員、事務局   |
| 3月21日～30日    | 新しいリスク評価手法に関する意見交換（ハーバード大学）（米国）                                 | 事務局      |

## 2016年度（平成28年度）

| 月日         | 会議名（開催場所）                           | 対応   |
|------------|-------------------------------------|------|
| 4月24日～29日  | 第48回コーデックス残留農薬部会（中国）                | 事務局  |
| 5月8日～15日   | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）不定期会合（スイス）  | 委員   |
| 6月5日～17日   | 第82回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（スイス） | 専門委員 |
| 6月28日～7月3日 | OECD農薬作業部会（フランス）                    | 事務局  |
| 8月21日～28日  | 米国バイオ規制視察（米国）                       | 事務局  |



|            |  |             |
|------------|--|-------------|
| 8月29日～31日  | 台湾食品安全サミット（台湾）   | 事務局         |
| 9月2日～7日    | EUROTOX 2016（スペイン）   | 事務局         |
| 9月11日～26日  | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPP）（イタリア）                                       | 委員、事務局      |
| 9月22日～26日  | European Society of Toxicologic Pathologyワークショップ（スペイン）               | 委員          |
| 10月23日～28日 | トキシコロジー・フォーラム主催ワークショップ（米国）   | 専門委員        |
| 11月1日～8日   | ポルトガル経済食品安全庁（ASAE）主催フォーラム及びフランス食品環境労働衛生安全庁（ANSES）との意見交換（ポルトガル及びフランス） | 委員、事務局      |
| 11月6日～19日  | 第83回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）                                 | 専門委員        |
| 12月11日～14日 | 香港漁農自然護理署検査検疫部及び香港食物環境衛生署食品安全センターとの意見交換（香港特別行政区）                     | 委員、事務局      |
| 2月4日～3月13日 | 世界保健機関（WHO）への短期派遣（スイス）   | 事務局         |
| 2月6日～16日   | 欧州食品安全機関（EFSA）との意見交換（イタリア）   | 専門委員、事務局    |
| 2月28日～3月4日 | EFSA主催ベンチマークドーズ法ワークショップ（ベルギー）  | 専門委員、事務局    |
| 3月12日～18日  | 米国毒性学会（米国）   | 委員、専門委員、事務局 |
| 3月16日～19日  | 米国食品医薬品庁（FDA）食品安全・応用栄養センター（CFSAN）との意見交換（米国）                          | 事務局         |
| 3月25日～29日  | アイルランド食品安全庁及び英国食品安全庁との意見交換（アイルランド及び英国）                               | 事務局         |
| 3月31日～4月4日 | 内分泌学会2017年学術年会（米国）   | 委員          |

## 2017年度（平成29年度）

| 月日         | 会議名（開催場所）  |          |
|------------|--|----------|
| 5月14日～19日  | UJNRシンポジウム（米国）   | 委員       |
| 5月21日～24日  | The 2nd Food Allergen Management Symposium 2017 (FAMS2017)（豪州） | 事務局      |
| 5月22日～28日  | Prion 2017（英国）   | 専門委員、事務局 |
| 6月4日～16日   | 第84回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）                           | 専門委員     |
| 6月28日～7月1日 | OECD農薬作業部会（フランス）   | 事務局      |
| 7月2日～16日   | ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR）主催サマーアカデミー（ドイツ）                              | 事務局      |
| 7月16日～24日  | ICMGP 2017（米国）   | 委員       |
| 8月27日～9月3日 | 米国バイオ規制視察（米国）  | 事務局      |
| 9月10日～14日  | デンマーク獣医食品局（DVFA）及びデンマーク工科大学（DTU）国立食品研究所との意見交換（デンマーク）           | 事務局      |
| 9月12日～21日  | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPP）（スイス）                                  | 委員、専門委員  |
| 9月15日～22日  | レギュラトリーサイエンスに関する国際会合（GCRS）2017（ブラジル）                           | 事務局      |
| 9月24日～28日  | ISSX North American（米国）  | 委員       |
| 10月17日～26日 | 第85回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（スイス）                            | 専門委員     |
| 10月31日     | 「リスクコミュニケーションに関する国際リエゾングループ」第一回会合（中国）                          | 事務局      |

|              |   |        |
|--------------|---|--------|
| 10月31日～11月2日 | 第11回China International Food Safety & Quality Conference (CIFSQ) (中国)   | 委員、事務局 |
| 12月6日～10日    | 欧州委員会主催食品添加物に関する説明会及び情報収集 (ベルギー、スイス)                                    | 事務局    |
| 1月14日～18日    | 欧州医薬品庁 (EMA)、英国食品安全基準庁 (FSA) 及びデンマーク工科大学 (DTU) 国立食品研究所との意見交換 (英国、デンマーク) | 事務局    |
| 2月21日～25日    | 欧州食品安全機関 (EFSA) との意見交換 (イタリア)   | 委員、事務局 |
| 3月11日～17日    | 米国毒性学会 (米国)   | 委員、事務局 |
| 3月12日        | 米国環境保護庁 (EPA) との意見交換 (米国)   | 事務局    |
| 3月19日～23日    | 米国食品安全基準庁国立毒性研究センター (NCTR/FDA) 及び食品安全・応用栄養センター (CFSSAN/FDA) との意見交換 (米国) | 事務局    |

## 2018年度 (平成30年度)

| 月日         | 会議名 (開催場所)   | 対応       |
|------------|--|----------|
| 5月3日～5日    | ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) 所長との意見交換及び施設の視察 (ドイツ)                                      | 大臣、事務局   |
| 5月8日～9日    | 米国食品医薬品庁食品安全・応用栄養センター (CFSSAN/FDA) との意見交換 (米国)                                 | 事務局      |
| 5月10日～13日  | Global Food Contact 2018 USA (米国)  | 事務局      |
| 5月15日～20日  | 6th ESTP International Expert Workshop (ドイツ)                                   | 委員、事務局   |
| 5月18日      | BfR農薬安全部部長らとの意見交換 (ドイツ)  | 委員、事務局   |
| 5月21日～26日  | Prion 2018 (スペイン)  | 委員、事務局   |
| 5月26日～6月1日 | PPTox VI Conference (フェロー諸島)   | 委員       |
| 6月10日～23日  | 第86回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議 (JECFA) (スイス)  | 専門委員     |
| 6月20日～24日  | OECD農薬作業部会 (フランス)  | 事務局      |
| 6月25日～30日  | OECD新規食品・飼料作業部会・ゲノム編集カンファレンス (フランス)  | 専門委員、事務局 |
| 8月26日～9月2日 | 米国バイオテクノロジー視察 (米国)   | 事務局      |
| 9月15日～29日  | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議 (JMPR) (ドイツ)  | 委員、専門委員  |
| 9月17日、18日  | 「食品中の化学物質のリスク評価手法に関する国際リエゾングループ」第1回会合、「リスクコミュニケーションに関する国際リエゾングループ」第2回会合 (イタリア) | 委員、事務局   |
| 9月18日～20日  | 第3回EFSA科学会議 (イタリア)   | 委員長、事務局  |
| 9月21日      | 欧州食品安全機関 (EFSA) との第6回定期会合 (イタリア)   | 委員長、事務局  |
| 9月25日～28日  | レギュラトリーサイエンスに関する国際会合 (GSRS) 2018 (中国)  | 委員、事務局   |
| 10月10日～12日 | 2018食品安全政策及び科学技術国際シンポジウム (台湾)  | 事務局      |
| 1月16日～19日  | マレーシア保健省食品安全品質管理部並びにタイ保健省食品医薬品局及び農業・協同組合省農産品・食品基準局との意見交換 (マレーシア、タイ)            | 事務局      |
| 1月25日～26日  | 韓国食品医薬品安全評価院との意見交換 (韓国)  | 事務局      |
| 2月17日～21日  | 豪州・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ) との第3回定期会合 (豪州)                                       | 事務局      |
| 2月21日～27日  | American Academy of Allergy, Asthma and Immunology総会 (米国)                      | 事務局      |

|           |  |        |
|-----------|--|--------|
| 3月9日～16日  | 米国毒性学会（米国）                                 | 委員、事務局 |
| 3月10日～14日 | 米国食品医薬品庁獣医センター（CVM/FDA）薬剤耐性菌担当者らとの意見交換（米国） | 事務局    |

## 2019年度（平成31年度・令和元年度）

| 月日         | 会議名（開催場所）                                      | 対応       |
|------------|--|----------|
| 4月27日～5月5日 | 第13回コーデックス汚染物質部会（CCCF）及び化学物質リエゾングループ会合（インドネシア） | 事務局      |
| 5月7日～17日   | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）2019追加会合（カナダ）          | 委員       |
| 5月7日～17日   | Prion 2019（カナダ）                                | 事務局      |
| 6月4日～13日   | 第87回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（イタリア）           | 専門委員     |
| 6月9日～14日   | 第5回環境分野における薬剤耐性に関する国際シンポジウム（香港）                | 事務局      |
| 6月11日～13日  | 欧州食品安全機関（EFSA）主催リスクベネフィットに関するパルマサマースクール（イタリア）  | 事務局      |
| 6月27日～28日  | OECD農薬作業部会（フランス）                               | 事務局      |
| 7月21日～24日  | 2019食品安全に関する国際食品保全学会（IAFP）年次会合（米国）             | 委員、事務局   |
| 8月18日～25日  | 米国バイオテクノロジー視察（米国）                              | 事務局      |
| 8月26日～29日  | 中国バイオテクノロジー学会主催遺伝子組換えに関する会議（中国）                | 事務局      |
| 9月8日～13日   | 地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会議（ICMGP）（ポーランド）           | 委員       |
| 9月8日～11日   | Eurotox 2019（フィンランド）                           | 事務局      |
| 9月17日～26日  | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（JMPR）（スイス）                  | 委員、専門委員  |
| 9月24日～26日  | レギュラトリーサイエンスに関する国際会合（GSRS）2020（イタリア）           | 委員、事務局   |
| 10月10日～13日 | 第22回動物実験代替法欧州会議兼第16回欧州動物実験代替法学会年次大会（オーストリア）    | 委員       |
| 12月8日～12日  | 米国リスクアナリシス学会（米国）                               | 事務局      |
| 12月9日～13日  | 第7回コーデックス薬剤耐性菌に関するタスクフォースセッション（韓国）             | 事務局      |
| 1月19日～20日  | 第1回食品安全機関ヘッドフォーラム（サウジアラビア）                     | 委員、事務局   |
| 2月18日～21日  | ベルリンワークショップ（ドイツ）                               | 専門委員、事務局 |

## 2020年度（令和2年度）

| 月日         | 会議名（開催場所・開催方法）                      | 対応     |
|------------|-------------------------------------|--------|
| 6月2日～11日   | 第89回FAO/WHO合同食品添加物専門家会議（JECFA）（ウェブ） | 専門委員   |
| 6月11日～12日  | OECD農薬作業部会（ウェブ）                     | 事務局    |
| 9月28日～30日  | レギュラトリーサイエンスに関する国際会議（GSRS）2020（ウェブ） | 委員、事務局 |
| 10月26日～28日 | 2020国際食品保全学会（IAFP）（ウェブ）             | 委員、事務局 |
| 3月1日       | 第2回食品安全機関ヘッドフォーラム（ウェブ）              | 委員、事務局 |
| 3月12日～26日  | 米国毒性学会（ウェブ）                         | 事務局    |

## 2021年度（令和3年度）

| 月日               | 会議名（開催場所・開催方法）                             | 対応     |
|------------------|--|--------|
| 5月12日～21日        | FAO/WHO合同残留農薬専門家会議（Extra JMPR）（ウェブ）        | 委員     |
| 6月15日～16日        | アレルギー性評価に関する欧州食品安全機関（EFSA）GMOワークショップ（ウェブ）  | 専門委員   |
| 7月1日～2日          | OECD農薬作業部会（ウェブ）                            | 事務局    |
| 7月12日～16日        | 第25回コーデックス食品残留動物用医薬品部（ウェブ）                 | 事務局    |
| 7月19日～22日        | 2021食品安全に関する国際食品保全学会（IAFP）（ウェブ）            | 委員     |
| 8月23日～9月2日       | 第11回生命科学における動物実験代替法に関する国際会議（ウェブ）           | 委員     |
| 9月1日～10日         | 第52回コーデックス食品添加物部会（ウェブ）                     | 事務局    |
| 9月27日～10月7日      | 第46回コーデックス食品表示部（ウェブ）                       | 事務局    |
| 10月4日～5日         | レギュラトリーサイエンスに関する国際会議（GSRS21）（ウェブ）          | 委員、事務局 |
| 10月4日～9日、13日、16日 | 第8回コーデックス薬剤耐性に関する特別部会（ウェブ）                 | 事務局    |
| 10月18日～20日       | EFSA複合ばく露のリスク評価に関するオンライン国際ワークショップ（ウェブ）     | 事務局    |
| 11月15日～17日       | ドイツ連邦リスク評価機関（BfR）シンポジウム（毒性学に関する評価技術等）（ウェブ） | 委員     |
| 2月28日～3月9日       | 第52回コーデックス食品衛生部会（ウェブ）                      | 事務局    |
| 3月21日            | 第2回食品安全機関ヘッドフォーラム（ウェブ）                     | 委員、事務局 |

## 2022年度（令和4年度）

| 月日          | 会議名（開催場所・開催方法）                                   | 対応     |
|-------------|--|--------|
| 6月15日～17日   | OECD農薬作業部会（ウェブ）                                  | 事務局    |
| 7月4日～8日、13日 | 第53回コーデックス残留農薬部会（ウェブ）                            | 事務局    |
| 7月31日～8月8日  | 2021食品安全に関する国際食品保全学会（IAFP）（ウェブ）                  | 委員     |
| 9月6日～9日     | ISMCO 2022 & ICM 2022（ウェブ）                       | 事務局    |
| 9月13日～16日   | Prion 2022（ドイツ）                                  | 委員、事務局 |
| 9月18～21日    | Eurotox 2022（オランダ）                               | 事務局    |
| 9月21日～22日   | FOURTH ANNUAL FORUM ON ENDOCRINE DISRUPTORS（ウェブ） | 事務局    |
| 10月18日～21日  | レギュラトリーサイエンスに関する国際会議（GSRS22）（シンガポール）             | 委員、事務局 |
| 12月6日～11日   | 第22回国際栄養学会議（日本）                                  | 委員     |
| 12月15日～16日  | アジア太平洋プリオン研究会2022（ウェブ）                           | 事務局    |
| 1月12日～13日   | シンガポール食品庁（SFA）との意見交換（シンガポール）                     | 事務局    |
| 2月13日～17日   | 第26回コーデックス食品残留動物用医薬品部会（ウェブ）                      | 事務局    |
| 2月15日～16日   | EFSA BMDワークショップ（ベルギー）                            | 事務局    |
| 2月27日～3日    | OECD農薬作業部会（ウェブ）                                  | 事務局    |
| 3月19日～23日   | 第62回米国毒性学会（米国）                                   | 委員、事務局 |
| 3月24日～31日   | 第53回コーデックス食品添加物部会（中国）                            | 事務局    |

## 10 海外の専門家による講演会等開催実績一覧

### 2013年度（平成25年度）

|  |
|--|
| 国際共同シンポジウム（7月3日）   |
| <p>①講演 食品健康影響評価に係る研究の最新動向</p> <p>「暴露マージン（MOE）を用いたリスク評価方法」<br/>講演者：ジョセフ・シュラッター博士（EFSA）</p> <p>「腸管出血性大腸菌を含む食品由来病原菌の評価及び管理」<br/>講演者：渡邊 治雄 所長（国立感染症研究所）</p> <p>②講演 食品健康影響評価の国際的動向</p> <p>「食品安全のためのリスク評価のこれまでとこれから－食品安全委員会の経験を踏まえて」<br/>講演者：熊谷 進 委員長（食品安全委員会）</p> <p>「国際的なリスク評価共同体の設立に向けて：ヨーロッパの視点」<br/>講演者：ペール・バーグマン局長（EFSA）</p> <p>「オーストラリアとニュージーランドの視点」<br/>講演者：スティーブ・マッカチョン長官（FSANZ）</p> <p>③シンポジウム「食品健康影響評価の今後」</p> <p>パネリスト：スティーブ・マッカチョン長官（FSANZ）<br/>ペール・バーグマン局長（EFSA）<br/>釘田 博文代表（OIEアジア太平洋地域代表事務所）<br/>食品安全委員会委員</p> |
| 食品安全委員会セミナー「ヒ素に関する最新知見について」（11月22日）  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品中の有機ヒ素に関する最新の知見<br/>オーストリア グラーツ大学：ケビン・フランチェスコニ教授</li> <li>・海産物におけるヒ素に関する知見について<br/>水産大学校水産学研究科：花岡 研一教授</li> <li>・食品中の無機ヒ素の健康影響について<br/>化学物質・汚染物質専門調査会：圓藤 吟史専門委員</li> </ul>   |

### 2014年度（平成26年度）

|  |
|--|
| 食品安全委員会セミナー「ビスフェノールAに関する国際セミナー」（6月19日）   |
| <p>①講演 「日本におけるビスフェノールAに関する現状」<br/>講演者：広瀬 明彦 総合評価研究室長（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター）</p> <p>②講演 「EFSAにおけるビスフェノールAに関する評価の状況」<br/>講演者：アナ・カストルディ 上席技官（EFSA）</p> <p>③講演 「米国食品医薬品庁／国立毒性研究センターで実施されたビスフェノールAに関する研究」<br/>講演者：ダニエル・ドアージ 首席バイオメディカル研究員（FDA）</p> |

|  |
|--|
| <p>食品安全委員会セミナー「食品安全分野におけるリスクコミュニケーションに関する国際セミナー」<br/>(11月12日)</p>  |
| <p>①講演 「リスクコミュニケーションから社会との対話へ：ANSESの経験から得られた知見」<br/>講演者：ブノア・ヴェルグリエッテ 室長 (ANSES)</p> <p>②講演 「リスクコミュニケーション—EFSAの実績と今後の展望—」<br/>講演者：ローラ・スマイラー 上席コミュニケーション・アドバイザー (EFSA)</p> <p>③講演 「食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションの取組について」<br/>講演者：姫田 尚 事務局長 (食品安全委員会)</p> |

## 2015年度 (平成27年度)

|  |
|--|
| <p>農薬の急性参照用量 (ARfD) の設定に関する国際シンポジウム (10月7日)</p>  |
| <p>①イントロダクション<br/>講演者：食品安全委員会委員 吉田 緑</p> <p>②講演「急性参照用量 (ARfD) 設定のための適切なエンドポイントとは？」<br/>講演者：ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) 農薬安全部長 Roland Solecki</p> <p>③講演「米国のプロセス: 急性参照用量 (ARfD) 設定」<br/>講演者：コンサルタント (前・米国環境保護庁 (EPA) 上席科学アドバイザー) Vicki Dellarco</p>   |
| <p>食品媒介感染症防止に向けた食品安全確保のための定性的・定量的アプローチに関する国際シンポジウム<br/>(11月19日)</p>  |
| <p>①講演「微生物学的リスク管理メトリクス」<br/>講演者：アイルランド食品安全庁食品科学・基準局長 Wayne Anderson</p> <p>②講演「病原微生物による食品媒介感染症のリスク管理措置への微生物リスク評価の貢献」<br/>講演者：山口大学共同獣医学部教授 豊福 肇</p> <p>③講演「安全な食品のためのリスク評価とリスク管理～評価においては変動と不確実性が必要、管理においては個別的な判断が必要～」<br/>講演者：ワーゲニンゲン大学教授 Marcel Zwietering</p> <p>④講演「食品媒介病原微生物の増殖・死滅挙動の数理モデル化」<br/>講演者：北海道大学大学院農学研究院准教授 小関 成樹</p> <p>⑤講演「ベロ毒素産生大腸菌 (VTEC) 等による食品媒介感染症の分子疫学的解析」<br/>講演者：国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部部长 寺嶋 淳</p> |
| <p>食品安全の明日をともに考える国際シンポジウム (3月18日)</p>  |
| <p>①講演「シンポジウムの趣旨及び食品安全委員会事務局の取組の紹介」<br/>講演者：食品安全委員会事務局評価第一課評価技術推進室長 高崎 洋介</p> <p>②基調講演「食品に起因する疾病の負荷～WHOによる世界推計～」<br/>講演者：WHO (世界保健機関) 食品安全・人畜共通感染症部長 宮城島 一明</p> <p>③パネルディスカッション「食品安全の明日」</p>   |

## 2016年度（平成28年度）

|   |
|---|
| 国際セミナー ～牛海綿状脳症（BSE）と食の安全に関する科学（5月11日）   |
| ①講演「英国におけるBSEの起源、過去及び現在」<br>講演者：英国動植物衛生庁 TSE部長 James Hope   |
| ②講演「変異型クロイツフェルト・ヤコブ病について」<br>講演者：エジンバラ大学 臨床脳科学センター 教授 Robert Will   |
| ③講演「日本における牛海綿状脳症（BSE）研究」<br>講演者：東北大学 客員教授 毛利資郎  |
| 第2回評価技術企画ワーキンググループ（8月24日）   |
| 講演「米国食品医薬品庁（FDA）におけるデータベース構築及びその活用について」<br>講演者：FDA 国立毒性研究センター（NCTR） 生物情報学・生物統計学部長 Weida Tong  |
| 勉強会「食品及び器具・容器包装中の化学物質の健康影響評価に関する最新の知見について」（11月17日）  |
| ①講演「Food Contaminants and Chemical Brain Drain」及び「Perfluorinated substances: Risk assessment concerns」<br>講演者：ハーバード大学 連携教授 Philippe Grandjean |
| ②講演「Exposure to endocrine disrupting chemicals through food in pregnant women」<br>講演者：南デンマーク大学 教授 Tina Kold Jensen                            |
| 調査報告会「原材料に着目して料理を品目に細分化する手法等に関する諸外国の実態調査」（3月13日）  |
| 講演「Dietary Exposure assessments in Australia」<br>講演者：豪州・ニュージーランド食品基準機関（FSANZ） 上席暴露評価官 Tracy Hambridge   |

## 2017年度（平成29年度）

|   |
|---|
| 国際会議～食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか～（4月26日）   |
| ①講演「ASEANリスク評価センター（ASEAN Risk Assessment Centre for Food Safety, ARAC）について：食品安全分野のリスク評価の国際的な側面・将来の課題と取り組み」<br>講演者：マレーシア保健省 食品安全品質課 品質及び基準部門 部門長（ARAC事務局） チン・チョウ・キート |
| ②講演「急速に変化する世界からの課題」<br>講演者：ドイツ連邦リスク評価研究所 副所長 ライナー・ウイトコウスキー  |
| ③講演「科学的能力向上のための協力と協調」<br>講演者：欧州食品安全機関 規制製品の科学評価局 局長 ギレム・デ・セゼ  |
| ④講演「共に成功する：食品安全のための科学的国際協力の重要性」<br>講演者：フランス食品環境労働衛生安全庁 長官 ロジェ・ジュネ   |
| ⑤講演「食品安全に関するリスク評価の現状と今後：日本の視点」<br>講演者：食品安全委員会 委員 山添 康   |
| ⑥パネルディスカッション「食品安全分野におけるリスク評価の向上のためには何ができるのか」  |

## 薬剤耐性菌の食品健康影響評価に関するワークショップ（12月4日）

## 【海外からの出席者】

- ①ドイツ連邦リスク評価研究所（BfR） Prof. Dr. Annemarie KAESBOHRER
- ②フランス食品環境労働衛生安全庁（ANSES） Dr. Sophie GRANIER
- ③欧州食品安全機関（EFSA） Dr. Ernesto LIEBANA CRIADO
- ④欧州医薬品庁（EMA） Dr. Jordi TORREN-EDO
- ⑤ASEANリスク評価センター（ARAC） Ms. Laila Rabaah Ahmad Suhaimi
- ⑥タイ農業協同組合畜産振興局（DLD） Dr. Suchana SUKKLAD
- ⑤世界保健機関（WHO） Ms. Yuki MINATO

## カンピロバクターに関するワークショップ（3月22日）

## 【海外からの出席者】

- ①英国食品基準庁（FSA） Dr. Kevin D HARGIN
- ②デンマーク工科大学（DTU） 国立食品研究所 Dr. Jens Kirk ANDERSEN
- ③ニュージーランド第一次産業省（MPI） Dr. Judi LEE

## 2018年度（平成30年度）

## 国際ワークショップ～ヒト健康影響評価の精緻化に向けた評価技術の開発～（11月14日）

- ①イントロダクション「食品関連化学物質のヒト健康影響評価の新たな課題」  
講演者：食品安全委員会 シニアフェロー 山添 康
- ②講演「毒性学的閾値（TTC）の利用とヒト健康影響評価における意義（仮訳）」  
講演者：欧州食品安全機関 リスク評価及び科学的支援局 主任技官 ジョージ・カス
- ③講演「毒性学的閾値（TTC）の考え方をを用いた器具容器包装の安全性評価」  
講演者：岡山大学 薬学部／大学院医歯薬学総合研究科（薬学系）教授 小野 敦
- ④講演「カテゴリーに基づくリードアクロス法～ヒトへの外挿性を考慮して」  
講演者：国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 室長 山田 隆志
- ⑤講演「肝毒性情報データベース：薬物による肝傷害評価の活用（仮訳）」  
講演者：米国食品医薬品局 国立毒性研究センター 生物情報学・生物統計学部門長 ウェイダ・トン
- ⑥講演「食品汚染物質のヒト健康影響評価における生理学的薬物動態モデルを用いた内部ばく露量測定（仮訳）」  
講演者：米国食品医薬品局 国立毒性研究センター 上席生物医学研究員 ダニエル・ドーギー
- ⑦パネルディスカッション

## 2021年度（令和3年度）

## 食品安全セミナー（3月25日）

- ①国際的な食品のリスク評価のプロセス等
- ②「WHO Global Strategy for Food Safety 2022-2030」案の概要  
講演者：WHO Standards and Scientific Advice in Food and Nutrition ユニット長 モエス・サナ



## 2022年度（令和4年度）

食品安全シンポジウム～ 国際的な微生物学的リスク評価専門家会議を理解する～（3月22日）

①JEMRAの活動を振り返る

講演者：JEMRA事務局（モエス・サナ、長谷川 朗生、ジュリアナ・デオリベイラ モタ）

②JEMRAにおける微生物学的リスク評価

講演者：Statistical Process Improvement Consulting and Training Pty. Ltd. アンドレアス・キーマイヤー

③JEMRAのリスク評価に基づく動物由来病原体の管理措置

フランス食品環境労働衛生安全庁 マリアンヌ・ケマリー

④JEMRAでの経験

豊福 肇（山口大学教授）、JEMRA事務局、アンドレアス・キーマイヤー、マリアンヌ・ケマリー

## 11 英文電子ジャーナルの発行実績

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名  | 著者  | 分野        |
|---------------|----------|---|---|-----------|
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Carcinogenicity Assessment for Risk Factors in Food: Current Issues and a Proposal  | Akiyoshi Nishikawa  | リスク評価     |
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Thirty-five Years of Research on Deoxynivalenol, a Trichothecene Mycotoxin: with Special Reference to Its Discovery and Co-occurrence with Nivalenol in Japan | Takumi Yoshizawa  | 自然毒、かび毒   |
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Identification and Evaluation of Potentially Genotoxic Agricultural and Food-related Chemicals  | Makoto Hayashi , Masamitsu Honma, Motoko Takahashi, Atsuko Horibe, Jin Tanaka, Mai Tsuchiya, Takeshi Morita | リスク評価     |
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Intestinal Transmission of Prions and Role of Exosomes in Enterocytes   | Yasuhisa Ano, Akikazu Sakudo, Ryuta Uraki, Juri Kono, Masayoshi Yukawa, Takashi Onodera                     | プリオン      |
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Fumonisin Toxicity and Mechanism of Action: Overview and Current Perspectives   | Ke n neth A. Voss, Ronald T.Riley   | 自然毒、かび毒   |
| 2013<br>(H25) | 1-1      | Fluorine (Executive Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 化学物質・汚染物質 |
| 2014<br>(H26) | 2-1      | Bis(2-ethylhexyl)phthalate (DEHP) (Executive Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 容器・包装     |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Lysteria monocytogens in foods (Executive Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 微生物、ウイルス  |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Possible Carcinogenic Mechanisms Underlying Renal Carcinogens in Food   | Takashi Umemura   | 汚染物質      |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Methyl Pruvate and Marinedip (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品    |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Quinoclamine (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬        |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Orbifloxacin (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品    |
| 2014<br>(H26) | 2-2      | Ethoxysulfuron (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬        |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Norovirus and Foodborne Disease: A Review   | Hiroshi Ushijima, Tsuguto Fujimoto, Werner EG Müller, Satoshi Hayakawa                                      | 微生物、ウイルス  |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Consideration of Risk Variations in Japan Derived from the Proposed Revisions of the Current Countermeasures against BSE (Full Report)                        | Food Safety Commission of Japan   | プリオン      |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Malathion, Executive (Executive Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬        |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Propiconazole (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬        |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Metronidazole (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品    |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Flumioxazin (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬        |
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Dibutyl Phthalate (DBP) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 容器・包装     |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名   | 著者   | 分野           |
|---------------|----------|--|--|--------------|
| 2014<br>(H26) | 2-3      | Stearidonic Acid Producing Soybean MON87769 Line (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 遺伝子組<br>替え食品 |
| 2014<br>(H26) | 2-4      | Novel Foodborne Disease Associated with Consumption of Raw Fish, Olive Flounder ( <i>Paralichthys olivaceus</i> )  | Yoshiko Sugita-Konishi, Hiroshi Sato, Takahiro Ohnishi   | 微生物、<br>ウイルス |
| 2014<br>(H26) | 2-4      | Development of a Tool for Evaluating the Risk of Health Damage by Meat-borne Parasite Infection  | Hiroshi Yamasaki, Kyoko Arakawa, Takeo Ohashi, Kenji Yagita, Yasuyuki Morishima, Hiromu Sugiyama, Kisaburo Nagamune, Michiru Kakinuma, Yuko Osada, Daihi Oushiki, Atsushi Hasegawa       | 微生物、<br>ウイルス |
| 2014<br>(H26) | 2-4      | Improving the Efficiency of Organoarsenic Extraction from Seaweeds   | Akihisa Hata, Momoko Hasegawa, Hidetoshi Kurosawa, Kenzo Yamanaka, Yuko Yamano, Yoko Endo, Noboru Fujitani, Ginji Endo   | 汚染物質         |
| 2014<br>(H26) | 2-4      | Fluoroquinolone Antimicrobials for Chickens (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 薬剤耐性         |
| 2014<br>(H26) | 2-4      | 2,3-Diethylpyrazine (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 食品添加<br>物    |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Hippocampal Neurogenesis as a Critical Target of Neurotoxicants Contained in Foods   | Makoto Shibutani   | 汚染物質         |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | The Acute Encephalopathy Induced by Intake of Sugihiratake Mushroom in the Patients with Renal Damage Might Be Associated with the Intoxication of Cyanide and Thiocyanate | Hiroshi Akiyama, Hideki Matsuka, Takanori Okuyama, Kyohei Higashi, Toshihiko Toida, Hiroyuki Komatsu, Yoshiko Sugita-Konishi, Satomi Kobori, Yukio Kodama, Midori Yoshida, Hitoshi Endou | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Mandestrobin (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 農薬           |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Mosapride (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医<br>薬品   |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Enramycin Used for Food Producing Animals: Risk of Antimicrobial-resistant Bacteria (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 薬剤耐性         |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Tolprocarb (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 農薬           |
| 2015<br>(H27) | 3-1      | Sedaxane (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 農薬           |
| 2015<br>(H27) | 3-2      | Applications and Safety of Nanomaterials Used in the Food Industry   | Kazuma Higashisaka, Yasuo Yoshioka, Yasuo Tsutsumi   | 新食品          |
| 2015<br>(H27) | 3-2      | Developmental Neurotoxicology: History and Outline of Developmental Neurotoxicity Study Guidelines   | Hiroaki Aoyama, Naofumi Takahashi, Yasufumi Shutoh, Atsuko Motomura, Kevin M. Crofton  | 毒性学          |
| 2015<br>(H27) | 3-2      | Ochratoxin A (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2015<br>(H27) | 3-2      | Foods Highly Containing Diacylglycerol (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 新食品、<br>添加物  |
| 2015<br>(H27) | 3-2      | Considerations on Glycidol and Its Fatty Acid Esters in Foods (Executive Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 新食品、<br>添加物  |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Prenatal Exposure to Di(2-ethylhexyl) phthalate and Subsequent Infant and Child Health Effects   | Tamie Nakajima, Yumi Hayashi, Yuki Ito   | 汚染物質         |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名   | 著者   | 分野       |
|---------------|----------|--|--|----------|
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Efficiency of Excess Monitoring for Beef after the Fukushima Accident  | Naoki Kunugita, Ichiro Yamaguchi, Hiroshi Terada, Toshihiko Yunokawa, Erik Robert Svendsen, Naoki Kunugita             | 放射性物質    |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Embryo- and Testicular-toxicities of Methoxyacetate and the Related: a Review on Possible Roles of One-carbon Transfer and Histone Modification                                | Yasushi Yamazoe, Takashi Yamada, Kunitoshi Mitsumori   | 薬理学      |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Butyl Benzyl Phthalate (BBP) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 容器・包装    |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Metoclopramide (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品   |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Picoxystrobin (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |
| 2015<br>(H27) | 3-3      | Peracetic Acid Preparation and Its Chemical Components (Peracetic Acid, 1-Hydroxyethylidene-1,1-diphosphonic Acid, Octanoic Acid, Acetic Acid and Hydrogen Peroxide) (Summary) | Food Safety Commission of Japan  | 食品添加物    |
| 2015<br>(H27) | 3-4      | Cadmium Exposure in General Populations in Japan: a Review   | Masayuki Ikeda, Takao Watanabe, Haruo Nakatsuka, Jiro Moriguchi, Sonoko Sakuragi, Fumiko Ohashi, Shinichiro Shimbo     | 汚染物質     |
| 2015<br>(H27) | 3-4      | Roles of Leucine and Isoleucine in Experimental Models of Bladder Carcinogenesis   | Min Gi, Hideki Wanibuchi   | 食品添加物    |
| 2015<br>(H27) | 3-4      | Oxathiapiprolin (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |
| 2015<br>(H27) | 3-4      | Fluazifop (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |
| 2015<br>(H27) | 3-4      | Albendazole (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品   |
| 2016<br>(H28) | 4-1      | Past, Present and Future Directions of gpt delta Rodent Gene Mutation Assays   | Takehiko Nohmi   | 毒性学      |
| 2016<br>(H28) | 4-1      | Aflatoxin Exposure and Associated Human Health Effects, a Review of Epidemiological Studies  | Yun Yun Gong, Sinead Watson, Michael N Routledge   | 自然毒、かび毒  |
| 2016<br>(H28) | 4-1      | Mepanipyrim (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |
| 2016<br>(H28) | 4-1      | Abamectin (Avermectin) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |
| 2016<br>(H28) | 4-2      | Predictive Modeling for Estimation of Bacterial Behavior from Farm to Table  | Shigenobu Koseki   | 微生物、ウイルス |
| 2016<br>(H28) | 4-2      | Evaluation of Microbial Loads on Dried and Fresh Shiitake Mushrooms ( <i>Lentinula edodes</i> ) as Obtained from Internet and Local Retail Markets, Respectively               | Chyer Kim, Theresa J. Nartea, Steven Pao, Haiwen Li, Krystle L. Jordan, Yixiang Xu, Roslyn A. Stein, Edward N. Sismour | 微生物、ウイルス |
| 2016<br>(H28) | 4-2      | Prednisolone (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品   |
| 2016<br>(H28) | 4-2      | Methylprednisolone (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品   |
| 2016<br>(H28) | 4-2      | Picarbutrazox (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬       |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名   | 著者  | 分野          |
|---------------|----------|--|---|-------------|
| 2016<br>(H28) | 4-3      | Histopathological Analysis of Rat Hepatotoxicity Based on Macrophage Functions: in Particular, an Analysis for Thioacetamide-induced Hepatic Lesions | Jyoji Yamate, Takeshi Izawa, Mitsuru Kuwamura   | リスク評価       |
| 2016<br>(H28) | 4-3      | Acrylamide in Foods Generated through Heating (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 汚染物質        |
| 2016<br>(H28) | 4-3      | Tolfenamic Acid (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品      |
| 2016<br>(H28) | 4-3      | MON 87411 line, a Maize Tolerant to Glyphosate and Resistant to Coleoptera (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 遺伝子組換え食品・飼料 |
| 2016<br>(H28) | 4-3      | Glyphosate (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Animal Prion Diseases Workshop: Updated Diagnosis and Epidemiology of Animal Prion Diseases for Food Safety and Security (Editorial)                 | Takashi Yokoyama, Hyun-Joo Sohn, Takashi Onodera  | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Prion Diseases in Animals and Zoonotic Potential   | Juan Maria Torres, Alba Marin-Moreno, Olivier Andreoletti, Juan-Carlos Espinosa, Vincent Beringue, Patricia Aguilar, Natalia Fernandez-Borges   | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Scrapie in Swine: a Diagnostic Challenge   | Justin J. Greenlee, Robert A. Kunkle, Jodi D. Smith, M. Heather West Greenlee   | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | RT-QuIC Assays in Humans ... and Animals   | Steven Collins, Shannon Sarros  | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Intra- and Interspecies Transmission of Atypical BSE – What Can We Learn from It?  | Anne Balkema-Buschmann, Grit Priemer, Markus Keller, Maria Mazza, Bob Hills, Martin H Groshup   | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Pathogenesis and Transmission of Classical and Atypical BSE in Cattle  | Elena Vallino Costassa, Barbara Iulini*, Maria Mazza, Pierluigi Acutis, Cristiana Maurella, Daniela Meloni, Alessandra Pautasso, Lorenzo Capucci, Elena Bozzetta, Marion M. Simmons, Gianluigi Zanusso, Maurizio Pocchiari, Cristiano Corona, Cristina Casalone | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Evaluating the Species Barrier   | Jean C. Manson, Abigail B. Dick   | プリオン        |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Guidelines for the Assessment of Flavoring Substances in Foods on Health (Guideline)   | Food Safety Commission of Japan   | 食品添加物       |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Soybean Lines Generated through Cross-breeding of MON87705, MON87708 and MON89788 (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 遺伝子組換え食品    |
| 2016<br>(H28) | 4-4      | Triptorelin Acetate (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品      |
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Pathology of Animal Transmissible Spongiform Encephalopathies (TSEs)   | John Spiropoulos, Marion M. Simmons   | プリオン        |
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Atypical BSE: Current Knowledge and Knowledge Gaps   | Sandor Dudas, Stefanie Czub   | プリオン        |
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Modeling Variant Creutzfeldt-Jakob Disease and Its Pathogenesis in Non-human Primates  | Corinne Lasmézas  | プリオン        |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名   | 著者  | 分野          |
|---------------|----------|--|---|-------------|
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Antimicrobial-resistant Bacteria Arising from the Use of Colistin Sulfate in the Livestock (Antimicrobial-resistant Bacteria) (Summary)                                  | Food Safety Commission of Japan   | 薬剤耐性        |
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Cyclaniliprole (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-1      | Isofetamid (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-2      | Shiga Toxin (Verotoxin)-producing Escherichia coli and Foodborne Disease:A Review  | Jun Terajima, Hidemasa Izumiya, Yukiko Hara-Kudo, Makoto Ohnishi  | 自然毒、かび毒     |
| 2017<br>(H29) | 5-2      | Acrylamide in Stir-fried Potato and Onion for Simmered Dishes in Japan   | Mitsuru Yoshida, Marino Isamu, Kazuhiro Chiku   | 汚染物質        |
| 2017<br>(H29) | 5-2      | Captan (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-2      | Folpet (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-2      | Phytase produced using Schizosaccharomyces pombe ASP595-1 strain (Genetically Modified Feed Additives) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 遺伝子組換え飼料添加物 |
| 2017<br>(H29) | 5-3      | Possible Role of Phosphatidylcholine and Sphingomyelin on Fumonisin B1-mediated Toxicity   | Yasushi Yamazoe, Noriko Koyama, Susumu Kumagai  | 自然毒、かび毒     |
| 2017<br>(H29) | 5-3      | Pork Loin Treated with High Hydrostatic Pressure as a Food Processing Technology: Subacute Toxicity of the Freeze-Dried Powder and Cytotoxicity of the Methanol Extracts | Masafumi Saito, Miyako Nishida, Takahiro Eitsuka, Yun-Jun Kim, Tadayuki Nishiumi, Tetsuya Konishi, Hiroshi Urakami, Hiroshi Nishida | 毒性学         |
| 2017<br>(H29) | 5-3      | Fenquinotrione (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-3      | Flometoquin (Pesticides) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-3      | Pyraziflumid (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2017<br>(H29) | 5-4      | ESBL-producing Escherichia coli and Its Rapid Rise among Healthy People  | Kumiko Kawamura, Noriyuki Nagano, Masahiro Suzuki, Jun-ichi Wachino, Kouji Kimura, Yoshichika Arakawa                               | 微生物、ウイルス    |
| 2017<br>(H29) | 5-4      | Enhancement of Uterine Cancer Development after Oocyte Depletion by Juvenile Exposure to Gamma Radiation in Rats   | Midori Yoshida, Yoshiya Shimada   | 毒性学         |
| 2017<br>(H29) | 5-4      | Melengestrol Acetate (Veterinary Medicinal Products) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 動物用医薬品      |
| 2017<br>(H29) | 5-4      | The Liver of the Aquacultured Japanese Pufferfish) (Natural Toxins) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan   | 自然毒、かび毒     |
| 2017<br>(H29) | 5-4      | 2,4-D (Pesticides) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬          |
| 2018<br>(H30) | 6-1      | Current Trends in Foodborne Human Listeriosis  | Atin Datta, Laurel Burall   | 微生物、ウイルス    |
| 2018<br>(H30) | 6-1      | Aspergillus flavus Secondary Metabolites: More than Just Aflatoxins  | Jeffrey W. Cary, Matthew K. Gilbert, Matthew D. Lebar, Rajtilak Majumdar, Ana M. Calvo  | 自然毒、かび毒     |
| 2018<br>(H30) | 6-1      | Role of Biomarkers in Monitoring Brevetoxins in Karenia brevis Exposed Shellfish   | Ann Abraham, Kathleen R. El Said, Leanne J. Flewelling  | 自然毒、かび毒     |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名  | 著者  | 分野           |
|---------------|----------|---|---|--------------|
| 2018<br>(H30) | 6-1      | Serotyping of Salmonella Enterica Isolated from Mice Caught on US Poultry Farms 1995 through 1998   | Jean Guard, David J. Henzler, Hazem Ramadan, Deana R. Jones, Richard K. Gast, Sherrill Davison, Marc W. Allard  | 微生物、<br>ウイルス |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Deoxynivalenol and Nivalenol Toxicities in Cultured Cells: a Review of Comparative Studies  | Hitoshi Nagashima   | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Epidemiology of Foodborne Norovirus Outbreaks - United States, 2009-2015  | Zachary Marsh, Minesh P. Shah, Mary E. Wikswo, Leslie Barclay, Hannah Kisselburgh, Anita Kambhampati, Jennifer L. Cannon, Umesh D. Parashar, Jan Vinjé, Aron J. Hall                        | 微生物、<br>ウイルス |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Distribution of Sterigmatocystin-producing Aspergilli in Japan  | Naoki Kobayashi, Atsutaka Kubosaki, Yumi Takahashi, Miyuki Yanai, Rumi Konuma, Satomi Uehara, Takashi Chiba, Maiko Watanabe, Jun Terajima, Yoshiko Sugita-Konishi                           | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Fumonisin-production by Aspergillus section Nigri isolates from Japanese Foods and Environments   | Jun-ichi Onami, Maiko Watanabe, Tomoya Yoshinari, Ruiko Hashimoto, Mayumi Kitayama, Naoki Kobayashi, Yoshiko Sugita-Konishi, Yoichi Kamata, Haruo Takahashi, Hiroshi Kawakami, Jun Terajima | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Large-scale Cultivation of Gymnodinium Catenum for Paralytic Shellfish Poisoning Toxin Standards  | Hiroshi Oikawa, Ryuichi Watanabe, Ryoji Matsushima, Toshiyuki Suzuki  | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | The Molecular Detection of Cryptosporidium and Giardia in Sika Deer (Cervus Nippon Centralis) in Japan  | Akiko Yamazaki, Shinji Izumiyama, Kenji Yagita, Naohiro Kishida, Atsutaka Kubosaki, Yukiko Hara-Kudo, Yoichi Kamata, Jun Terajima   | 微生物、<br>ウイルス |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Mycotoxin Contamination in Japanese Domestic Feed   | Ryuichi Uegaki, Atsushi Tsunoda   | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Distribution of Diarrhetic Shellfish Toxins in Mussels, Scallops, and Ascidian  | Ryoji Matsushima, Hajime Uchida, Ryuichi Watanabe, Hiroshi Oikawa, Yuki Kosaka, Toru Tanabe, Toshiyuki Suzuki   | 自然毒、<br>かび毒  |
| 2018<br>(H30) | 6-2      | Toxins, Pathogens, and Foods: Challenges and Opportunities for Public Health. Epilogue to the Proceedings of the 12th International Symposium of the Joint Expert Panel on Toxic Microorganisms, United States- Japan Program on Development and Utilization of Natural Resources (Editorial) | Kenneth Voss, Hiroshi Asakura, Jeffrey Cary, Toshiyuki Suzuki   | リスク評<br>価    |
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Evaluation of Necessity of 1-year Toxicity Study in Dogs - development of the New Tiered Approach for Toxicity Studies of Pesticide Considering Species Difference in "toxicity profile" and "toxicity dose-response"   | Atsushi Ono, Takahiro Yoshizawa, Kiyoshi Matsumoto  | 農薬           |
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Prevalence of Antibiotics Resistant Listeria monocytogenes Strains in Nigerian Ready-to-eat Foods   | Daniel O. Ebakota, Onilude A. Abiodun, Obayagbona O. Nosa   | 薬剤耐性         |
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Prevalence and Antimicrobial Resistance of Salmonella serotypes Isolated from Poultry Meat in Japan   | Tetsuya Mori, Naoko Okamura, Kanae Kishino, Shintaro Wada, Bizhen Zou, Toyohiko Nanba, Takeshi Ito  | 薬剤耐性         |

| 発行年           | 掲載<br>号数 | 題名   | 著者   | 分野        |
|---------------|----------|--|--|-----------|
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Desmedipham (Pesticides) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 農薬        |
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Dicyclanil (Veterinary Medicinal Products) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品    |
| 2018<br>(H30) | 6-3      | Dexamethasone (Veterinary medicinal products) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品    |
| 2018<br>(H30) | 6-4      | Development of a bacteriophage-based Method for Detection of Escherichia Coli O157:H7 in Fresh Vegetables  | Hoang A. Hoang, Nguyen T.T. Nhung  | 微生物、ウイルス  |
| 2018<br>(H30) | 6-4      | Induction of Mucosal Humoral Immunity by Subcutaneous Injection of an Oil-emulsion Vaccine against Salmonella enterica subsp. enterica serovar Enteritidis in Chickens   | Yuuichi Ishida, Eishi Sakai, Katsuo Sato, Einori Sugiyama, Kazuyuki Mima, Akira Taneno, Hirofumi Shimomura, Longzhu Cui, Yoshikazu Hirai | 微生物、ウイルス  |
| 2018<br>(H30) | 6-4      | Association of Salmonella Serotypes with Quinolone Resistance in Broilers  | Ayumi Nakatsuchi, Mizuho Inagaki, Michiyo Sugiyama, Masaru Usui, Tetsuo Asai   | 薬剤耐性      |
| 2018<br>(H30) | 6-4      | Fumonisin (Natural Toxins and Mycotoxins) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 自然毒、かび毒   |
| 2018<br>(H30) | 6-4      | Review on the One-year Repeated Dose Oral Toxicity Study in Dogs for the Toxicological Evaluation of Pesticides (Agricultural Chemicals) (Decision of the Expert Committee on Pesticide, FSCJ, 21 December 2017) (Guideline) | Food Safety Commission of Japan  | 農薬        |
| 2019<br>(H31) | 7-1      | Mutant Frequency is not Increased in Mice Orally Exposed to Sodium Dichromate  | Yasunobu Aoki, Michiyo Matsumoto, Michi Matsumoto, Kenichi Masumura, Takehiko Nohmi  | 化学物質・汚染物質 |
| 2019<br>(H31) | 7-1      | Quantitative Analysis of Houseflies-mediated Food Contamination with Bacteria  | Akira Fukuda, Masaru Usui, Chinami Masui, Yutaka Tamura  | 微生物、ウイルス  |
| 2019<br>(H31) | 7-1      | Flubenzamide (Pesticides) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬        |
| 2019<br>(R1)  | 7-2      | Bovine Spongiform Encephalopathy - A Review from the Perspective of Food Safety  | Susumu Kumagai, Takateru Dai-kai, Takashi Onodera  | プリオン      |
| 2019<br>(R1)  | 7-2      | Dietary Deoxynivalenol Exposure Assessment in University Students from Japan   | Lei Xia, Yoshiko Sugita-Konishi, YunYun Gong, Michael Routledge  | 自然毒、かび毒   |
| 2019<br>(R1)  | 7-2      | Isobutylamine, Isopropylamine, sec-Butylamine, Propylamine, Hexylamine, Pentylamine and 2-Methylbutylamine (Flavoring Substances) (Summary)  | Food Safety Commission of Japan  | 食品添加物     |
| 2019<br>(R1)  | 7-2      | Hexavalent chromium (Contaminants) (Summary)   | Food Safety Commission of Japan  | 汚染物質      |
| 2019<br>(R1)  | 7-3      | Current Status of Campylobacter Food Poisoning in Japan  | Torrung Vetchapitak, Naoaki Misawa   | 微生物、ウイルス  |
| 2019<br>(R1)  | 7-3      | Examining the Presence of Cronobacter spp. in Ready-to-eat Edible Insects  | Jake P. Greenhalgh, Daniel Amund   | 微生物、ウイルス  |
| 2019<br>(R1)  | 7-3      | Aluminium Ammonium Sulfate and Aluminium Potassium Sulfate (Food Additives)  | Food Safety Commission of Japan  | 食品添加物     |
| 2019<br>(R1)  | 7-4      | A Summary Report of FSCJ Workshop "Future Challenges and Opportunities in Developing Methodologies for Improved Human Risk Assessments"  | Kaoruko Tachibana, George E.N. Kass, Atsushi Ono, Takashi Yamada, Weida Tong, Daniel R. Doerge, Yasushi Yamazoe                          | リスク評価     |



| 発行年          | 掲載<br>号数 | 題名  | 著者   | 分野           |
|--------------|----------|---|--|--------------|
| 2019<br>(R1) | 7-4      | Effect of Citric Acid on Prolonging the Half-life of Dissolved Ozone in Water   | Yoshichika Hirahara, Kazuyoshi Iwata, Katsuhiko Nakamuro   | 食品添加物        |
| 2019<br>(R1) | 7-4      | Aseptically Filled Tofu (Microorganisms and Viruses)  | Food Safety Commission of Japan  | 微生物、ウイルス     |
| 2019<br>(R1) | 7-4      | Fosfomycin (Veterinary Medicinal Products)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品       |
| 2020<br>(R2) | 8-1      | Current Understanding of Food Safety Assessment Procedure for Stacked Trait Products Derived from Conventional Breeding among Approved GM Plants                                      | Wataru Iizuka  | 遺伝子組換え食品     |
| 2020<br>(R2) | 8-1      | Monepantel (Veterinary Medicinal Products)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品       |
| 2020<br>(R2) | 8-1      | Dichlobentiazox (Pesticides)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬           |
| 2020<br>(R2) | 8-1      | Flumequine (Veterinary Medicinal Products)  | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品       |
| 2020<br>(R2) | 8-1      | Fluxametamide (Pesticides)  | Food Safety Commission of Japan  | 農薬           |
| 2020<br>(R2) | 8-2      | Quantitative Release Assessment of mcr-mediated Colistin-resistant Escherichia Coli from Japanese Pigs  | Kohei Makita, Yuri Fujimoto, Nami Sugahara, Takeshi Miyama, Masaru Usui, Tetsuo Asai, Michiko Kawanishi, Manao Ozawa, Yutaka Tamura  | 薬剤耐性         |
| 2020<br>(R2) | 8-2      | Prediction and Characterization of CYP3A4-mediated Metabolisms of Azole Fungicides: an Application of the Fused-grid Template* system   | Yasushi Yamazoe, Takashi Yamada, Kiyoshi Nagata  | 薬理学          |
| 2020<br>(R2) | 8-2      | Betamethasone (Veterinary Medicinal Products)   | Food Safety Commission of Japan  | 動物用医薬品       |
| 2020<br>(R2) | 8-3      | Elution of Radioactive Cesium from Tofu by Water Soaking  | Mitsuru Yoshida, Hitomi Kaino, Saori Shidara, Kazuhiro Chiku, Mayumi Hachinohe, Shioka Hamamatsu                                     | 汚染物質         |
| 2020<br>(R2) | 8-3      | Risk Management Knowledges about Oysters for Raw Consumption and Norovirus  | Kazuo Koyama, Azusa Hirakawa, Chie Uehara, Itsuko Horiguchi  | リスクコミュニケーション |
| 2020<br>(R2) | 8-3      | Cattle Meat and Offal Imported from the United States of America, Canada and Ireland to Japan (Prions)  | Food Safety Commission of Japan  | プリオン         |
| 2020<br>(R2) | 8-4      | Attempt of Bayesian Estimation from Left-censored Data Using the Markov Chain Monte Carlo Method: Exploring Cr(VI) Concentrations in Mineral Water Products                           | Yoshinari Suzuki, Noriko Tanaka, Hiroshi Akiyama   | 汚染物質         |
| 2020<br>(R2) | 8-4      | Changes in the Risk Perception of Food Safety between 2004 and 2018   | Aiko Abe, Kazuo Koyama, Chie Uehara, Azusa Hirakawa, Itsuko Horiguchi  | リスクコミュニケーション |
| 2020<br>(R2) | 8-4      | Continuous Estimation of Annual Committed Effective Dose of Radioactive Cesium by Market Basket Study in Japan from 2013 to 2019 after Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident | Hiromi Nabeshi, Tomoaki Tsutsumi, Masataka Imamura, Yoshinori Uekusa, Akiko Hachisuka, Rieko Matsuda, Reiko Teshima, Hiroshi Akiyama | 汚染物質         |

| 発行年       | 掲載号数 | 題名  | 著者  | 分野       |
|-----------|------|---|---|----------|
| 2020 (R2) | 8-4  | Deoxynivalenol and Nivalenol (2nd edition) [Assuring the Maximum Level of Deoxynivalenol in Wheat] (Natural Toxins and Mycotoxins)          | Food Safety Commission of Japan   | 自然毒、かび毒  |
| 2021 (R3) | 9-1  | Probabilistic Estimation of Dietary Intake of Methylmercury from Fish in Japan  | Takahiro Watanabe, Rieko Matsuda, Chikako Uneyama   | 汚染物質     |
| 2021 (R3) | 9-1  | Deciphering Key Interactions of Ligands with CYP3A4-Template* system  | Yasushi Yamazoe, Takashi Yamada, Akihiko Hirose, Norie Murayama   | 薬理学      |
| 2021 (R3) | 9-1  | Antimicrobial-resistant Bacteria Arising from the Use of Colistin Sulfate in the Livestock (2nd edition) (Antimicrobial-resistant Bacteria) | Food Safety Commission of Japan   | 薬剤耐性     |
| 2021 (R3) | 9-2  | Subject fields in Food Safety during 10 years (Editorial)   | Yasushi Yamazoe, Shigeki Yamamoto, Midori Yoshida, Toru Kawanishi, Susumu Kumagai   |          |
| 2021 (R3) | 9-2  | Effect of transgenic rootstock grafting on the omics profiles in tomato   | Hiroaki Kodama, Taira Miyahara, Taichi Oguchi, Takashi Tsujimoto, Yoshihiro Ozeki, Takumi Ogawa, Yube Yamaguchi, Daisaku Ohta                 | 遺伝子組換え食品 |
| 2021 (R3) | 9-2  | Prevalence of Colistin-Resistant Bacteria among Retail Meats in Japan   | Justice O. Odoi, Sayo Takayanagi, Michiyo Sugiyama, Masaru Usui, Yutaka Tamura, Tetsuo Asai   | 薬剤耐性     |
| 2021 (R3) | 9-3  | Recommended practices to eliminate Campylobacter from the Japanese broiler flocks   | Asano Kozu Clarke, Said Ajlouni   | 微生物、ウイルス |
| 2021 (R3) | 9-3  | Antimicrobial Drug-resistance Profile of Vibrio Parahaemolyticus isolated from Japanese Horse Mackerel (Trachurus Japonicus)                | Tatsuro Nishino, Hideki Suzuki, Shiro Mizumoto, Hirotaka Morinushi, Hiromi Nagaoka, Keiichi Goto, Shigeki Yamamoto                            | 微生物、ウイルス |
| 2021 (R3) | 9-3  | On the Campylobacter Papers in this Issue   | Shigeki Yamamoto  | 微生物、ウイルス |
| 2021 (R3) | 9-4  | Current Status of Anisakiasis and Anisakis Larvae in Tokyo, Japan   | Jun Suzuki, Rie Murata, Yukihiko Kodo   | 微生物、ウイルス |
| 2021 (R3) | 9-4  | Japanese Food Allergy-Labeling System and Comparison with the International Experience; Detection and Thresholds                            | Hiroshi Akiyama, Reiko Adachi   | アレルギー    |
| 2021 (R3) | 9-4  | Allergen Labeling for Eggs as Ingredients of Pre-packaged Foods (Food-allergy)  | Food Safety Commission of Japan   | アレルギー    |
| 2022 (R4) | 10-1 | Radiocesium Concentration in Commercially-Available Foods Produced in Japan: 2017-2019  | Hiromi Nabeshi, Masataka Imamura, Tomoaki Tsutsumi, Tomomi Maeda, Akiko Hachisuka, Hiroshi Akiyama  | 放射性物質    |
| 2022 (R4) | 10-1 | Omics Profiles of Non-transgenic Scion Grafted on Transgenic RdDM Rootstock   | Hiroaki Kodama, Yukiko Umeyama, Taira Miyahara, Taichi Oguchi, Takashi Tsujimoto, Yoshihiro Ozeki, Takumi Ogawa, Yube Yamaguchi, Daisaku Ohta | 遺伝子組換え植物 |
| 2022 (R4) | 10-1 | Inhibition of CYP3A-mediated Midazolam Metabolism by Kaempferia Parviflora  | Yumika Kashiwabuchi, Yuki Nishimura, Norimitsu Kurata, Mariko Iwase, Yuji Kiuchi, Koji Nobe   | 薬理学      |

| 発行年          | 掲載号数 | 題名  | 著者  | 分野           |
|--------------|------|---|---|--------------|
| 2022<br>(R4) | 10-2 | Comparison of the Importance and Prioritization of Information Communicated to Consumers by Experts Regarding Food Safety | Itsuko Horiguchi, Kazuo Koyama, Azusa Hirakawa, Mieko Shiomi, Kaoruko Tachibana, Katsuyuki Watanabe   | リスクコミュニケーション |
| 2022<br>(R4) | 10-2 | Focusing Points on FSCJ' s Guideline Recently Established: Risk Assessment of Food Contact Materials (Guideline)          | Masahiro Nakamoto   | 容器・包装        |
| 2022<br>(R4) | 10-2 | Lead (Chemicals and Contaminants)   | Food Safety Commission of Japan   | 汚染物質         |
| 2022<br>(R4) | 10-3 | Combined Risk Assessment of Food-derived Coumarin with in Silico Approaches   | Takashi Yamada, Naruo Katsutani, Taeko Maruyama, Tomoko Kawamura, Hiroshi Yamazaki, Norie Murayama, Weida Tong, Yasushi Yamazoe, Akihiko Hirose | リスク評価        |
| 2022<br>(R4) | 10-3 | Dietary Exposure of the Japanese General Population to Elements: Total Diet Study 2013–2018                               | Takahiro Watanabe, Yohei Kataoka, Kyoko Hayashi, Rieko Matsuda, Chikako Uneyama   | 暴露評価         |
| 2022<br>(R4) | 10-3 | Commentary on the Risk Assessment of Lead by the Food Safety Commission of Japan  | Fumi Irie   | 汚染物質         |
| 2022<br>(R4) | 10-4 | Japanese Regulatory Framework and Approach for Genome-edited Foods Based on Latest Scientific Findings                    | Kazunari Kondo, Chie Taguchi  | ゲノム編集        |
| 2022<br>(R4) | 10-4 | Application of CYP1A2-Template System to Understand Metabolic Processes in the Safety Assessment                          | Norie Murayama, Takashi Yamada, Yasushi Yamazoe   | 薬理学          |
| 2022<br>(R4) | 10-4 | Paraquat (Pesticides)   | Food Safety Commission of Japan   | 農薬           |

## 12 歴代政務一覽

2012年（平成24年）12月26日～2023年（令和5年）3月31日

|                      | 大臣                              | 副大臣                             | 大臣政務官                           |
|----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 第2次安倍内閣              | 森 まさこ<br>(平成24.12.26～平成26.9.3)  | 伊達 忠一<br>(平成24.12.27～平成25.9.30) | 亀岡 偉民<br>(平成24.12.27～平成25.9.30) |
|                      |                                 | 岡田 広<br>(平成25.9.30～平成26.9.4)    | 福岡 資麿<br>(平成25.9.30～平成26.9.4)   |
| 第2次安倍内閣<br>(第1次改造)   | 有村 治子<br>(平成26.9.3～平成26.12.24)  | 赤澤 亮正<br>(平成26.9.4～平成26.12.24)  | 越智 隆雄<br>(平成26.9.4～平成26.12.24)  |
| 第3次安倍内閣              | 山口 俊一<br>(平成26.12.24～平成27.10.7) | 平 将明<br>(平成26.12.25～平成27.10.9)  | 松本 洋平<br>(平成26.12.25～平成27.10.9) |
| 第3次安倍内閣<br>(改造内閣)    | 河野 太郎<br>(平成27.10.7～平成28.8.3)   | 松本 文明<br>(平成27.10.9～平成28.8.5)   | 酒井 庸行<br>(平成27.10.9～平成28.8.5)   |
| 第3次安倍内閣<br>(第2次改造内閣) | 松本 純<br>(平成28.8.3～平成29.8.3)     | 松本 洋平<br>(平成28.8.5～平成29.8.7)    | 務台 俊介<br>(平成28.8.5～平成29.3.10)   |
|                      |                                 |                                 | 長坂 康正<br>(平成29.3.10～平成29.11.1)  |
| 第3次安倍内閣<br>(第3次改造内閣) | 江崎 鐵磨<br>(平成29.8.3～平成29.11.1)   | ふくだ 峰之<br>(平成29.8.7～平成29.9.25)  | 長坂 康正（留任）                       |
|                      |                                 | あかま 二郎<br>(平成29.9.27～平成29.11.1) |                                 |
| 第4次安倍内閣              | 福井 照<br>(平成29.11.1～平成30.10.2)   | あかま 二郎<br>(平成29.11.2～平成30.10.4) | 山下 雄平<br>(平成29.11.2～平成30.10.4)  |
| 第4次安倍内閣<br>(改造内閣)    | 宮腰 光寛<br>(平成30.10.2～令和元9.11)    | 左藤 章<br>(平成30.10.4～令和元9.13)     | 安藤 裕<br>(平成30.10.4～令和元9.13)     |
| 第4次安倍内閣<br>(第2次改造内閣) | 衛藤 晟一<br>(令和元9.11～令和2.9.16)     | 大塚 拓<br>(令和元9.13～令和2.9.16)      | 藤原 崇<br>(令和元9.13～令和2.9.16)      |
| 菅内閣                  | 井上 信治<br>(令和2.9.16～令和3.10.4)    | 三ツ林 裕巳<br>(令和2.9.18～令和3.10.4)   | ☒川 越<br>(令和2.9.18～令和3.10.4)     |
| 岸田内閣                 | 若宮 健嗣<br>(令和3.10.4～令和3.11.10)   | 赤池 誠章<br>(令和3.10.6～令和3.11.10)   | 木村 哲也<br>(令和3.10.6～令和3.11.10)   |
| 第2次岸田内閣              | 若宮 健嗣<br>(令和3.11.10～令和4.8.10)   | 赤池 誠章<br>(令和3.11.11～令和4.8.12)   | 宮路 拓馬<br>(令和3.11.11～令和4.8.12)   |
| 第2次岸田内閣<br>(改造内閣)    | 河野 太郎<br>(令和4.8.10～)            | 大串 正樹<br>(令和4.8.12～)            | 尾崎 正直<br>(令和4.8.12～)            |

# 13 食品安全委員会委員の変遷

内閣総理大臣任命 任期3年 委員長は委員の互選

| 専門分野                  | 任期(3年)   |   |  | 備考        |
|-----------------------|--|---|--|-----------|
|                       | H25時点  | H27.7.1~  | H30.7.1~   |           |
| 公衆衛生学<br>等            | 佐藤 洋<br>(元(独)国立環境研究所理事)<br>任期: H24.7.1~R3.6.30(9年)   | 委員長 (H27.7.1~R3.6.30)   | 脇 昌子<br>(元(地独)静岡市立静岡病院<br>理事兼病院長補佐)<br>任期: R3.7.1~ | 常勤<br>委員  |
| 有機化学等                 | 山添 康<br>(元東北大学大学院薬学研究科教授)<br>任期: H24.7.1~H30.6.30(6年)  |   | 川西 徹<br>(元国立医薬品食品衛生研究所所長)<br>任期: H30.7.1~          | 常勤<br>委員  |
| 毒性学等                  | 三森 国敏<br>(元東京農工大学大学院農学<br>研究院教授)<br>任期: H24.7.1~H27.6.30(3年)   | 吉田 緑<br>(元国立医薬品食品衛生研究所安全生<br>物試験研究センター第一<br>二室長)<br>任期: H27.7.1~R3.6.30(6年) | 浅野 哲<br>(元国際医療福祉大学教授)<br>任期: R3.7.1~               | 常勤<br>委員  |
| 微生物等                  | H26.1.7~<br>熊谷 進<br>(元東京大学大学院農学生命科学<br>研究科特任<br>教授)<br>任期: H23.1.7~H29.1.6(6年)<br>委員長 (H24.7.1~H27.6.30) | H29.1.7~<br>山本 茂貴<br>(元東海大学教授)<br>任期: H29.1.7~                              | R2.1.7~  | 常勤<br>委員  |
| 消費者意<br>識、消費行<br>動等   | 石井 克枝<br>(千葉大学教育学部教授)<br>任期: H24.7.1~H30.6.30(6年)  |   | 香西 みどり<br>(元お茶の水女子大学基幹研究<br>院教授)<br>任期: H30.7.1~   | 非常勤<br>委員 |
| 情報交流                  | 上安平 冽子<br>(元(株)NHKグループ<br>メディアサービス企画事業部<br>担当部長)<br>任期: H24.7.1~H27.6.30(3年)                             | 堀口 逸子<br>(東京理科大学薬学部教授)<br>任期: H27.7.1~R3.6.30(6年)                           | 松永 和紀<br>(科学ジャーナリスト)<br>任期: R3.7.1~                | 非常勤<br>委員 |
| 食品の生<br>産・流通シ<br>ステム等 | 村田 容常<br>(お茶の水女子大学大学院人間文化<br>創成科学研究科教授)<br>任期: H21.7.1~H30.6.30(9年)                                      | 吉田 充<br>(日本獣医生命科学大学教授)<br>任期: H30.7.1~                                      |  | 非常勤<br>委員 |



## 14 専門調査会等座長・座長代理の変遷

|                       | 2013年<br>(平成25年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2014年<br>(平成26年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月         | 2015年<br>(平成27年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2016年<br>(平成28年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2017年<br>(平成29年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2018年<br>(平成30年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2019年<br>(平成31年 令和元年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2020年<br>(令和2年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2021年<br>(令和3年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2022年<br>(令和4年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2023年<br>(令和5年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 |  |
|-----------------------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|
| 化学物質・汚染物質             | 座長  | 園藤 時亨 (H24.11.27~H27.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 長谷川 隆一 (H23.12.22~H27.9.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 汚染物質等                 | 座長  | 長谷川 隆一 (H27.12.11~H29.9.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 野淵 英樹 (H27.12.11~H29.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 微生物・ウイルス              | 座長  | 藤澤 治雄 (H19.10.19~H25.9.30) 岡部 信彦 (H25.10.21~H29.9.30) |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 品川 邦次 (H21.11.2~H25.9.30) 吉川 泰弘 (H25.10.21~H29.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 酒井 龍美 (H22.12.24~H25.9.30) 村上 洋介 (H26.2.27~H30.3.31)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| フロン                   | 座長  | 水澤 英洋 (H18.6.22~H4.3.31)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 山本 茂貴 (H26.2.27~H29.1.6)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 茅渚 毛實 (H23.3.8~H25.9.30) 宮崎 茂 (H25.10.15~H29.9.30)    |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| かび菌・自然毒等              | 座長  | 宮崎 茂 (H23.11.30~H25.9.30) 合田 幸広 (H25.10.15~H29.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 津田 耕一 (H19.10.9~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H19.10.9~H26.3.31) 小関 良宏 (H26.4.4~H29.9.30)     |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 遺伝子組換え食品等             | 座長  | 津田 耕一 (H19.10.9~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 見玉 浩明 (H29.10.27~H30.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 清水 謙 (H24.10.19~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 新聞発食品                 | 座長  | 尾崎 博 (H24.10.19~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 藤木 英明 (H16.10.14~H25.9.30) 津田 修治 (H25.10.10~H27.9.30) |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 津田 修治 (H23.11.2~H25.9.30) 今井 俊夫 (H25.10.10~H27.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 肥料・飼料等                | 座長  | 山添 廉 (H22.10.15~H30.4.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 今井田 克己 (H22.10.15~H30.4.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| いかりん糖・食品に用いられる糖類・加工糖類 | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 梅理 敬三 (H27.6.22~H30.4.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 化学物質・汚染物質             | 座長  | 長谷川 隆一 (H23.12.22~H27.9.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 園藤 時亨 (H24.11.27~H27.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 長谷川 隆一 (H27.12.11~H29.9.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 汚染物質等                 | 座長  | 長谷川 隆一 (H27.12.11~H29.9.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 野淵 英樹 (H27.12.11~H29.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤澤 治雄 (H19.10.19~H25.9.30) 岡部 信彦 (H25.10.21~H29.9.30) |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 微生物・ウイルス              | 座長  | 品川 邦次 (H21.11.2~H25.9.30) 吉川 泰弘 (H25.10.21~H29.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 酒井 龍美 (H22.12.24~H25.9.30) 村上 洋介 (H26.2.27~H30.3.31)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 水澤 英洋 (H18.6.22~H4.3.31)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| フロン                   | 座長  | 水澤 英洋 (H18.6.22~H4.3.31)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 山本 茂貴 (H26.2.27~H29.1.6)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 茅渚 毛實 (H23.3.8~H25.9.30) 宮崎 茂 (H25.10.15~H29.9.30)    |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| かび菌・自然毒等              | 座長  | 宮崎 茂 (H23.11.30~H25.9.30) 合田 幸広 (H25.10.15~H29.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 津田 耕一 (H19.10.9~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H19.10.9~H26.3.31) 小関 良宏 (H26.4.4~H29.9.30)     |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 遺伝子組換え食品等             | 座長  | 津田 耕一 (H19.10.9~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 見玉 浩明 (H29.10.27~H30.9.30)                            |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 清水 謙 (H24.10.19~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 新聞発食品                 | 座長  | 尾崎 博 (H24.10.19~H29.9.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 藤木 英明 (H16.10.14~H25.9.30) 津田 修治 (H25.10.10~H27.9.30) |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 津田 修治 (H23.11.2~H25.9.30) 今井 俊夫 (H25.10.10~H27.9.30)  |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| 肥料・飼料等                | 座長  | 山添 廉 (H22.10.15~H30.4.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 今井田 克己 (H22.10.15~H30.4.30)                           |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
| いかりん糖・食品に用いられる糖類・加工糖類 | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長代理  | 梅理 敬三 (H27.6.22~H30.4.30)                             |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |
|                       | 座長  | 藤田 博 (H27.6.22~H30.4.30)                              |   |   |   |   |  |  |  |  |  |  |

# 14 専門調査会等座長・座長代理の変遷

|   | 2013年<br>(平成25年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2014年<br>(平成26年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2015年<br>(平成27年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2016年<br>(平成28年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月         | 2017年<br>(平成29年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月    | 2018年<br>(平成30年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2019年<br>(平成31年 令和元年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2020年<br>(令和2年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月      | 2021年<br>(令和3年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2022年<br>(令和4年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月 | 2023年<br>(令和5年)<br>1月 4月 7月 10月 1月 4月 7月 10月    |
|---|---|---|---|---|--|---|--|---|--|--|---|
| 加除剤に生じる<br>アクリルアミド<br>ワーキンググ<br>ループ           | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 青木 康雄(H28.2.1~H30.4.30)<br>野淵 英樹(H28.2.1~H30.4.30)    |  |   |  |   |  |  |   |
| 薬剤耐性菌に関<br>するワーキング<br>グループ                    | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 吉川 泰弘(H27.10.26~H29.9.30)<br>田村 重(H27.10.26~H29.9.30) | 田村 重(H28.1.5~R3.9.30)<br>荒川 重頼(H29.11.6~R3.9.30) |   |  | 荒川 重頼(R3.11.10~現在)<br>浅井 藤夫(R3.11.10~現在)          |  |  |   |
| 清涼飲料水に関<br>するワーキング<br>グループ                    | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 長谷川 隆一(H28.7.~H30.4.30)<br>渋谷 淳(H28.7.7~H30.4.30)     |  |   |  |   |  |  |   |
| 評価技術企画<br>ワーキンググ<br>ループ                       | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 川村 孝(H28.6.1~現在)<br>広瀬 明彦(H28.6.1~R3.9.30)            |  |   |  |   |  |  |   |
| 次世代ロムロ<br>キンググループ                             | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 長谷川 隆一(H29.7.6~R3.6.30)<br>田中 亮太(H29.7.6~R3.6.30)     |  |   |  |   |  |  |   |
| 栄養成分関連系<br>加除剤ワーキ<br>ンググループ                   | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 頭金 正博(H28.3.30~R3.9.30)<br>梅村 隆志(H28.3.30~H30.3.31)   |  |   | 吉田 宗弘(H31.1.30~R3.9.30)                            |   |  |  | 野田 宗弘(R3.11.4~現在)                               |
| アレルギー・食<br>なめ食品に関す<br>るワーキンググ<br>ループ          | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 丸井 英二(HH29.12.4~R3.6.30)<br>宇理須 厚雄(H29.12.4~R元.9.30)  |  |   |  |   |  |  | 松井 徹(R3.11.4~現在)                                |
| 香料ワーキング<br>グループ                               | 座長<br>座長代理                                    |   |   | 山崎 社(H30.2.5~現在)<br>西 豊雄(H30.2.5~現在)                  |  |   |  |   |  |  |   |
| 粉ワーキンググ<br>ループ                                | 座長<br>座長代理                                    |   |   |   |  |   |  | 松井 徹(R元.5.10~R3.6.30)<br>初田 香苗(R元.5.16~R3.6.30)   |  |  |   |
| 糖衣名原料と<br>して使用する調<br>製粉類に関す<br>るワーキンググ<br>ループ | 座長<br>座長代理                                    |   |   |   |  |   |  | 藤田 隆志(R1.10.24~R3.3.31)<br>豊福 隆(R1.10.24~R3.3.31) |  |  |   |
| ぶどう酒の製造<br>に用いる添加物<br>に関するワーキ<br>ンググループ       | 座長<br>座長代理                                    |   |   |   |  |   |  |   |  |  | 梅村 隆志(R3.5.28~現在)<br>石塚 真由美(R3.5.28~現在)         |
| 有機アッセ化合<br>物(PFAS)ワー<br>キンググループ               | 座長<br>座長代理                                    |   |   |   |  |   |  |   |  |  | 藤野 誠一郎<br>(R3.2.27~現在)<br>中山 祥嗣<br>(R3.2.27~現在) |



## 15 専門委員一覧

- 企画等専門調査会
- 添加物専門調査会
- 農薬専門調査会
- 農薬第一専門調査会
- 農薬第二専門調査会
- 農薬第三専門調査会
- 農薬第四専門調査会
- 農薬第五専門調査会
- 動物用医薬品専門調査会
- 器具・容器包装専門調査会
- 化学物質・汚染物質専門調査会（～平成27年9月30日まで）汚染物質等専門調査会（平成27年10月1日～）
- 微生物・ウイルス専門調査会
- プリオン専門調査会
- かび毒・自然毒等専門調査会
- 遺伝子組換え食品等専門調査会
- 新開発食品専門調査会
- 肥料・飼料等専門調査会
- 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ
- いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループ
- 加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ
- 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ
- 清涼飲料水に関するワーキンググループ
- 評価技術企画ワーキンググループ
- 六価クロムワーキンググループ
- 栄養成分関連添加物ワーキンググループ
- アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ
- 香料ワーキンググループ
- 鉛ワーキンググループ
- 菌末を原材料として使用する製粉乳に関するワーキンググループ
- ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ
- 有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ





〈農業専門調査会〉

| 2014年(平成26年)<br>4月改選 |        | 2016年(平成28年)<br>4月改選 |        | 2018年(平成30年)<br>4月改選 |        | 2020年(令和2年)<br>4月改選 |  | 2022年(令和4年)<br>4月改選 |  | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |  |
|----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|--------|---------------------|--|---------------------|--|---------------------|--|
| 1                    | 相磯 成敏  | 1                    | 相磯 成敏  | 1                    | 赤池 昭紀  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 2                    | 赤池 昭紀  | 2                    | 浅野 哲   | 2                    | 浅野 哲   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 3                    | 浅野 哲   | 3                    | 石井 雄二  | 3                    | 石井 雄二  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 4                    | 井上 薫** | 4                    | 太田 敏博  | 4                    | 乾 秀之   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 5                    | 上路 雅子  | 5                    | 小澤 正吾  | 5                    | 太田 敏博  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 6                    | 太田 敏博  | 6                    | 小野 敦   | 6                    | 小澤 正吾  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 7                    | 小澤 正吾  | 7                    | 加藤 美紀  | 7                    | 小野 敦   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 8                    | 小野 敦   | 8                    | 川口 博明  | 8                    | 加藤 美紀  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 9                    | 加藤 美紀  | 9                    | 久野 壽也  | 9                    | 川口 博明  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 10                   | 川口 博明  | 10                   | 栗形 麻樹子 | 10                   | 久野 壽也  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 11                   | 栗形 麻樹子 | 11                   | 腰岡 政二  | 11                   | 栗形 麻樹子 |                     |  |                     |  |                     |  |
| 12                   | 腰岡 政二  | 12                   | 三枝 順三  | 12                   | 腰岡 政二  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 13                   | 三枝 順三  | 13                   | 佐藤 洋   | 13                   | 佐藤 洋   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 14                   | 佐々木 有  | 14                   | 篠原 厚子  | 14                   | 篠原 厚子  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 15                   | 佐藤 洋   | 15                   | 代田 眞理子 | 15                   | 代田 眞理子 |                     |  |                     |  |                     |  |
| 16                   | 篠原 厚子  | 16                   | 杉原 数美  | 16                   | 杉原 数美  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 17                   | 代田 眞理子 | 17                   | 清家 伸康  | 17                   | 清家 伸康  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 18                   | 杉原 数美  | 18                   | 高木 篤也  | 18                   | 高木 篤也  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 19                   | 清家 伸康  | 19                   | 高橋 祐次  | 19                   | 高橋 祐次  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 20                   | 高木 篤也  | 20                   | 塚原 伸治  | 20                   | 玉井 郁巳  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 21                   | 玉井 郁巳  | 21                   | 豊田 武士  | 21                   | 豊田 武士  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 22                   | 田村 廣人  | 22                   | 中島 美紀  | 22                   | 中島 美紀  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 23                   | 中島 美紀  | 23                   | 中島 裕司  | 23                   | 中島 裕司  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 24                   | 永田 清   | 24                   | 中塚 敏夫  | 24                   | 永田 清   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 25                   | 中塚 敏夫  | 25                   | 長野 嘉介  | 25                   | 中塚 敏夫  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 26                   | 長野 嘉介  | 26                   | 中山 眞義  | 26                   | 長野 嘉介  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 27                   | 中山 眞義  | 27                   | 納屋 聖人  | 27                   | 中山 眞義  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 28                   | 納屋 聖人  | 28                   | 西川 秋佳  | 28                   | 納屋 聖人  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 29                   | 西川 秋佳  | 29                   | 根岸 友恵  | 29                   | 西川 秋佳  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 30                   | 根岸 友恵  | 30                   | 八田 稔久  | 30                   | 根岸 友恵  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 31                   | 八田 稔久  | 31                   | 林 真    | 31                   | 八田 稔久  |                     |  |                     |  |                     |  |
| 32                   | 林 真    | 32                   | 平塚 明   | 32                   | 平塚 明   |                     |  |                     |  |                     |  |
| 33                   | 平塚 明   | 33                   | 平林 容子  | 33                   | 平林 容子  |                     |  |                     |  |                     |  |

農業第一～第五専門調査会に改組



〈農業第一専門調査会〉

| 2014年(平成26年)<br>4月改選 | 2016年(平成28年)<br>4月改選 | 2018年(平成30年)<br>4月改選 | 2020年(令和2年)<br>4月当初 | 2022年(令和4年)<br>4月改選 | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |
|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                      |                      |                      | 1 赤池 昭紀*            | 1 井上 真奈美            | 1 井上 真奈美            |
|                      |                      |                      | 2 浅野 哲**            | 2 小澤 正吾             | 2 小澤 正吾             |
|                      |                      |                      | 3 小澤 正吾             | 3 小野 敦              | 3 小野 敦              |
|                      |                      |                      | 4 小野 敦              | 4 栗形 麻樹子            | 4 栗形 麻樹子            |
|                      |                      |                      | 5 栗形 麻樹子***         | 5 杉山 圭一             | 5 杉山 圭一             |
|                      |                      |                      | 6 清家 伸康             | 6 清家 伸康             | 6 清家 伸康             |
|                      |                      |                      | 7 中島 美紀             | 7 祖父江 友孝            | 7 祖父江 友孝            |
|                      |                      |                      | 8 本間 正充             | 8 平林 容子             | 8 平林 容子             |
|                      |                      |                      | 9 松本 清司             | 9 堀本 政夫             | 9 堀本 政夫             |
|                      |                      |                      | 10 美谷島 克宏           | 10 本間 正充            | 10 本間 正充            |
|                      |                      |                      |                     | 11 美谷島 克宏           | 11 美谷島 克宏           |
|                      |                      |                      | *令和3年8月4日から         | 12 興語 靖洋            | 12 興語 靖洋            |
|                      |                      |                      | **令和3年6月30日まで       | 13 義澤 克彦            | 13 義澤 克彦            |
|                      |                      |                      | ***令和3年9月30日まで      |                     |                     |

〈農業第二専門調査会〉

| 2014年 (平成26年)<br>4月改選 | 2016年 (平成28年)<br>4月改選 | 2018年 (平成30年)<br>4月改選 | 2020年 (令和2年)<br>4月当初 | 2022年 (令和4年)<br>4月改選 | 2023年 (令和5年)<br>4月現在 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|                       |                       |                       | 1 赤池 昭紀              | 1 稲見 圭子              | 1 稲見 圭子              |
|                       |                       |                       | 2 浅野 哲*              | 2 佐藤 順子              | 2 佐藤 順子              |
|                       |                       |                       | 3 稲見 圭子              | 3 篠原 厚子              | 3 篠原 厚子              |
|                       |                       |                       | 4 佐藤 順子**            | 4 清家 伸康              | 4 清家 伸康              |
|                       |                       |                       | 5 篠原 厚子              | 5 田中 徹也              | 5 田中 徹也              |
|                       |                       |                       | 6 清家 伸康              | 6 豊田 武士              | 6 豊田 武士              |
|                       |                       |                       | 7 田中 徹也              | 7 中塚 敏夫              | 7 中塚 敏夫              |
|                       |                       |                       | 8 豊田 武士              | 8 野村 崇人              | 8 野村 崇人              |
|                       |                       |                       | 9 中塚 敏夫              | 9 平塚 明               | 9 平塚 明               |
|                       |                       |                       | 10 野村 崇人             | 10 藤本 成明             | 10 藤本 成明             |
|                       |                       |                       | 11 平塚 明              | 11 堀本 政夫             | 11 堀本 政夫             |
|                       |                       |                       | 12 藤本 成明             | 12 森田 健              | 12 森田 健              |
|                       |                       |                       | 13 森田 健              |                      |                      |
|                       |                       |                       |                      |                      |                      |
|                       |                       |                       | *令和3年6月30日まで         |                      |                      |
|                       |                       |                       | **令和3年8月4日から         |                      |                      |

〈農業第三専門調査会〉

| 2014年 (平成26年)<br>4月改選 | 2016年 (平成28年)<br>4月改選 | 2018年 (平成30年)<br>4月改選 | 2020年 (令和2年)<br>4月当初 | 2022年 (令和4年)<br>4月改選 | 2023年 (令和5年)<br>4月現在 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|                       |                       |                       | 1 小澤 正吾              | 1 小澤 正吾              | 1 小澤 正吾              |
|                       |                       |                       | 2 久野 壽也              | 2 久野 壽也              | 2 久野 壽也              |
|                       |                       |                       | 3 葉形 麻樹子*            | 3 葉形 麻樹子             | 3 葉形 麻樹子             |
|                       |                       |                       | 4 古武 弥一郎             | 4 小嶋 五百合             | 4 小嶋 五百合             |
|                       |                       |                       | 5 中島 美紀              | 5 古武 弥一郎             | 5 古武 弥一郎             |
|                       |                       |                       | 6 平林 容子              | 6 杉山 圭一              | 6 杉山 圭一              |
|                       |                       |                       | 7 松本 清司              | 7 八田 稔久              | 7 八田 稔久              |
|                       |                       |                       | 8 山手 丈至              | 8 平林 容子              | 8 平林 容子              |
|                       |                       |                       | 9 山本 雅子              | 9 安彦 行人              | 9 安彦 行人              |
|                       |                       |                       | 10 若栗 忍              | 10 山手 丈至             | 10 山手 丈至             |
|                       |                       |                       | 11 渡邊 栄喜             | 11 義澤 克彦             | 11 義澤 克彦             |
|                       |                       |                       |                      | 12 渡邊 栄喜             | 12 渡邊 栄喜             |
|                       |                       |                       | *令和3年9月30日まで         | 13 渡邊 雅彦             | 13 渡邊 雅彦             |

〈農業第四専門調査会〉

| 2014年(平成26年)<br>4月改選 | 2016年(平成28年)<br>4月改選 | 2018年(平成30年)<br>4月改選 | 2020年(令和2年)<br>4月当初 | 2022年(令和4年)<br>4月改選 | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |
|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                      | 1 石井 雄二              | 1 石井 雄二              | 1 石井 雄二             | 1 石井 雄二             | 1 石井 雄二             |
|                      | 2 太田 敏博              | 2 太田 敏博              | 2 太田 敏博             | 2 太田 敏博             | 2 太田 敏博             |
|                      | 3 小野 敦               | 3 小野 敦               | 3 小野 敦              | 3 小野 敦              | 3 小野 敦              |
|                      | 4 楠原 洋之              | 4 楠原 洋之              | 4 楠原 洋之             | 4 楠原 洋之             | 4 楠原 洋之             |
|                      | 5 小林 健一              | 5 小林 健一              | 5 小林 健一             | 5 小林 健一             | 5 小林 健一             |
|                      | 6 佐藤 洋               | 6 佐藤 洋               | 6 佐藤 洋              | 6 佐藤 洋              | 6 佐藤 洋              |
|                      | 7 杉原 数美              | 7 杉原 数美              | 7 杉原 数美             | 7 杉原 数美             | 7 杉原 数美             |
|                      | 8 高木 篤也              | 8 高木 篤也              | 8 永田 清              | 8 永田 清              | 8 永田 清              |
|                      | 9 永田 清               | 9 永田 清               | 9 永田 清              | 9 永田 清              | 9 永田 清              |
|                      | 10 中山 真義             | 10 中山 真義             | 10 中山 真義            | 10 納屋 聖人            | 10 納屋 聖人            |
|                      | 11 藤井 咲子             | 11 藤井 咲子             | 11 藤井 咲子            | 11 藤井 咲子            | 11 藤井 咲子            |
|                      | 12 本多 一郎             | 12 本多 一郎             | 12 安井 学             | 12 安井 学             | 12 安井 学             |
|                      | 13 安井 学              | 13 安井 学              |                     |                     |                     |

〈農業第五専門調査会〉

| 2014年(平成26年)<br>4月改選 | 2016年(平成28年)<br>4月改選 | 2018年(平成30年)<br>4月改選 | 2020年(令和2年)<br>4月当初 | 2022年(令和4年)<br>4月改選 | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |
|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                      | 1 乾 秀之               | 1 乾 秀之               | 1 乾 秀之              | 1 乾 秀之              | 1 乾 秀之              |
|                      | 2 宇田川 潤              | 2 宇田川 潤              | 2 宇田川 潤             | 2 宇田川 潤             | 2 宇田川 潤             |
|                      | 3 加藤 美紀              | 3 加藤 美紀              | 3 加藤 美紀             | 3 籠橋 有紀子            | 3 籠橋 有紀子            |
|                      | 4 久米 利明              | 4 久米 利明              | 4 久米 利明             | 4 加藤 美紀             | 4 加藤 美紀             |
|                      | 5 代田 真理子             | 5 代田 真理子             | 5 代田 真理子            | 5 川口 博明             | 5 川口 博明             |
|                      | 6 高橋 祐次              | 6 高橋 祐次              | 6 高橋 祐次             | 6 久米 利明             | 6 久米 利明             |
|                      | 7 玉井 郁巳              | 7 玉井 郁巳              | 7 玉井 郁巳             | 7 高橋 祐次             | 7 高橋 祐次             |
|                      | 8 西川 秋佳              | 8 西川 秋佳              | 8 西川 秋佳             | 8 玉井 郁巳             | 8 玉井 郁巳             |
|                      | 9 根岸 友恵              | 9 根岸 友恵              | 9 根岸 友恵             | 9 西川 秋佳             | 9 西川 秋佳             |
|                      | 10 本間 正充             | 10 本間 正充             | 10 本間 正充            | 10 古濱 彩子            | 10 古濱 彩子            |
|                      | 11 美谷島 克宏            | 11 美谷島 克宏            | 11 美谷島 克宏           | 11 本間 正充            | 11 本間 正充            |
|                      |                      |                      |                     | 12 美谷島 克宏           | 12 美谷島 克宏           |
|                      |                      |                      |                     | 13 興語 靖洋            | 13 興語 靖洋            |



〈動物用医薬品専門調査会〉

| 2013年(平成25年)<br>10月改選 |        | 2015年(平成27年)<br>10月改選 |                | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |              | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |             | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |        | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |        |
|-----------------------|--------|-----------------------|----------------|-----------------------|--------------|----------------------|-------------|----------------------|--------|---------------------|--------|
| 1                     | 青木 博史  | 1                     | 青木 博史          | 1                     | 青木 博史        | 1                    | 青木 博史       | 1                    | 青木 博史  | 1                   | 青木 博史  |
| 2                     | 青山 博昭  | 2                     | 青山 博昭          | 2                     | 青山 博昭        | 2                    | 青山 博昭       | 2                    | 青山 博昭  | 2                   | 青山 博昭  |
| 3                     | 石川 さと子 | 3                     | 石川 さと子         | 3                     | 石川 さと子       | 3                    | 石川 さと子      | 3                    | 石塚 真由美 | 3                   | 石塚 真由美 |
| 4                     | 石川 整   | 4                     | 石塚 真由美*        | 4                     | 石塚 真由美*      | 4                    | 石塚 真由美      | 4                    | 稲見 圭子  | 4                   | 稲見 圭子  |
| 5                     | 小川 久美子 | 5                     | 小川 久美子         | 5                     | 小川 久美子       | 5                    | 小川 久美子      | 5                    | 伊吹 裕子  | 5                   | 伊吹 裕子  |
| 6                     | 川治 聡子  | 6                     | 島田 章則          | 6                     | 島田 章則        | 6                    | 島田 章則       | 6                    | 桑村 充   | 6                   | 桑村 充   |
| 7                     | 須永 藤子  | 7                     | 島田 美樹*         | 7                     | 島田 美樹        | 7                    | 島田 美樹       | 7                    | 島田 章則  | 7                   | 島田 章則  |
| 8                     | 辻 尚利   | 8                     | 須永 藤子          | 8                     | 下地 善弘        | 8                    | 下地 善弘       | 8                    | 島田 美樹  | 8                   | 島田 美樹  |
| 9                     | 寺岡 宏樹  | 9                     | 辻 尚利           | 9                     | 須永 藤子        | 9                    | 須永 藤子       | 9                    | 須永 藤子  | 9                   | 須永 藤子  |
| 10                    | 能美 健彦  | 10                    | 寺岡 宏樹          | 10                    | 辻 尚利         | 10                   | 辻 尚利        | 10                   | 寺岡 宏樹  | 10                  | 寺岡 宏樹  |
| 11                    | 舞田 正志  | 11                    | 能美 健彦          | 11                    | 寺岡 宏樹        | 11                   | 寺岡 宏樹       | 11                   | 内木 綾   | 11                  | 内木 綾   |
| 12                    | 松尾 三郎  | 12                    | 舞田 正志          | 12                    | 能美 健彦        | 12                   | 中西 剛        | 12                   | 中西 剛   | 12                  | 中西 剛   |
| 13                    | 宮田 昌明  | 13                    | 宮田 昌明          | 13                    | 舞田 正志        | 13                   | 能美 健彦       | 13                   | 宮田 昌明  | 13                  | 宮田 昌明  |
| 14                    | 山崎 浩史  | 14                    | 山崎 浩史**        | 14                    | 宮田 昌明        | 14                   | 宮田 昌明       | 14                   | 山本 昌美  | 14                  | 山本 昌美  |
| 15                    | 山手 文至  | 15                    | 吉田 和生          | 15                    | 吉田 敏則        | 15                   | 山本 昌美*      |                      |        |                     |        |
| 16                    | 吉田 和生  | 16                    | 吉田 敏則          | 16                    | 渡邊 敏明        |                      |             |                      |        |                     |        |
| 17                    | 吉田 敏則  | 17                    | 渡邊 敏明          |                       |              |                      | *令和2年4月1日から |                      |        |                     |        |
| 18                    | 渡邊 敏明  |                       |                |                       | *平成30年4月1日から |                      |             |                      |        |                     |        |
|                       |        |                       | *平成28年4月1日から   |                       |              |                      |             |                      |        |                     |        |
|                       |        |                       | **平成28年3月31日まで |                       |              |                      |             |                      |        |                     |        |

〈器具・容器包装専門調査会〉

| 2013年(平成25年)<br>10月改選 |        | 2015年(平成27年)<br>10月改選 |        | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |                | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |        | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |        | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |             |
|-----------------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|----------------|----------------------|--------|----------------------|--------|---------------------|-------------|
| 1                     | 石原 陽子  | 1                     | 井口 泰泉  | 1                     | 井口 泰泉          | 1                    | 井口 泰泉  | 1                    | 石原 陽子  | 1                   | 石原 陽子       |
| 2                     | 小野 敦   | 2                     | 石原 陽子  | 2                     | 石原 陽子          | 2                    | 石原 陽子  | 2                    | 尾崎 麻子  | 2                   | 尾崎 麻子       |
| 3                     | 小林 カオル | 3                     | 尾崎 麻子  | 3                     | 尾崎 麻子          | 3                    | 尾崎 麻子  | 3                    | 小野 敦   | 3                   | 小野 敦        |
| 4                     | 曾根 秀子  | 4                     | 小野 敦   | 4                     | 小野 敦           | 4                    | 小野 敦   | 4                    | 佐藤 友美  | 4                   | 齋藤 文代*      |
| 5                     | 田中 亮太  | 5                     | 小林 カオル | 5                     | 小林 カオル         | 5                    | 小林 カオル | 5                    | 曾根 秀子  | 5                   | 佐藤 友美       |
| 6                     | 中江 大   | 6                     | 曾根 秀子  | 6                     | 曾根 秀子          | 6                    | 曾根 秀子  | 6                    | 高田 十志和 | 6                   | 曾根 秀子       |
| 7                     | 那須 民江  | 7                     | 田中 亮太  | 7                     | 田中 亮太*         | 7                    | 高田 十志和 | 7                    | 中江 大   | 7                   | 高田 十志和      |
| 8                     | 能美 健彦  | 8                     | 中江 大   | 8                     | 中江 大**         | 8                    | 中江 大   | 8                    | 能美 健彦  | 8                   | 中江 大        |
| 9                     | 松永 民秀  | 9                     | 那須 民江  | 9                     | 那須 民江          | 9                    | 能美 健彦  | 9                    | 北條 仁   | 9                   | 能美 健彦       |
| 10                    | 六鹿 元雄  | 10                    | 能美 健彦  | 10                    | 能美 健彦          | 10                   | 北條 仁   | 10                   | 堀端 克良  | 10                  | 北條 仁        |
| 11                    | 横井 毅   | 11                    | 松永 民秀  | 11                    | 北條 仁***        | 11                   | 堀端 克良  | 11                   | 増田 修一  | 11                  | 堀端 克良       |
| 12                    | 吉永 淳   | 12                    | 六鹿 元雄  | 12                    | 堀端 克良***       | 12                   | 増田 修一  | 12                   | 六鹿 元雄  | 12                  | 増田 修一       |
|                       |        | 13                    | 横井 毅   | 13                    | 増田 修一          | 13                   | 松永 民秀  | 13                   | 村山 典恵  | 13                  | 三浦 佳子*      |
|                       |        | 14                    | 吉永 淳   | 14                    | 松永 民秀          | 14                   | 六鹿 元雄  | 14                   | 渡辺 雅彦  | 14                  | 六鹿 元雄       |
|                       |        |                       |        | 15                    | 六鹿 元雄          | 15                   | 横井 毅   |                      |        | 15                  | 村山 典恵       |
|                       |        |                       |        | 16                    | 横井 毅           | 16                   | 横井 毅   |                      |        | 16                  | 渡辺 雅彦       |
|                       |        |                       |        | 17                    | 吉永 淳           | 17                   | 吉永 淳   |                      |        |                     | *令和4年4月1日から |
|                       |        |                       |        |                       | *平成30年8月31日まで  |                      |        |                      |        |                     |             |
|                       |        |                       |        |                       | **平成30年4月1日から  |                      |        |                      |        |                     |             |
|                       |        |                       |        |                       | ***平成30年9月1日から |                      |        |                      |        |                     |             |

〈化学物質・汚染物質専門調査会（～平成27年9月30日まで） 汚染物質等専門調査会（平成27年10月1日～）〉

| 2013年（平成25年）<br>10月改選 |        | 2015年（平成27年）<br>10月改選 |                | 2017年（平成29年）<br>10月改選 |                 | 2019年（令和元年）<br>10月改選 |        | 2021年（令和3年）<br>10月改選 |         | 2023年（令和5年）<br>4月現在 |        |
|-----------------------|--------|-----------------------|----------------|-----------------------|-----------------|----------------------|--------|----------------------|---------|---------------------|--------|
| 1                     | 青木 康展  | 1                     | 青木 康展          | 1                     | 青木 康展           | 1                    | 龜山 浩   | 1                    | 岩澤 聡子   | 1                   | 岩澤 聡子  |
| 2                     | 浅見 真理  | 2                     | 龜山 浩           | 2                     | 龜山 浩            | 2                    | 浅見 真理  | 2                    | 香川 聡子   | 2                   | 香川 聡子  |
| 3                     | 圓藤 吟史  | 3                     | 浅見 真理          | 3                     | 浅見 真理           | 3                    | 石原 淳子  | 3                    | 菊田 香苗   | 3                   | 菊田 香苗  |
| 4                     | 圓藤 陽子  | 4                     | 遠藤 裕子          | 4                     | 石原 淳子           | 4                    | 井上 真奈美 | 4                    | 渋谷 淳*   | 4                   | 渋谷 淳   |
| 5                     | 香山 不二雄 | 5                     | 圓藤 陽子          | 5                     | 遠藤 裕子*          | 5                    | 岩澤 聡子  | 5                    | 祖父江 友孝* | 5                   | 祖父江 友孝 |
| 6                     | 川西 徹   | 6                     | 太田 茂           | 6                     | 圓藤 陽子           | 6                    | 太田 茂   | 6                    | 堤 智昭    | 6                   | 堤 智昭   |
| 7                     | 川村 孝   | 7                     | 香山 不二雄         | 7                     | 太田 茂            | 7                    | 香川 聡子  | 7                    | 中山 祥嗣   | 7                   | 中山 祥嗣  |
| 8                     | 熊谷 嘉人  | 8                     | 菊田 香苗          | 8                     | 香山 不二雄          | 8                    | 香山 不二雄 | 8                    | 野原 恵子   | 8                   | 野原 恵子  |
| 9                     | 渋谷 淳   | 9                     | 川西 徹           | 9                     | 菊田 香苗           | 9                    | 菊田 香苗  | 9                    | 姫野 誠一郎  | 9                   | 姫野 誠一郎 |
| 10                    | 祖父江 友孝 | 10                    | 河原 純子          | 10                    | 川西 徹**          | 10                   | 川村 孝   | 10                   | 松井 徹    | 10                  | 松井 徹   |
| 11                    | 高橋 智   | 11                    | 川村 孝           | 11                    | 川村 孝            | 11                   | 桑村 充   | 11                   | 吉永 淳    | 11                  | 吉永 淳   |
| 12                    | 田中 亮太  | 12                    | 熊谷 嘉人          | 12                    | 熊谷 嘉人           | 12                   | 熊谷 嘉人  | 12                   | 吉成 浩一   | 12                  | 吉成 浩一  |
| 13                    | 野原 恵子  | 13                    | 桑村 充           | 13                    | 桑村 充            | 13                   | 桑村 充   | 13                   |         |                     |        |
| 14                    | 長谷川 隆一 | 14                    | 齋藤 嘉朗          | 14                    | 齋藤 嘉朗           | 14                   | 齋藤 嘉朗  | 14                   |         |                     |        |
| 15                    | 福島 哲仁  | 15                    | 渋谷 淳*          | 15                    | 渋谷 淳            | 15                   | 渋谷 淳   | 15                   |         |                     |        |
| 16                    | 増村 健一  | 16                    | 關野 祐子          | 16                    | 關野 祐子           | 16                   | 關野 祐子  | 16                   |         |                     |        |
| 17                    | 村田 勝敬  | 17                    | 祖父江 友孝         | 17                    | 祖父江 友孝          | 17                   | 高橋 智   | 17                   |         |                     |        |
| 18                    | 村山 典恵  | 18                    | 高橋 智           | 18                    | 高橋 智            | 18                   | 野原 恵子  | 18                   |         |                     |        |
| 19                    | 吉田 充   | 19                    | 田中 亮太          | 19                    | 田中 亮太***        | 19                   | 野原 恵子  | 19                   |         |                     |        |
| 20                    | 吉永 淳   | 20                    | 野原 恵子          | 20                    | 野原 恵子           | 20                   | 野原 恵子  | 20                   |         |                     |        |
| 21                    | 吉成 浩一  | 21                    | 長谷川 隆一         | 21                    | 長谷川 隆一          | 21                   | 福島 哲仁  | 21                   |         |                     |        |
| 22                    | 鰐淵 英機  | 22                    | 広瀬 明彦          | 22                    | 広瀬 明彦           | 22                   | 北條 仁   | 22                   |         |                     |        |
|                       |        | 23                    | 福島 哲仁          | 23                    | 福島 哲仁           | 23                   | 増田 修一  | 23                   |         |                     |        |
|                       |        | 24                    | 増村 健一          | 24                    | 北條 仁****        | 24                   | 宮川 宗之  | 24                   |         |                     |        |
|                       |        | 25                    | 宮川 宗之          | 25                    | 増田 修一           | 25                   | 村山 典恵  | 25                   |         |                     |        |
|                       |        | 26                    | 村山 典恵          | 26                    | 増村 健一           | 26                   | 吉成 浩一  | 26                   |         |                     |        |
|                       |        | 27                    | 吉田 充           | 27                    | 宮川 宗之           | 27                   |        |                      |         |                     |        |
|                       |        | 28                    | 吉永 淳           | 28                    | 村山 典恵           | 28                   |        |                      |         |                     |        |
|                       |        | 29                    | 吉成 浩一          | 29                    | 吉田 充**          | 29                   |        |                      |         |                     |        |
|                       |        | 30                    | 鰐淵 英機          | 30                    | 吉永 淳            | 30                   |        |                      |         |                     |        |
|                       |        | 31                    | 村田 勝敬*         | 31                    | 吉成 浩一           | 31                   |        |                      |         |                     |        |
|                       |        |                       | *平成28年12月31日まで |                       | *平成31年3月31日まで   |                      |        |                      |         |                     |        |
|                       |        |                       | **平成28年4月1日から  |                       | **平成30年6月30日まで  |                      |        |                      |         |                     |        |
|                       |        |                       |                |                       | ***平成30年8月31日まで |                      |        |                      |         |                     |        |
|                       |        |                       |                |                       | ****平成30年9月1日から |                      |        |                      |         |                     |        |





## 〈かび毒・自然毒等専門調査会〉

| 2013年(平成25年)<br>10月改選 |        | 2015年(平成27年)<br>10月改選 |        | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |        | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |        | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |                | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |        |
|-----------------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|----------------|---------------------|--------|
| 1                     | 荒川 修   | 1                     | 荒川 修   | 1                     | 荒川 修   | 1                    | 荒川 修   | 1                    | 内山 奈穂子*        | 1                   | 内山 奈穂子 |
| 2                     | 川原 信夫  | 2                     | 大藤 さとこ | 2                     | 大藤 さとこ | 2                    | 大藤 さとこ | 2                    | 大城 直雅          | 2                   | 大城 直雅  |
| 3                     | 久米田 裕子 | 3                     | 川原 信夫  | 3                     | 川原 信夫  | 3                    | 久城 真代  | 3                    | 久城 真代          | 3                   | 久城 真代  |
| 4                     | 合田 幸広  | 4                     | 久米田 裕子 | 4                     | 久米田 裕子 | 4                    | 久米田 裕子 | 4                    | 合田 幸広**        | 4                   | 佐藤 順子  |
| 5                     | 小西 良子  | 5                     | 久米田 裕子 | 5                     | 久米田 裕子 | 5                    | 合田 幸広  | 5                    | 佐藤 順子          | 5                   | 渋谷 淳   |
| 6                     | 渋谷 淳   | 6                     | 合田 幸広  | 6                     | 合田 幸広  | 6                    | 佐藤 順子  | 6                    | 渋谷 淳           | 6                   | 鈴木 敏之  |
| 7                     | 杉山 圭一  | 7                     | 小西 良子  | 7                     | 小西 良子  | 7                    | 渋谷 淳   | 7                    | 杉山 圭一***       | 7                   | 増村 健一  |
| 8                     | 鈴木 敏之  | 8                     | 佐藤 順子  | 8                     | 佐藤 順子  | 8                    | 杉山 圭一  | 8                    | 鈴木 敏之          | 8                   | 山下 まり  |
| 9                     | 豊福 肇   | 9                     | 渋谷 淳   | 9                     | 渋谷 淳   | 9                    | 鈴木 敏之  | 9                    | 増村 健一****      | 9                   | 吉成 知也  |
| 10                    | 長島 裕二  | 10                    | 杉山 圭一  | 10                    | 杉山 圭一  | 10                   | 豊福 肇   | 10                   | 山下 まり          | 10                  | 渡辺 麻衣子 |
| 11                    | 宮崎 茂   | 11                    | 鈴木 敏之  | 11                    | 鈴木 敏之  | 11                   | 細江 智夫  | 11                   | 吉成 知也          |                     |        |
| 12                    | 矢部 希見子 | 12                    | 宮崎 茂   | 12                    | 豊福 肇   | 12                   | 宮崎 茂   | 12                   | 渡辺 麻衣子         |                     |        |
| 13                    | 山崎 寛治  | 13                    | 矢部 希見子 | 13                    | 長島 裕二  | 13                   | 山下 まり  |                      |                |                     |        |
| 14                    | 渡辺 麻衣子 | 14                    | 山崎 寛治  | 14                    | 宮崎 茂   | 14                   | 吉成 知也  |                      | *令和4年10月1日から   |                     |        |
|                       |        | 15                    | 吉成 知也* | 15                    | 吉成 知也  | 15                   | 渡辺 麻衣子 |                      | **令和4年9月30日まで  |                     |        |
|                       |        | 16                    | 渡辺 麻衣子 | 16                    | 渡辺 麻衣子 |                      |        |                      | ***令和4年3月31日まで |                     |        |
|                       |        |                       |        |                       |        |                      |        |                      | ****令和4年4月1日から |                     |        |
|                       |        |                       |        |                       |        |                      |        |                      |                |                     |        |

〈遺伝子組換え食品等専門調査会〉

| 2013年(平成25年)<br>10月改選 |         | 2015年(平成27年)<br>10月改選 |        | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |                | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |        | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |              | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |        |
|-----------------------|---------|-----------------------|--------|-----------------------|----------------|----------------------|--------|----------------------|--------------|---------------------|--------|
| 1                     | 宇理須 厚雄  | 1                     | 岡田 由美子 | 1                     | 岡田 由美子         | 1                    | 安達 玲子  | 1                    | 安達 玲子        | 1                   | 安達 玲子  |
| 2                     | 岡田 由美子* | 2                     | 小関 良宏  | 2                     | 飯島 陽子*         | 2                    | 飯島 陽子  | 2                    | 岡田 由美子       | 2                   | 岡田 由美子 |
| 3                     | 小関 良宏   | 3                     | 橘田 和美  | 3                     | 小関 良宏          | 3                    | 岡田 由美子 | 3                    | 小関 良宏*       | 3                   | 小野 道之  |
| 4                     | 鎌田 博**  | 4                     | 兄玉 浩明  | 4                     | 橘田 和美          | 4                    | 小関 良宏  | 4                    | 小野 道之        | 4                   | 小野 道之  |
| 5                     | 橋田 和美   | 5                     | 近藤 一成  | 5                     | 兄玉 浩明          | 5                    | 小野 竜一  | 5                    | 小野 竜一        | 5                   | 小野 竜一  |
| 6                     | 兄玉 浩明   | 6                     | 澤田 純一  | 6                     | 近藤 一成          | 6                    | 橋田 和美  | 6                    | 近藤 一成        | 6                   | 近藤 一成  |
| 7                     | 近藤 一成   | 7                     | 柘植 郁哉  | 7                     | 鈴木 秀幸**        | 7                    | 兄玉 浩明  | 7                    | 佐々木 伸大**     | 7                   | 佐々木 伸大 |
| 8                     | 澤田 純一   | 8                     | 手島 玲子  | 8                     | 柘植 郁哉          | 8                    | 近藤 一成  | 8                    | 中島 春紫        | 8                   | 中島 春紫  |
| 9                     | 手島 玲子   | 9                     | 中島 春紫  | 9                     | 手島 玲子          | 9                    | 手島 玲子  | 9                    | 樋口 恭子        | 9                   | 樋口 恭子  |
| 10                    | 中島 春紫   | 10                    | 樋口 恭子  | 10                    | 中島 春紫          | 10                   | 中島 春紫  | 10                   | 藤原 すみれ       | 10                  | 藤原 すみれ |
| 11                    | 飯 哲夫    | 11                    | 飯 哲夫   | 11                    | 樋口 恭子          | 11                   | 樋口 恭子  | 10                   | 藤原 すみれ       | 10                  | 山川 隆   |
| 12                    | 和久井 信   | 12                    | 山川 隆   | 12                    | 山川 隆           | 12                   | 山川 隆   | 11                   | 山川 隆         |                     |        |
|                       |         | 13                    | 和久井 信  | 13                    | 吉川 信幸          |                      | 吉川 信幸  |                      |              |                     |        |
|                       |         |                       |        |                       | *平成31年4月1日から   |                      |        |                      | *令和4年3月31日まで |                     |        |
|                       |         |                       |        |                       | **平成31年3月31日まで |                      |        |                      | **令和4年4月1日から |                     |        |





〈肥料・飼料等専門調査会〉

| 2013年(平成25年)<br>10月改選 |        | 2015年(平成27年)<br>10月改選 |                  | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |        | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |               | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |              | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |        |
|-----------------------|--------|-----------------------|------------------|-----------------------|--------|----------------------|---------------|----------------------|--------------|---------------------|--------|
| 1                     | 荒川 宜親  | 1                     | 荒川 宜親            | 1                     | 新井 鐘蔵  | 1                    | 新井 鐘蔵         | 1                    | 赤沼 三恵        | 1                   | 赤沼 三恵  |
| 2                     | 池 康嘉   | 2                     | 石原 加奈子*          | 2                     | 荒川 宜親  | 2                    | 荒川 宜親         | 2                    | 新井 鐘蔵        | 2                   | 新井 鐘蔵  |
| 3                     | 石原 加奈子 | 3                     | 今井 俊夫            | 3                     | 今井 俊夫  | 3                    | 井手 鉄哉*        | 3                    | 荒川 宜親        | 3                   | 荒川 宜親  |
| 4                     | 今井 俊夫  | 4                     | 今田 千秋            | 4                     | 今田 千秋  | 4                    | 今井 俊夫         | 4                    | 井上 薫         | 4                   | 井上 薫   |
| 5                     | 今田 千秋  | 5                     | 植田 富貴子           | 5                     | 植田 富貴子 | 5                    | 今田 千秋         | 5                    | 今田 千秋        | 5                   | 今田 千秋  |
| 6                     | 桑形 麻樹子 | 6                     | 川本 恵子**          | 6                     | 川本 恵子  | 6                    | 植田 富貴子        | 6                    | 植田 富貴子       | 6                   | 植田 富貴子 |
| 7                     | 小林 健一  | 7                     | 桑形 麻樹子           | 7                     | 桑形 麻樹子 | 7                    | 川本 恵子         | 7                    | 川本 恵子        | 7                   | 川本 恵子  |
| 8                     | 下位 香代子 | 8                     | 小林 健一            | 8                     | 小林 健一  | 8                    | 小林 健一         | 8                    | 小林 健一        | 8                   | 小林 健一  |
| 9                     | 高橋 和彦  | 9                     | 佐々木 一昭***        | 9                     | 佐々木 一昭 | 9                    | 佐々木 一昭        | 9                    | 佐々木 一昭       | 9                   | 佐々木 一昭 |
| 10                    | 津田 修治  | 10                    | 下位 香代子           | 10                    | 下位 香代子 | 10                   | 下位 香代子        | 10                   | 代田 眞理子*      | 10                  | 高橋 研   |
| 11                    | 戸塚 恭一  | 11                    | 菅井 基行            | 11                    | 菅井 基行  | 11                   | 栗形 麻樹子**      | 11                   | 高橋 研         | 11                  | 中山 裕之  |
| 12                    | 中山 裕之  | 12                    | 高橋 和彦            | 12                    | 高橋 和彦  | 12                   | 代田 眞理子***     | 12                   | 中山 裕之        | 12                  | 森田 健   |
| 13                    | 細川 正清  | 13                    | 戸塚 恭一            | 13                    | 中山 裕之  | 13                   | 中山 裕之         | 13                   | 森田 健         | 13                  | 吉田 敏則  |
| 14                    | 宮島 敦子  | 14                    | 中山 裕之            | 14                    | 宮島 敦子  | 14                   | 宮島 敦子         | 14                   | 吉田 敏則        |                     |        |
| 15                    | 宮本 亨   | 15                    | 細川 正清****        | 15                    | 山田 雅巳  | 15                   | 森田 健          |                      |              |                     |        |
| 16                    | 山田 雅巳  | 16                    | 宮島 敦子            | 16                    | 山中 典子  | 16                   | 山口 裕子         |                      | *令和4年3月31日まで |                     |        |
| 17                    | 山中 典子  | 17                    | 宮本 亨             | 17                    | 吉田 敏則  |                      | 山田 雅巳         |                      |              |                     |        |
| 18                    | 吉田 敏則  | 18                    | 山田 雅巳            |                       |        |                      | 山中 典子         |                      |              |                     |        |
| 19                    |        | 19                    | 山中 典子            |                       |        |                      |               |                      |              |                     |        |
| 20                    |        | 20                    | 吉田 敏則            |                       |        |                      |               |                      |              |                     |        |
|                       |        |                       | *平成28年9月30日まで    |                       |        |                      | *令和3年6月30日まで  |                      |              |                     |        |
|                       |        |                       | **平成28年10月1日から   |                       |        |                      | **令和2年3月31日まで |                      |              |                     |        |
|                       |        |                       | ***平成28年4月1日から   |                       |        |                      | ***令和2年4月1日から |                      |              |                     |        |
|                       |        |                       | ****平成28年3月31日まで |                       |        |                      |               |                      |              |                     |        |

## 〈高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するワーキンググループ〉

| 2013年（平成25年）<br>～2018年（平成30年）4月 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1                               | 石塚 真由美         |
| 2                               | 石見 佳子          |
| 3                               | 磯 博康*          |
| 4                               | 今井田 克己         |
| 5                               | 梅村 隆志          |
| 6                               | 漆谷 徹郎          |
| 7                               | 江馬 真**         |
| 8                               | 尾崎 博           |
| 9                               | 久保田 紀久枝        |
| 10                              | 小堀 真珠子         |
| 11                              | 清水 誠           |
| 12                              | 頭金 正博          |
| 13                              | 中江 大           |
| 14                              | 本間 正充          |
| 15                              | 松井 輝明**        |
| 16                              | 山崎 壮**         |
| 17                              | 山本 精一郎         |
| 18                              | 吉田 綾           |
| 19                              | 脇 昌子           |
|                                 | *平成26年6月17日から  |
|                                 | **平成26年6月16日まで |

## 〈いわゆる「健康食品」に関する検討ワーキンググループ〉

| 2015年（平成27年）当初 |        | 2015年（平成27年）10月<br>～2018年（平成30年）4月 |        |
|----------------|--------|------------------------------------|--------|
| 1              | 石井 邦雄  | 1                                  | 石井 邦雄  |
| 2              | 梅垣 敬三  | 2                                  | 梅垣 敬三  |
| 3              | 尾崎 博   | 3                                  | 尾崎 博   |
| 4              | 合田 幸広  | 4                                  | 合田 幸広  |
| 5              | 平井 みどり | 5                                  | 齋藤 嘉朗  |
| 6              | 山崎 寛治  | 6                                  | 西 信雄   |
| 7              | 山中 典子  | 7                                  | 平井 みどり |
| 8              | 脇 昌子   | 8                                  | 松井 徹   |
|                |        | 9                                  | 山崎 寛治  |
|                |        | 10                                 | 山中 典子  |
|                |        | 11                                 | 吉田 宗弘  |
|                |        | 12                                 | 脇 昌子   |

〈加熱時に生じるアクリルアミドワーキンググループ〉

| 2015年（平成27年）<br>10月～2018年（平成30年）4月 |        |
|------------------------------------|--------|
| 1                                  | 青木 康展  |
| 2                                  | 浅見 真理  |
| 3                                  | 今井 俊夫  |
| 4                                  | 圓藤 陽子  |
| 5                                  | 川西 徹   |
| 6                                  | 河原 純子  |
| 7                                  | 川村 孝   |
| 8                                  | 熊谷 嘉人  |
| 9                                  | 祖父江 友孝 |
| 10                                 | 田中 亮太  |
| 11                                 | 野原 恵子  |
| 12                                 | 広瀬 明彦  |
| 13                                 | 増村 健一  |
| 14                                 | 村山 典恵  |
| 15                                 | 吉田 充   |
| 16                                 | 吉成 浩一  |
| 17                                 | 鰐淵 英機  |

〈薬剤耐性菌に関するワーキンググループ〉

| 2015年（平成27年）<br>設置当初 |                                | 2017年（平成29年）<br>10月改選 |                                 | 2019年（令和元年）<br>10月改選 |        | 2021年（令和3年）<br>10月改選 |        | 2023年（令和5年）<br>4月現在 |        |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------|---------------------------------|----------------------|--------|----------------------|--------|---------------------|--------|
| 1                    | 浅井 鉄夫                          | 1                     | 浅井 鉄夫                           | 1                    | 浅井 鉄夫  | 1                    | 浅井 鉄夫  | 1                   | 浅井 鉄夫  |
| 2                    | 荒川 宜親                          | 2                     | 荒川 宜親                           | 2                    | 荒川 宜親  | 2                    | 荒川 宜親  | 2                   | 荒川 宜親  |
| 3                    | 今田 千秋                          | 3                     | 今田 千秋                           | 3                    | 今田 千秋  | 3                    | 今田 千秋  | 3                   | 今田 千秋  |
| 4                    | 植田 富貴子                         | 4                     | 植田 富貴子                          | 4                    | 岡村 雅史  | 4                    | 岡村 雅史  | 4                   | 岡村 雅史  |
| 5                    | 甲斐 明美                          | 5                     | 岡村 雅史                           | 5                    | 甲斐 明美  | 5                    | 木村 凡   | 5                   | 木村 凡   |
| 6                    | 佐々木 一昭*                        | 6                     | 甲斐 明美                           | 6                    | 佐々木 一昭 | 6                    | 小西 典子  | 6                   | 小西 典子  |
| 7                    | 菅井 基行                          | 7                     | 佐々木 一昭                          | 7                    | 菅井 基行  | 7                    | 佐々木 一昭 | 7                   | 佐々木 一昭 |
| 8                    | 砂川 富正                          | 8                     | 菅井 基行                           | 8                    | 田村 豊   | 8                    | 菅井 基行  | 8                   | 菅井 基行  |
| 9                    | 田村 豊                           | 9                     | 砂川 富正                           | 9                    | 豊福 肇   | 9                    | 早川 佳代子 | 9                   | 早川 佳代子 |
| 10                   | 戸塚 恭一                          | 10                    | 田村 豊                            | 10                   | 早川 佳代子 | 10                   | 早山 陽子  | 10                  | 早山 陽子  |
| 11                   | 豊福 肇                           | 11                    | 筒井 敦子*                          | 11                   | 早山 陽子  | 11                   | 蒔田 浩平  | 11                  | 蒔田 浩平  |
| 12                   | 細川 正清**                        | 12                    | 豊福 肇                            | 12                   | 山岸 拓也  | 12                   | 山岸 拓也  | 12                  | 山岸 拓也  |
| 13                   | 吉川 泰弘                          | 13                    | 早川 佳代子**                        | 13                   |        | 13                   |        | 13                  |        |
|                      | *平成28年4月1日から<br>**平成28年3月31日まで |                       | *平成30年9月30日まで<br>**平成30年10月1日から |                      |        |                      |        |                     |        |



〈六価クロムワーキンググループ〉

| 2017年(平成29年)<br>設置当初 |        | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |               | 2019年(令和元年)10月改選<br>～2021年(令和3年)6月 |              |
|----------------------|--------|-----------------------|---------------|------------------------------------|--------------|
| 1                    | 穂山 浩   | 1                     | 穂山 浩          | 1                                  | 穂山 浩         |
| 2                    | 浅見 真理  | 2                     | 浅見 真理         | 2                                  | 浅見 真理        |
| 3                    | 圓藤 陽子  | 3                     | 圓藤 陽子         | 3                                  | 太田 茂         |
| 4                    | 太田 茂   | 4                     | 太田 茂          | 4                                  | 齋藤 嘉朗        |
| 5                    | 齋藤 嘉朗  | 5                     | 齋藤 嘉朗         | 5                                  | 渋谷 淳         |
| 6                    | 渋谷 淳   | 6                     | 渋谷 淳          | 6                                  | 高橋 智         |
| 7                    | 高橋 智   | 7                     | 高橋 智          | 7                                  | 広瀬 明彦        |
| 8                    | 田中 亮太  | 8                     | 田中 亮太*        | 8                                  | 増村 健一*       |
| 9                    | 長谷川 隆一 | 9                     | 長谷川 隆一        | 9                                  | 松井 徹         |
| 10                   | 広瀬 明彦  | 10                    | 広瀬 明彦         | 10                                 | 村山 典恵        |
| 11                   | 増村 健一  | 11                    | 増村 健一         | 11                                 | 吉田 宗弘        |
| 12                   | 松井 徹   | 12                    | 松井 徹          |                                    |              |
| 13                   | 村山 典恵  | 13                    | 村山 典恵         |                                    | *令和2年3月31日まで |
| 14                   | 吉田 宗弘  | 14                    | 吉田 宗弘         |                                    |              |
|                      |        |                       | *平成30年8月31日まで |                                    |              |

〈栄養成分関連添加物ワーキンググループ〉

| 2015年(平成27年)<br>設置当初 |        | 2017年(平成29年)<br>10月改選 |        | 2019年(令和元年)<br>10月改選 |        | 2021年(令和3年)<br>10月改選 |         | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |             |
|----------------------|--------|-----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|---------|---------------------|-------------|
| 1                    | 石見 佳子  | 1                     | 石見 佳子  | 1                    | 石見 佳子  | 1                    | 朝倉 敬子   | 1                   | 朝倉 敬子       |
| 2                    | 伊吹 裕子  | 2                     | 伊吹 裕子  | 2                    | 伊吹 裕子  | 2                    | 伊吹 裕子   | 2                   | 伊吹 裕子       |
| 3                    | 上西 一弘  | 3                     | 上西 一弘  | 3                    | 上西 一弘  | 3                    | 上西 一弘   | 3                   | 上西 一弘       |
| 4                    | 宇佐見 誠  | 4                     | 宇佐見 誠  | 4                    | 宇佐見 誠  | 4                    | 内山 奈穂子  | 4                   | 内山 奈穂子      |
| 5                    | 梅村 隆志  | 5                     | 梅村 隆志  | 5                    | 梅村 隆志  | 5                    | 梅村 隆志   | 5                   | 梅村 隆志       |
| 6                    | 合田 幸広  | 6                     | 合田 幸広  | 6                    | 合田 幸広  | 6                    | 澤田 典絵   | 6                   | 澤田 典絵       |
| 7                    | 柴田 克己  | 7                     | 柴田 克己  | 7                    | 柴田 克己  | 7                    | 祖父江 友孝* | 7                   | 祖父江 友孝      |
| 8                    | 祖父江 友孝 | 8                     | 祖父江 友孝 | 8                    | 祖父江 友孝 | 8                    | 高須 伸二   | 8                   | 高須 伸二       |
| 9                    | 高須 伸二  | 9                     | 高須 伸二  | 9                    | 高須 伸二  | 9                    | 北條 仁    | 9                   | 北條 仁        |
| 10                   | 瀧本 秀美  | 10                    | 瀧本 秀美  | 10                   | 瀧本 秀美  | 10                   | 松井 徹    | 10                  | 松井 徹        |
| 11                   | 頭金 正博  | 11                    | 頭金 正博  | 11                   | 頭金 正博  | 11                   | 横田 惠理子  | 11                  | 横田 惠理子      |
| 12                   | 松井 徹   | 12                    | 松井 徹   | 12                   | 松井 徹   | 12                   | 吉田 宗弘   | 12                  | 吉田 宗弘       |
| 13                   | 横田 惠理子 | 13                    | 横田 惠理子 | 13                   | 横田 惠理子 |                      |         |                     |             |
| 14                   | 吉田 宗弘  | 14                    | 吉田 宗弘  | 14                   | 吉田 宗弘  |                      |         |                     |             |
|                      |        |                       |        |                      |        |                      |         |                     | *令和4年4月1日から |

〈アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ〉

| 2017年(平成29年)<br>設置当初 |        | 2019年(令和元年)<br>10月改選 | 2021年(令和3年)<br>6月(WG終了)時点 |
|----------------------|--------|----------------------|---------------------------|
| 1                    | 相原 道子  | 1 相原 道子              | 1 相原 道子                   |
| 2                    | 赤松 利恵  | 2 赤松 利恵              | 2 赤松 利恵                   |
| 3                    | 穂山 浩   | 3 穂山 浩               | 3 穂山 浩                    |
| 4                    | 安達 玲子  | 4 安達 玲子              | 4 安達 玲子                   |
| 5                    | 今井 孝成  | 5 伊藤 浩明              | 5 伊藤 浩明                   |
| 6                    | 宇理須 厚雄 | 6 今井 孝成              | 6 今井 孝成                   |
| 7                    | 海老澤 元宏 | 7 海老澤 元宏             | 7 海老澤 元宏                  |
| 8                    | 緒方 裕光  | 8 緒方 裕光              | 8 緒方 裕光                   |
| 9                    | 斎藤 博久  | 9 斎藤 博久              | 9 金谷 久美子*                 |
| 10                   | 手島 玲子  | 10 手島 玲子             | 10 斎藤 博久                  |
| 11                   | 中村 好一  | 11 中村 好一*            | 11 手島 玲子                  |
| 12                   | 丸井 英二  | 12 丸井 英二             | 12 丸井 英二                  |
| 13                   | 森山 達哉  | 13 森山 達哉             | 13 森山 達哉                  |
|                      |        | *令和2年3月31日まで         | *令和2年4月1日から               |

〈香料ワーキンググループ〉

| 2017年(平成29年)<br>設置当初 |               | 2019年(令和元年)<br>10月改選 | 2021年(令和3年)<br>10月改選 | 2023年(令和5年)<br>4月現在 |
|----------------------|---------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 1                    | 伊藤 清美         | 1 飯島 陽子              | 1 飯島 陽子              | 1 飯島 陽子             |
| 2                    | 梅村 隆志         | 2 梅村 隆志              | 2 梅村 隆志              | 2 梅村 隆志             |
| 3                    | 紙谷 浩之         | 3 紙谷 浩之              | 3 紙谷 浩之              | 3 紙谷 浩之             |
| 4                    | 久保田 紀久枝       | 4 杉山 圭一              | 4 杉山 圭一              | 4 杉山 圭一             |
| 5                    | 佐藤 恭子*        | 5 高須 伸二              | 5 高須 伸二              | 5 高須 伸二             |
| 6                    | 杉山 圭一**       | 6 高橋 智               | 6 多田 敦子              | 6 多田 敦子             |
| 6                    | 高須 伸二         | 7 多田 敦子              | 7 戸塚 ゆ加里             | 7 戸塚 ゆ加里            |
| 7                    | 塚本 徹哉         | 8 戸塚 ゆ加里             | 8 西 信雄               | 8 西 信雄              |
| 8                    | 戸塚 ゆ加里        | 9 西 信雄               | 9 山崎 壮               | 9 山崎 壮              |
| 9                    | 西 信雄          | 10 山崎 壮              | 10 吉成 浩一             | 10 吉成 浩一            |
| 10                   | 山崎 壮          | 11 吉成 浩一             |                      |                     |
| 11                   | 山田 雅巳         |                      |                      |                     |
| 12                   | 吉成 浩一         |                      |                      |                     |
|                      | *平成31年1月25日まで |                      |                      |                     |
|                      | **平成30年4月1日から |                      |                      |                     |

〈鉛ワーキンググループ〉

| 2019年（平成31年）設置当初 |        | 2019年（令和元年）10月改選～2021年（令和3年）6月 |        |
|------------------|--------|--------------------------------|--------|
| 1                | 浅見 真理  | 1                              | 浅見 真理  |
| 2                | 香山 不二雄 | 2                              | 香山 不二雄 |
| 3                | 荻田 香苗  | 3                              | 荻田 香苗  |
| 4                | 松井 徹   | 4                              | 松井 徹   |
| 5                | 宮川 崇之  | 5                              | 宮川 崇之  |
| 6                | 吉永 淳   |                                |        |

〈菌末を原材料として使用する調製粉乳に関するワーキンググループ〉

| 2019年（令和元年）10月設置～2020年（令和2年）11月 |       |
|---------------------------------|-------|
| 1                               | 安達 玲子 |
| 2                               | 豊福 肇  |
| 3                               | 皆川 洋子 |
| 4                               | 脇 昌子  |
| 5                               | 脇田 隆字 |

## 〈ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ〉

| 2021年（令和3年）<br>設置当初 |        | 2021年（令和3年）<br>10月改選 |        | 2023年（令和5年）<br>4月現在 |        |
|---------------------|--------|----------------------|--------|---------------------|--------|
| 1                   | 石塚 真由美 | 1                    | 石塚 真由美 | 1                   | 石塚 真由美 |
| 2                   | 梅村 隆志  | 2                    | 伊藤 清美  | 2                   | 伊藤 清美  |
| 3                   | 杉山 圭一  | 3                    | 梅村 隆志  | 3                   | 梅村 隆志  |
| 4                   | 高須 伸二  | 4                    | 杉山 圭一  | 4                   | 杉山 圭一  |
| 5                   | 瀧本 秀美  | 5                    | 高須 伸二  | 5                   | 高須 伸二  |
| 6                   | 多田 敦子  | 6                    | 多田 敦子  | 6                   | 多田 敦子  |
| 7                   | 戸塚 ゆ加里 | 7                    | 戸塚 ゆ加里 | 7                   | 戸塚 ゆ加里 |
| 8                   | 松井 徹   | 8                    | 松井 徹   | 8                   | 松井 徹   |

## 〈有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ〉

| 2023年（令和5年）<br>設置当初 |        | 2023年（令和5年）<br>4月現在 |        |
|---------------------|--------|---------------------|--------|
| 1                   | 石塚 真由美 | 1                   | 石塚 真由美 |
| 2                   | 菊田 香苗  | 2                   | 菊田 香苗  |
| 3                   | 川村 孝   | 3                   | 川村 孝   |
| 4                   | 澤田 典絵  | 4                   | 澤田 典絵  |
| 5                   | 渋谷 淳   | 5                   | 渋谷 淳   |
| 6                   | 祖父江 友孝 | 6                   | 祖父江 友孝 |
| 7                   | 田中 徹也  | 7                   | 田中 徹也  |
| 8                   | 中山 祥嗣  | 8                   | 中山 祥嗣  |
| 9                   | 姫野 誠一郎 | 9                   | 姫野 誠一郎 |
| 10                  | 松井 徹   | 10                  | 松井 徹   |
| 11                  | 吉成 浩一  | 11                  | 吉成 浩一  |



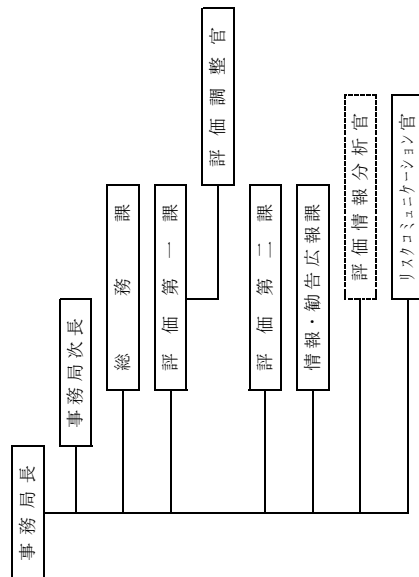
## 16 予算及び定員の推移

|                    | 予 算 額<br>(百万円) | 対前年度増減額<br>(百万円) | 定 員<br>(人) | 対前年度増減<br>(人) |
|--------------------|----------------|------------------|------------|---------------|
| 2013年度<br>(平成25年度) | 918            | △29              | 60         | 2             |
| 2014年度<br>(平成26年度) | 950            | 32               | 59         | △1            |
| 2015年度<br>(平成27年度) | 946            | △4               | 63         | 4             |
| 2016年度<br>(平成28年度) | 959            | 13               | 63         | 0             |
| 2017年度<br>(平成29年度) | 961            | 2                | 64         | 1             |
| 2018年度<br>(平成30年度) | 962            | 1                | 64         | 0             |
| 2019年度<br>(令和元年年度) | 958            | △4               | 64         | 0             |
| 2020年度<br>(令和2年度)  | 957            | △1               | 64         | 0             |
| 2021年度<br>(令和3年度)  | 956            | △1               | 64         | 0             |
| 2022年度<br>(令和4年度)  | 926            | △30              | 64         | 0             |
| 2023年度<br>(令和5年度)  | 951            | 25               | 65         | 1             |

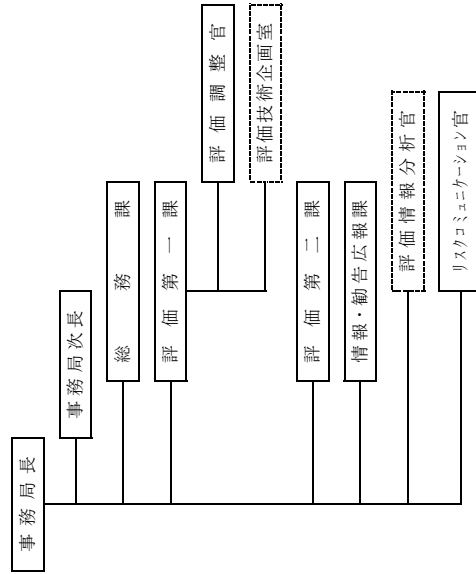
# 17 事務局組織の変遷

※点線囲みは訓令による設置

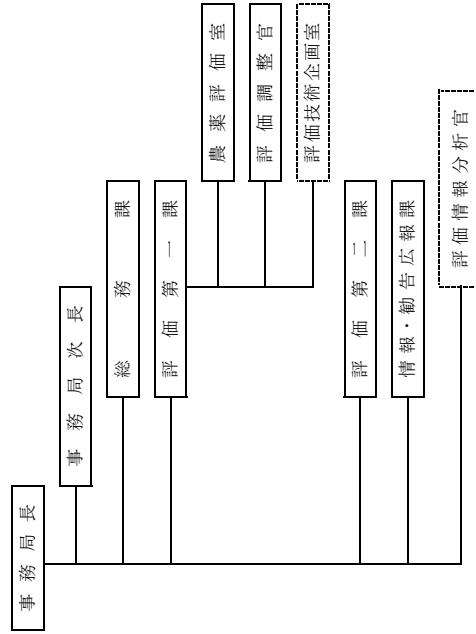
<2013年5月16日～>



<2015年4月10日～>



<2023年4月1日～>



# 18 食品安全委員会事務局幹部の変遷

|               | 平成25年                       | 平成26年                      | 平成27年                      | 平成28年                      | 平成29年                    | 平成30年 | 平成31年/令和元年                 | 令和2年                     | 令和3年                     | 令和4年                    |
|---------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|-------|----------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 事務局長          |                             | 畑田 尚<br>(24.9.11-28.6.16)  |                            |                            | 川島 俊郎<br>(28.6.17-1.7.7) |       |                            | 小川 良介<br>(1.7.8-3.6.30)  |                          | 齋藤 卓夫<br>(3.7.1~)       |
| 次長            |                             | 本郷 秀敏<br>(24.1.16-26.3.31) | 東條 功<br>(26.4.1-29.7.9)    | 小平 均<br>(29.7.10-2.3.31)   |                          |       |                            | 齋藤 卓夫<br>(2.4.1-3.6.30)  |                          | 中 裕伸<br>(3.7.1~)        |
| 総務課長          | 井原 辰雄<br>(23.7.29-25.7.8)   | 山本 麻里<br>(25.7.9-27.9.30)  | 小森 雅一<br>(27.10.1-28.6.20) | 松原 徳和<br>(28.6.21-30.7.30) |                          |       | 矢田 真司<br>(30.7.31-2.8.6)   |                          | 新 俊彦<br>(2.8.7-4.3.31)   | 込山 愛郎<br>(4.4.1~)       |
| 評価第1課長        | 磯部 総一郎<br>(25.5.16-26.7.10) | 岡野 秀人<br>(26.7.11-29.7.10) |                            | 吉田 勲範<br>(29.7.11-30.7.30) |                          |       | 中山 智紀<br>(30.7.31-1.12.31) |                          | 近藤 真美子<br>(2.1.1-4.6.27) | 紀平 哲也<br>(4.6.28~)      |
| 評価第2課長        |                             | 山本 実<br>(25.5.16-27.3.31)  | 齋藤 卓夫<br>(27.4.1-29.7.9)   | 吉岡 修<br>(29.7.10-31.3.31)  |                          |       |                            | 石岡 和洋<br>(2.8.1-4.7.3)   |                          | 前田 聡<br>(4.7.7~)        |
| 情報・報告広報課長     |                             | 榎本 隆<br>(25.5.16-28.3.31)  | 岡田 正孝<br>(28.4.1-29.7.9)   | 鹿島 一浩<br>(29.7.10-31.3.31) |                          |       |                            | 渡辺 昌之<br>(31.4.1-2.7.31) |                          | 萩原 直史<br>(4.7.4~)       |
| リスクコミュニケーション官 | 藤原 隆<br>(24.1.16-25.7.31)   | 野口 武人<br>(26.7.15-27.3.31) | 木下 光明<br>(27.4.1-28.4.30)  | 鹿島 一浩<br>(28.5.1-29.7.9)   |                          |       |                            | 秋元 京子<br>(31.4.1-3.3.31) |                          | 藤田 佳代<br>(3.4.1-5.3.31) |
| 評価情報分析官       | 高山 昌也<br>(24.4.6-25.3.31)   |                            | 池田 三重<br>(25.4.1-1.8.28)   |                            |                          |       |                            | 梶田 浩一<br>(1.8.29-3.7.31) |                          | 井上 隆弘<br>(3.8.1~)       |

**食品安全委員会 20年の歩み**

**発行者 内閣府食品安全委員会**

**内閣府食品安全委員会事務局**

〒107-6122 東京都港区赤坂5-2-20

赤坂パークビル 22階

電話：03-6234-1166

FAX：03-3584-7390